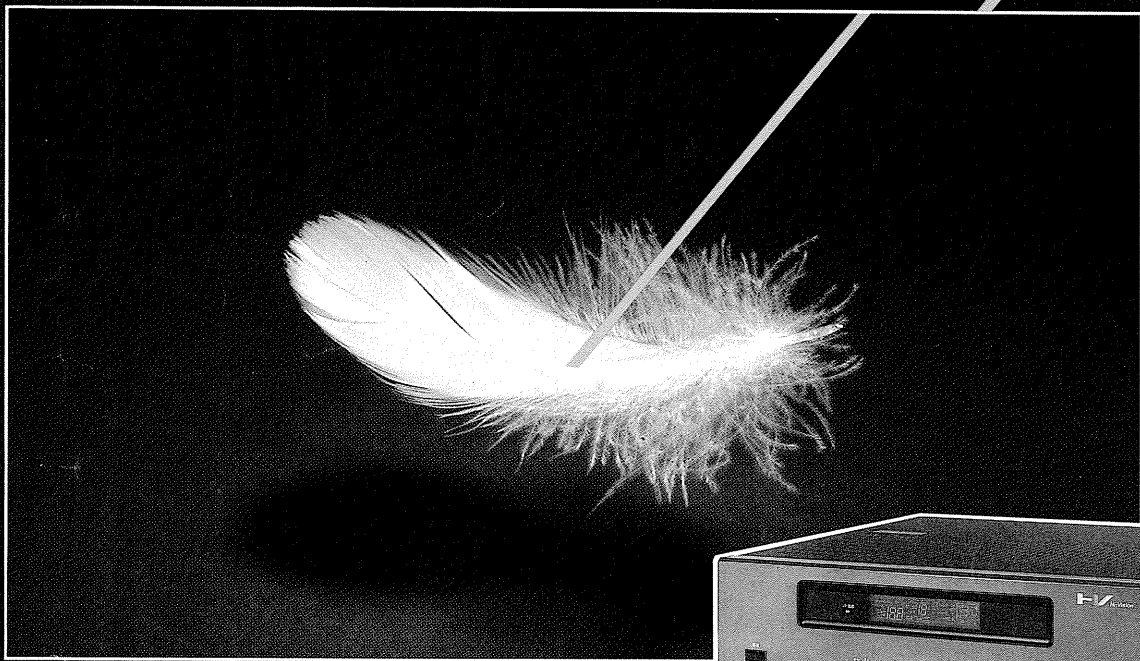


Panasonic

パナソニック
テレビチューナー(MUSEデコーダー内蔵)

品番

TU-AHD100



取扱説明書

- この説明書と添付の保証書をよくお読みのうえ正しくお使いください。
そのあと大切に保存し、必要なときにお読みください。
- 製造番号は品質管理上重要なものです。
お買い上げの際は製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。
- 保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめて、販売店からお受け取りください。

保証書別添付 上手に使うって上手に節電

このたびはパナソニック テレビチューナーをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
ご使用の際にはこの説明書をお読みのうえ正しくご使用ください。

もくじ

基本の組み合わせ 4・5

各部のなまえとはたらき 6～10

- 本体(前面/後面/表示部)
- リモコン(操作部/ふた内操作部/リモコンモードの設定)

ふだんの操作

基本の操作

- ハイビジョン・テレビ(VHF/UHF)・BS放送を見る……12・13
- CATV放送を見る……14
- ビデオなどを見る……15

ワイドな画面で楽しむ

- ワイドな画面で楽しむ(ズーム)……16
- 横長の映像ソフトを楽しむ(シネマ)……17
- フル映像のソフトを楽しむ(フル)……17

映像を選ぶ

- 見やすい映像を選ぶ(映像メニュー)……18
- MUSE AI (人工知能)を使う……19

音を選ぶ

- 2カ国語(二重)放送のとき(音声切替)……20
- ステレオ放送のとき……21
- 音の臨場感を出す(DSPサラウンド)……22
- BS音声を切替える(TV/独立)……23

リモコンが使えないとき

- 本体での操作……24・25

くわしい操作

ワイド画面を使いこなす

- 字幕を動かす……26・27
- 画面が横にずれているとき(水平位置の調整)……28
- かくれている映像を見るとき(垂直位置の調整)……29

便利な機能

- 画面のざらつきが気になるとき(NR)……30
- 動きのある映像で見づらいとき(3次元YC)……31
- 特殊なビデオソフトなどを再生するとき(フレーム/ライン)……32
- チャンネルなどを知りたい(画面表示)……33

映像・色やサラウンドの調整

- 映像の明るさや色を調整する……34・35
- サラウンドレベルの強弱を調整する……36

受信の準備

アンテナの接続

- VHF/UHFアンテナの接続……38・39
- BSアンテナの接続……40
- BS入力レベルについて……41

受信チャンネルの設定

- あなたの地区の放送を空ボタンに記憶させる
(VHF/UHF/CATV)……42・43
- CATV放送の受信設定……44・45
- チャンネル表示を書換える……46・47
- 受信チャンネルの微調整……48

他の機器との接続 システムアップ

システム接続例

- ホームシアターとしての基本システム…………… 50・51

ハイビジョン機器をつなぐ

- マルチスキャンビデオプロジェクター/
マルチスキャンモニターの接続と設定…………… 52・53
- ハイビジョンモニター/ハイビジョンビデオ(録画)の接続…………… 54
- ハイビジョンビデオ(再生)の接続…………… 55
- ハイビジョンMUSEビデオディスクプレーヤー/
CSチューナーの接続と設定…………… 56・57

現行(NTSC)の映像機器をつなぐ

- ビデオ/マルチレーザーディスクプレーヤーの接続…………… 58
- ハイビジョン放送を現行のビデオで録画するとき
(M-N出力モード)…………… 59

オーディオ機器をつなぐ

- AVアンプの接続と設定…………… 60・61
- オーディオアンプの接続と設定…………… 62・63
- プロロジック設定…………… 64
- デジタルオーディオ機器の接続…………… 65
- 3-1ステレオ放送を楽しむ…………… 66
- ハイビジョン(HD)音声を切替える…………… 67

WOWOW(JSB)、St.GIGA(セント・ギガ)放送の受信

- BSデコーダー/オーディオデコーダーの接続…………… 68
- WOWOW(JSB)、St.GIGA(セント・ギガ)放送を見る・聞く…………… 69
- BS拡張入力の設定…………… 70

CSテレビ放送の受信

- CSデコーダー内蔵のCSチューナーの接続…………… 71

HAシステムとの接続

- センサーコントローラーの接続…………… 72
- 出画時間の設定…………… 73

パソコンによるシステムコントロール

- パソコンの接続…………… 74
- RS-422Aコマンド一覧表…………… 75

仕様・その他

修理を依頼される前に

- テレビ放送について…………… 76
- BS放送について…………… 77
- 操作について…………… 78

正しくご使用いただくために…………… 79

アフターサービスについて…………… 80

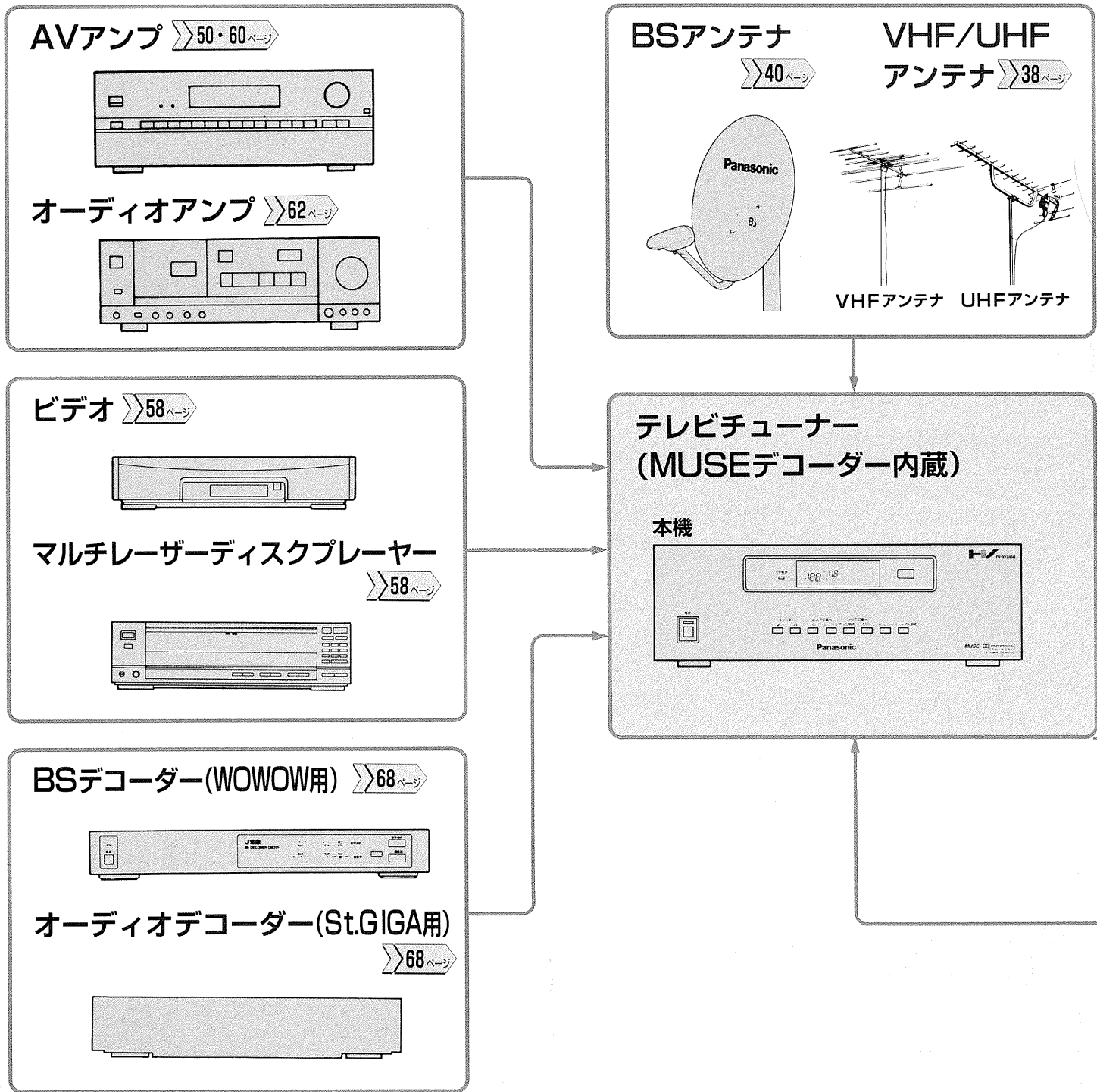
定格…………… 81

付録・APPENDIX

- Description of Controls(各部のなまえとはたらき)
…………… 82・83

基本の組み合わせ

ページ ...はその項目の説明ページを示しています。



■ **デジタルオーディオ機器について** >>65ページ

光音声入力付のデジタルオーディオ機器を接続してハイビジョン放送の高音質が楽しめます。

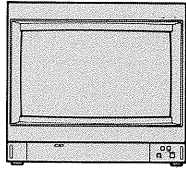
■ **3-1ステレオの自動検出について** >>66ページ

3-1ステレオ検出入力付のAVアンプが接続できます。(1993年9月現在未発売)

■ **パソコンの接続について** >>74ページ

パソコンなどを接続して本機を外部コントロールすることができます。

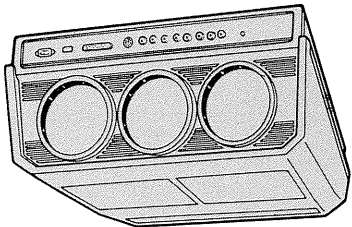
ハイビジョンモニター >>54ページ



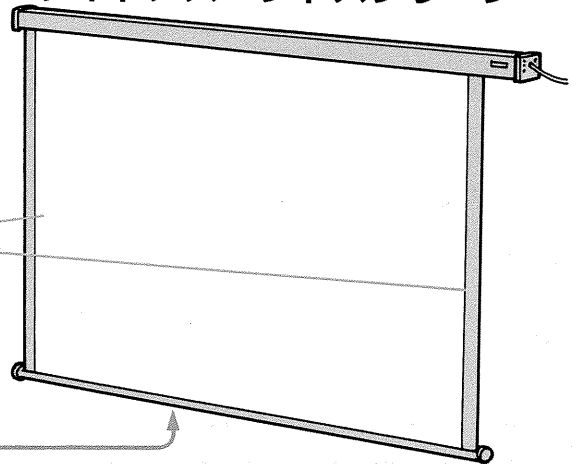
ハイビジョンビデオ >>54・55ページ



ビデオプロジェクター >>50・52ページ



ワイドアスペクトスクリーン



ハイビジョンMUSEディスクプレーヤー >>56ページ



CSチューナー >>56ページ



■HAシステムについて

>>72ページ

専用のセンサーコントローラーと接続するHAシステムに対応しています。

■有料のハイビジョン放送について

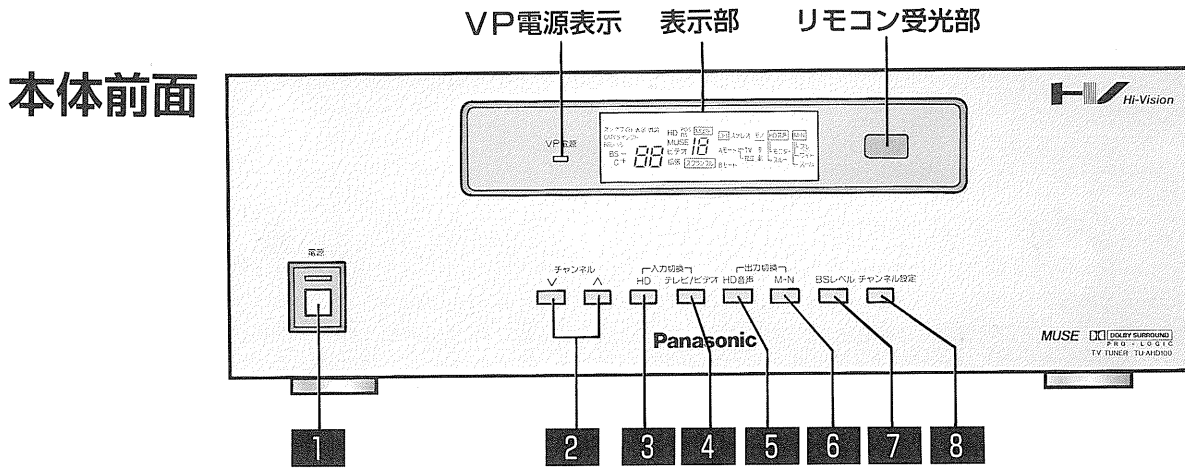
将来、有料のハイビジョン放送が始まったときに、専用デコーダー(解読器)が接続できます。

■THXサウンドシステムについて

ホームシアター用として開発されたTHXサウンドシステムが接続できます。
(オーディオ・ビデオ事業部扱い)

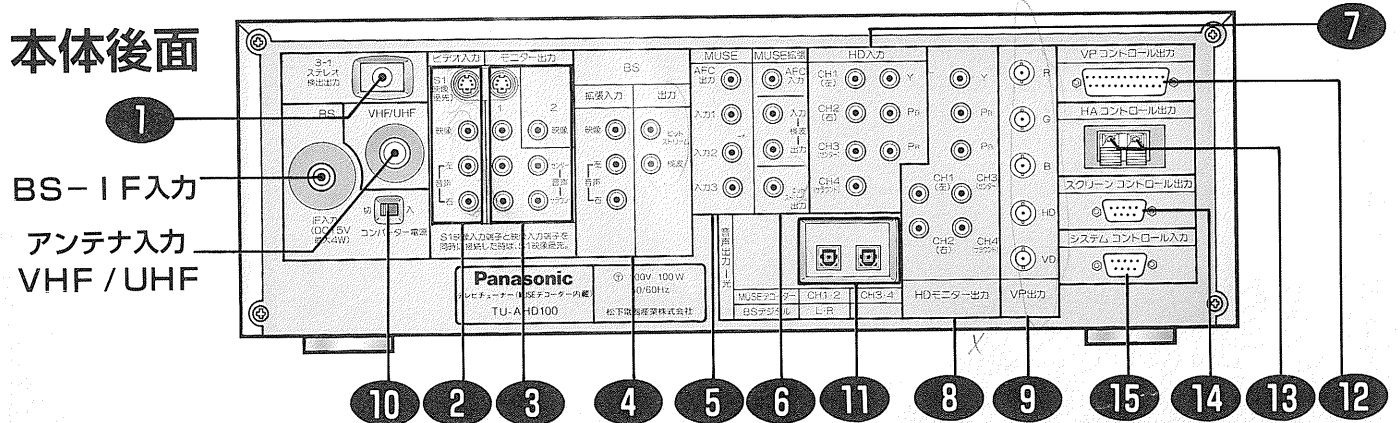
各部のなまえとはたらき

ページ …は、その項目の説明ページを示しています。



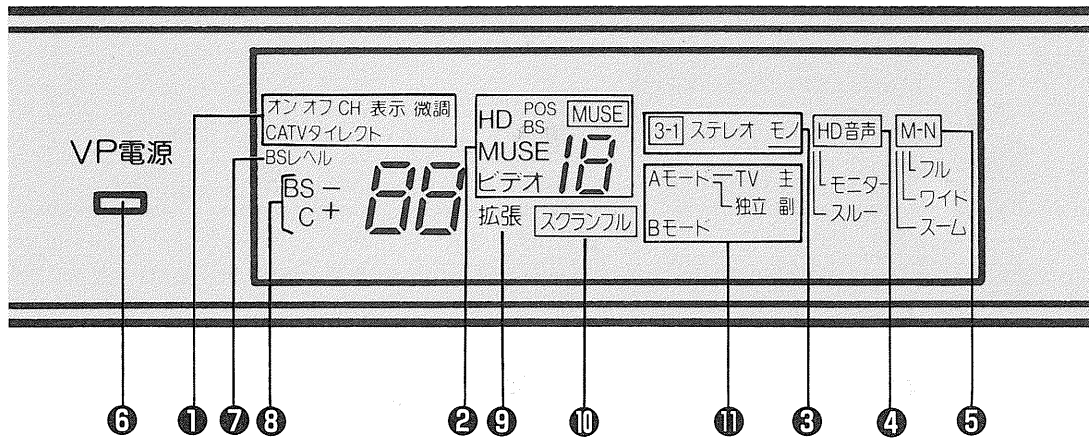
- 1 電源** >>24ページ
電源の「入」・「切」ができます。
- 2 順送り選局** >>24ページ
チャンネルが順送り選局できます。
- 3 HD画面切換** >>25ページ
HDビデオ入力画面とMUSE入力画面を切換えます。
- 4 画面切換(テレビ/ビデオ)** >>25ページ
テレビ画面とビデオ入力画面を切換えます。
- 5 HD音声出力モード切換** >>67ページ
- 6 M-N出力モード切換** >>59ページ
- 7 BS入力レベル** >>41ページ
●BSアンテナ設置時の方向調整。
●受信中に映りが悪くなったときの確認。
- 8 チャンネル設定** >>42~48ページ

本体後面



- 1 3-1ステレオ検出** >>66ページ
- 2 ビデオ入力** >>58~63・71ページ
- 3 モニター出力** >>58~63・66ページ
- 4 BS拡張入力、検波・ビットストリーム出力** >>68ページ
- 5 MUSE入力1、2、3、AFC出力** >>56ページ
- 6 MUSE拡張**
将来ハイビジョン放送が有料になり、「専用デコーダー」を接続する場合などに使用します。
- 7 HD入力** >>55ページ
- 8 HDモニター出力** >>54ページ
- 9 プロジェクター出力** >>52ページ
- 10 BSコンバーター電源スイッチ** >>40ページ
- 11 BS・MUSEデジタル音声光出力** >>65ページ
- 12 VPコントロール出力** >>52ページ
- 13 HAコントロール出力** >>72ページ
- 14 スクリーンコントロール出力** >>51ページ
- 15 システムコントロール入力** >>74ページ

表示部



番号	表示部	表示の内容	説明ページ
①	CATVダイレクトオン	チャンネル設定でCATVダイレクトオン選択のとき	44
	CATVダイレクトオフ	チャンネル設定でCATVダイレクトオフ選択のとき	
	CH	チャンネル設定のとき	
	表示	チャンネル表示書換設定のとき	
	微調	チャンネル微調整のとき	
②	POS	チャンネル設定ポジション	42
	MUSE	ハイビジョン放送受信のとき	12
	HD	HD入力に接続したハイビジョン機器の信号を入力するとき	15
	BS	チャンネル設定・表示書換設定のとき	13
	MUSE1・2・3	ミューズ入力1~3に接続した機器の信号を入力するとき	15
	ビデオ	ビデオ入力に接続した機器の信号を入力するとき	
③	3-1 ステレオ	3-1ステレオ放送のとき	66
	ステレオ	ステレオ放送のとき	21
	モノ	モノラル放送のとき	
④	HD音声 モニター	HD音声モニター出力を選択のとき	67
	HD音声 スルー	HD音声スルー出力を選択のとき	
⑤	M-N フル	M-N出力モード「フル」選択のとき	59
	M-N ワイド	M-N出力モード「ワイド」選択のとき	
	M-N ズーム	M-N出力モード「ズーム」選択のとき	
⑥	VP電源表示	指定のビデオプロジェクターと接続し電源「入」のとき	52
⑦	BSレベル	BS入力レベルを表示のとき	41
⑧	数字表示部	チャンネルやBSレベルおよびリモコンモード設定などの表示	10・24・41
⑨	拡張	BS拡張入力に接続した機器の信号を入力するとき	69
⑩	スクランブル	BS放送がスクランブルのとき	
⑪	Aモード	BS音声およびMUSE音声がAモード放送のとき	23
	TV	テレビ音声選択のとき	
	独立	独立音声選択のとき	
	主	主音声選択のとき	20
	副	副音声選択のとき	
	主副	主・副音声選択のとき	
	Bモード	BS音声およびMUSE音声がBモード放送のとき	23

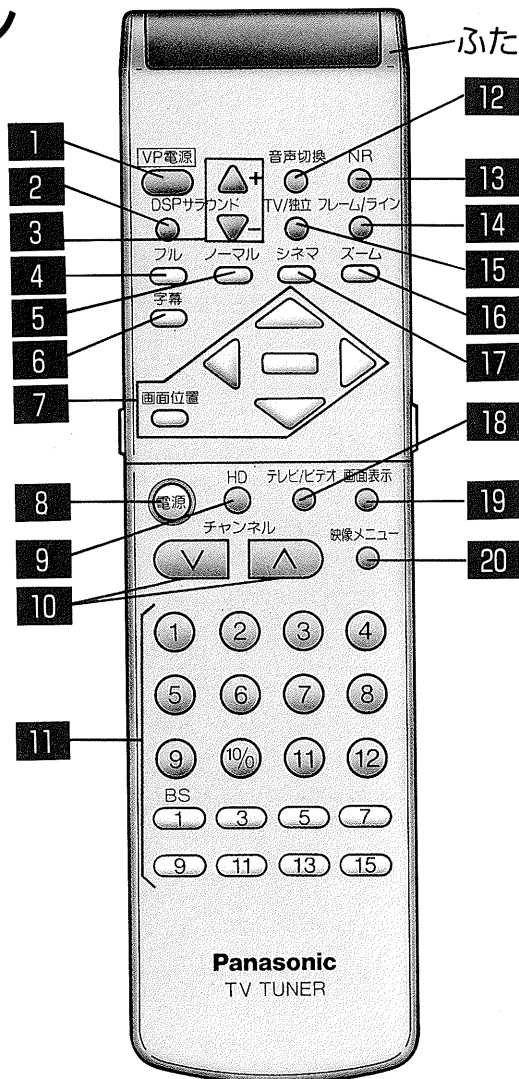
各部のなまえとはたらき

▶ ページ…は、その項目の説明ページを示しています。

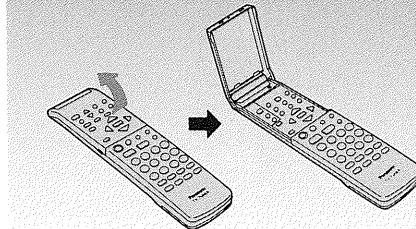
ふだんの操作はリモコンでできます。

ご使用のまえにリモコンに電池を入れてください。(10ページ参照)

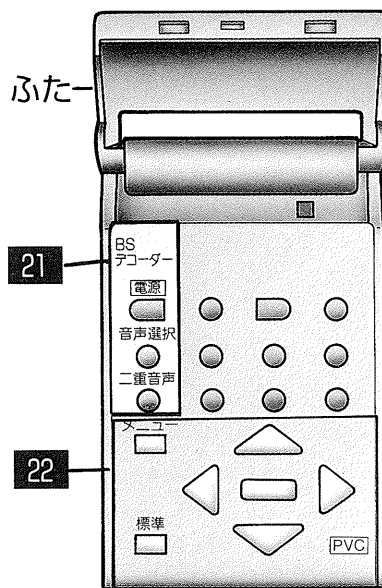
リモコン



ふた内の操作をするには



ふた内



※PVCマークは材料表示です。

お知らせ

表示のないボタンは操作できません。

1 VP電源 ▶▶52ページ

当社指定のビデオプロジェクターと接続のとき、ビデオプロジェクターの電源を「入」・「切」できます。

2 デジタルシグナルプロセッサ(DSP) ▶▶22ページ

デジタルサラウンド効果でコンサートホールのような臨場感を楽しめます。

3 サラウンド ▶▶36ページ

DSP設定のとき、サラウンドレベルを調整できます。

4 フル ▶▶17ページ

フルソフトを見るときに押すと16:9の正常な映像になります。

5 ノーマル ▶▶16ページ

4:3の映像にもどします。

6 字幕 ▶▶26ページ

ビスタサイズ等の映像ソフトをシネマやズームにしたとき字幕がかかる場合に操作します。

7 水平位置調整 ▶▶28ページ

HDビデオ・MUSEの映像のとき、映像を左または右に移動させることができます。

垂直位置調整 ▶▶29ページ

シネマ・ズームにしたときに映像を上または下に移動させることができます。

8 電源 ▶▶12ページ

電源の「入」・「切」ができます。

9 HD画面切換 >>15ページ

HDビデオ入力画面とMUSE入力画面を切替えます。



10 順送り選局 >>12ページ

チャンネルが順送り選局できます。

11 テレビ・CATV・BS選局 >>12~14ページ

12 音声切換 >>20ページ

2カ国語(二重)放送のとき、〔主〕・〔副〕・〔主+副〕音声を選べます。

13 映像ノイズリダクション >>30ページ

電波の状態などで現れるノイズ画面を補正します。

14 フレーム/ライン >>32ページ

再生する映像に応じて、フレームまたはラインを選択します。

15 BS音声切換(TV/独立) >>23ページ

BS音声が「Aモード」で、テレビ音声と独立音声があるときに選べます。

16 ズーム >>16ページ

ノーマルの映像をスクリーンの幅一杯に拡大します。

17 シネマ >>17ページ

ビスタビジョンサイズIIソフトの映像をスクリーンの幅一杯に拡大します。

18 画面切換(テレビ/ビデオ) >>15ページ

テレビ画面とビデオ入力画面を切替えます。
テレビ(BS)↔ビデオ

19 画面表示 >>33ページ

チャンネル番号などを確かめたいときに押します。

20 映像メニュー選択 >>18ページ

テレビを見る環境や映像ソフトに合わせて4つのメニューを選べます。

21 JSB, BSデコーダー操作部 >>69ページ (BSデコーダーの操作ができます。)

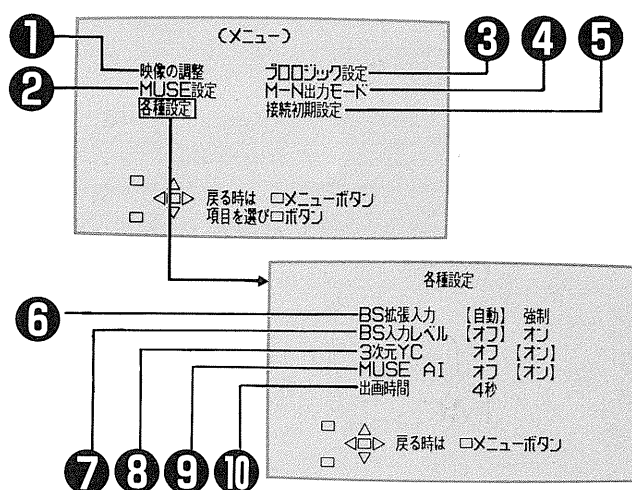
- 電源/押すとBSデコーダーの電源が「入」・「切」できます。
- 音声選択/BS音声/Aモード放送のとき、テレビ音声と独立音声を選べます。
- 二重音声/二重音声放送のとき、「主」・「副」・「主+副」が選べます。

22 メニュー操作部

お好みに合わせて、メニュー画面で確認しながら選択し、調整または設定できる項目です。

メニュー画面について

メニューボタンを押すと表示します。



1 映像の調整 >>34ページ

映像の内容を、お好みに合わせて変更することができます。

2 MUSE設定 >>57ページ

3 プロロジック設定 >>64ページ

4 M-N出力モード >>59ページ

5 接続初期設定 >>53・61・63ページ

6 BS拡張入力 >>70ページ

7 BS入力レベル >>41ページ

- BSアンテナ設置時の方向調整。
- 受信中に映りが悪くなったときの確認。

8 3次元YCの設定 >>31ページ

現行の放送で細密な白黒部分の色づきなどをなくし、見やすい映像で楽しめます。

9 MUSE AI機能の設定 >>19ページ

AI(人工知能)機能による画像をご覧になるときに設定します。

10 出画時間の設定 >>73ページ

各部のなまえとはたらき

リモコンモードの設定

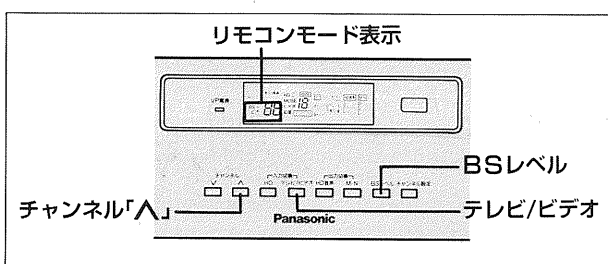
リモコンモードについて

当社テレビとの組み合わせで、本機またはテレビのリモコンを操作すると、それぞれ同じ動作になり希望の操作ができないことがあります。

このような場合、本機のリモコンモードを切換えることにより、操作上の誤動作を防ぐことができます。

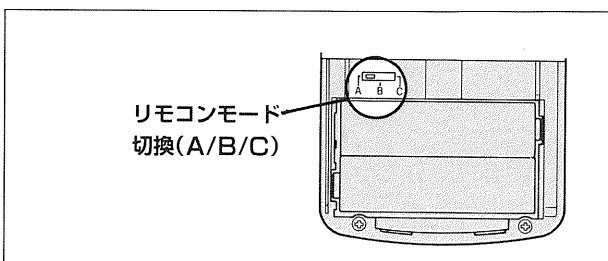
リモコンモード切換のしかた 本機と本機リモコンのモードを同じモードに設定する。

■本体(本体の操作ボタンで設定)



- 1 「BSレベル」と「テレビ/ビデオ」を同時に約3秒間押す。チャンネル表示部にリモコンモードが表示されます。
- 2 チャンネル「A」を押すごとに、リモコンモードが設定できます。A→B→C
- 3 チャンネル「A」以外のボタンを押すとリモコンモード表示が消え、通常のチャンネル表示に戻ります。

■リモコン裏面ふた内



- 4 リモコン電池ふたを開け、リモコンモード切換を本機に合わせて、「A」・「B」・「C」の設定する。

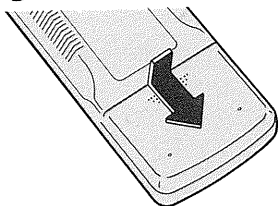
お知らせ

本機のリモコンは、(財)家電製品協会の指導に準拠した新方式のリモコンモードを使用しています。

リモコンに電池を入れる

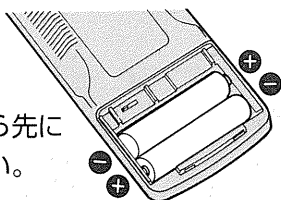


1 ふたをあける



2 電池を入れ、ふたをしめる

電池は●側から先に
入れてください。



同梱の単3乾電池を、極性に注意して図
のように入れてください。

※充電式(Ni-Cd)電池は使用しないでください。

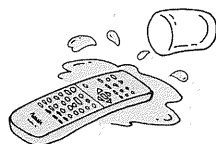
<電池使用上のご注意>

電池の破裂や液もれを防ぐため、次のことをご守りください。

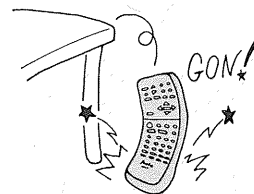
- 種類の違うものや新・旧を混ぜて使わない。
- 電池は充電できません。
- ⊕極と⊖極をショートさせないでください。
- 分解しないでください。
- 使用後、可燃ゴミにまぜたり、燃やしたりしないでください。

<リモコン使用上のご注意>

液状のものを掛けないように。



落とさないように。



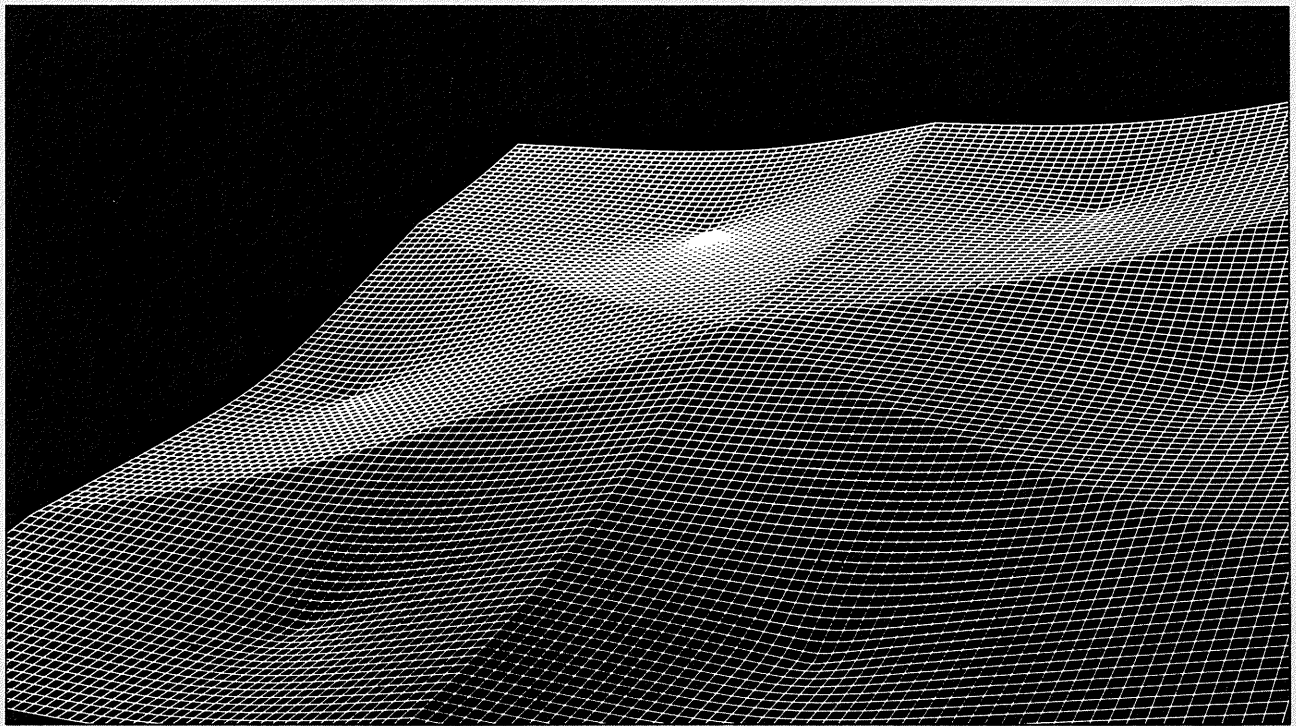
リモコンが使えないときは

- 電池の極性はまちがっていませんか？
- 本機とリモコンのリモコンモードが合っていますか？



ふだんの操作

- ふだんご覧になるときにお読みください。

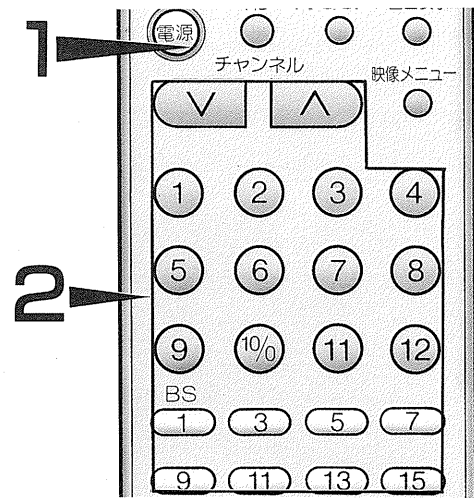


基本の操作

準備 例 本機とビデオプロジェクターの接続のとき

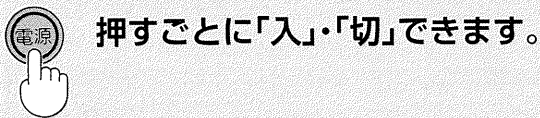
1. スクリーンの準備をする
2. ビデオプロジェクターの電源を入れる

※ 当社指定の機器を使用の場合は自動的に準備されます。(システム接続例50ページ参照)



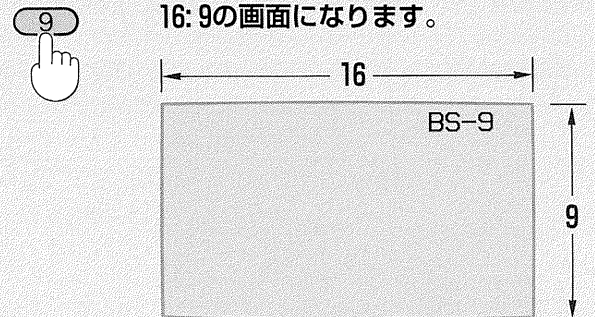
ハイビジョン・テレビ(VHF/UHF)・BS放送を

1 電源を入れる



2 チャンネルを選ぶ

ハイビジョン放送のとき



例 BS-9チャンネルを受信のとき

■電源「入」の時間設定について

本機に専用のコントロールセンサーを接続して、スクリーンなどの電源操作をする場合に、本機の電源を「入」にして出画する時間を調整することができます。[HA(ホームオートメーション)システムとの接続 72ページ参照]

■順送り選局について

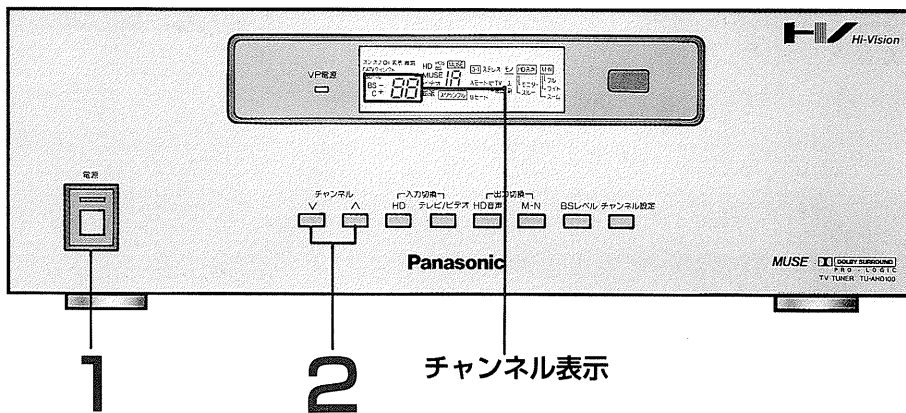
本体またはリモコンのV・Aボタンを押すごとにチャンネルが換わります。

▲ボタン… テレビ(1~12)→BS(1~15)の順に変化します。

▼ボタン… ▲ボタンとは逆に変化します。

お知らせ オンスクリーン表示について

チャンネルなどのオンスクリーン表示はVP出力からのみ出力されます。(モニター出力、HDモニター出力からは出力されません。)

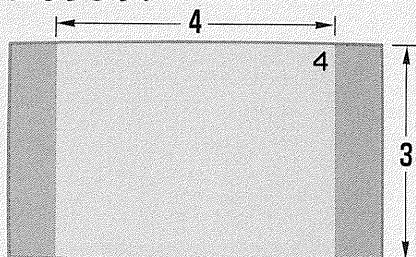


見る

3 音量を調整する

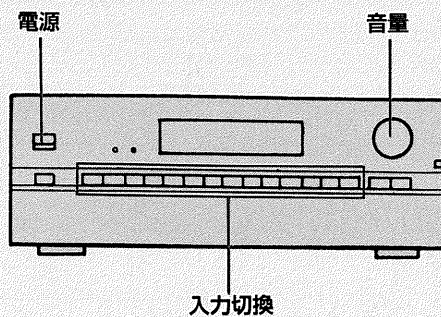
テレビ・BS放送のとき

4 電源を切る前の画面サイズになります。



例 4チャンネルをノーマル画面で受信のとき

アンプの電源を入れ、音量を調整します。



例 当社製AVアンプ(SU-AV100)のとき

お知らせ CATV受信地区でのテレビ選局について

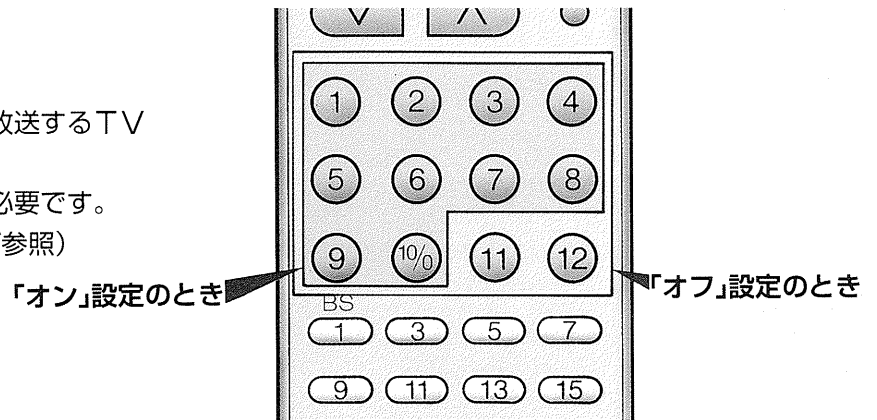
CATVダイレクト「オン」設定のときは、テレビ放送の選局のしかたが異なります。
(CATV放送を見る14ページ参照)

お知らせ

接続したアンプの「説明書」も参照ください。

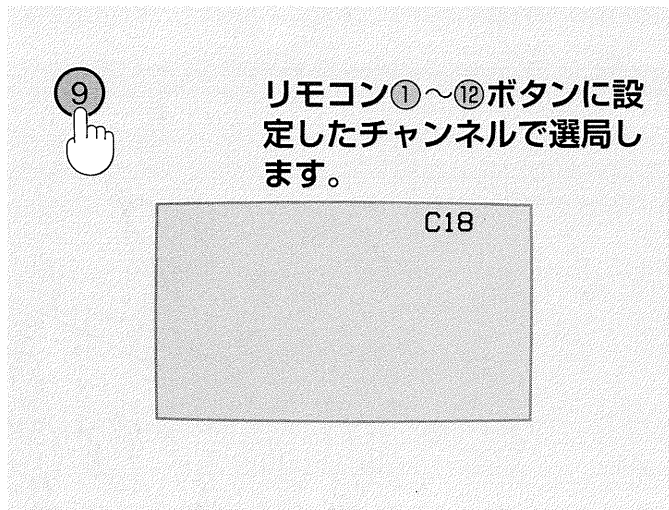
基本の操作

- CATVは地域独自のテレビ番組を有線で放送するTVシステムです。
- 受信するにはCATV会社の加入手続きが必要です。
(CATV受信設定のしかたは、44・45ページ参照)



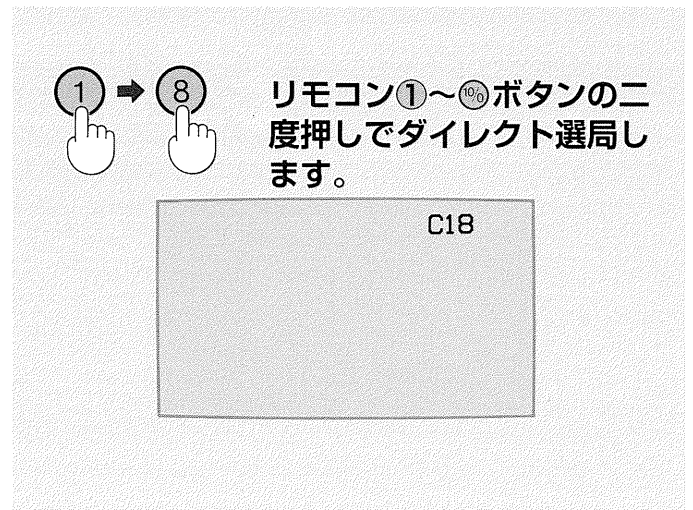
CATV放送を見る (例：C18チャンネルを見る場合)

■CATVダイレクト「オフ」設定のとき



例 ⑨ボタンに設定したとき

■CATVダイレクト「オン」設定のとき



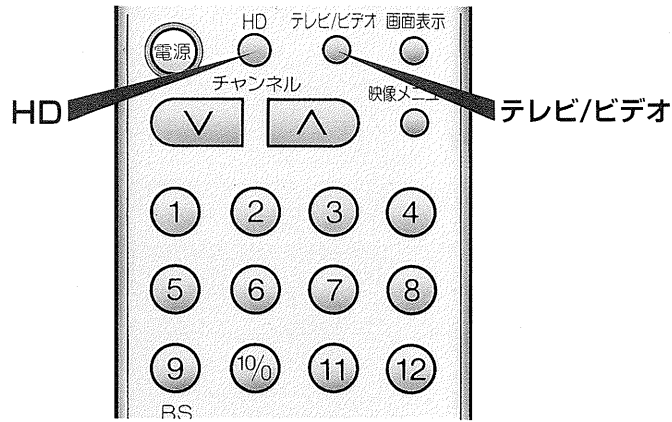
※「オン」設定のときは、

- VHF放送も二度押しで選局します。
(例：3チャンネルなら⑩→③と押す。)
- UHF放送は受信できません。

順送り選局について

- 「オン」設定の時は、順送り選局のV・Hボタンを押すと次のようにチャンネルが変わります。

→VHF(1～12)→CATV(C13～C63)→BS(BS-1～BS-15)←



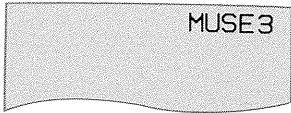
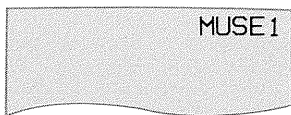
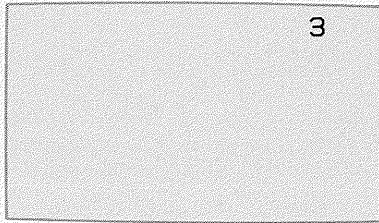
ビデオなどを見る

■ハイビジョン機器を見るとき

HD



押すごとに画面が
切換わります。

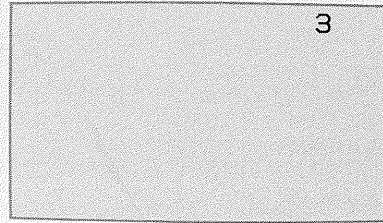


■現行(NTSC)ビデオなどを見るとき

テレビ/ビデオ

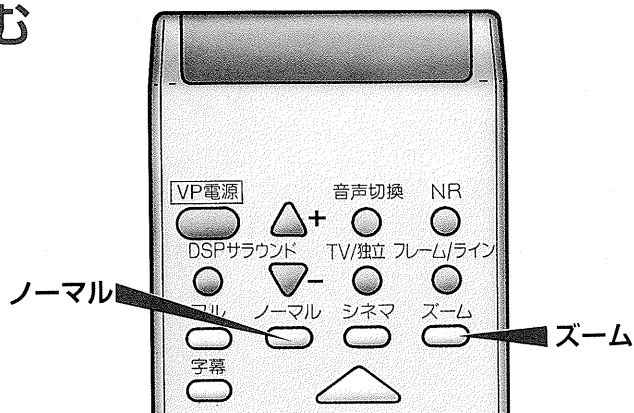


押すごとに画面が
切換わります。

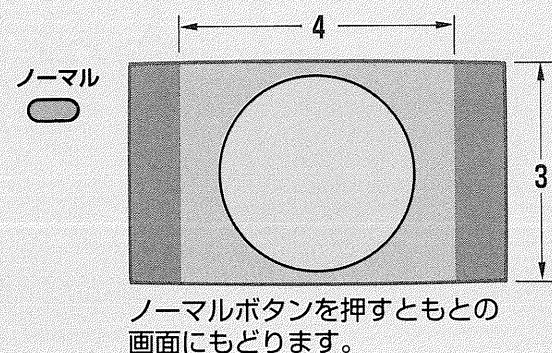
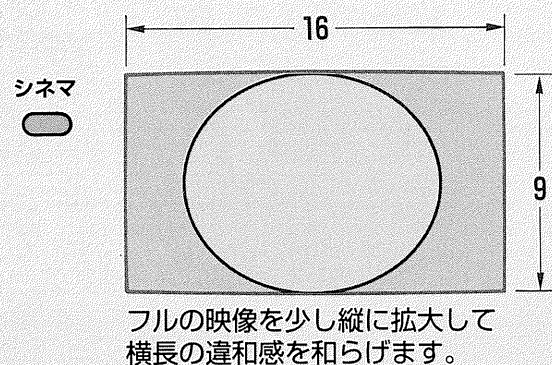
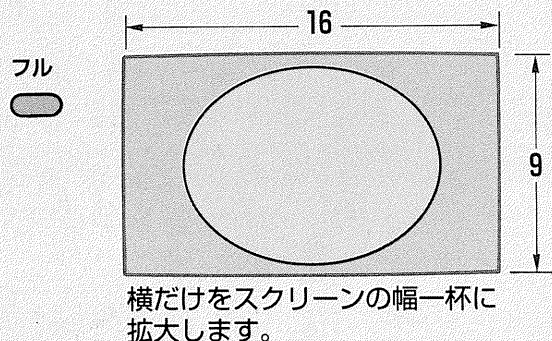
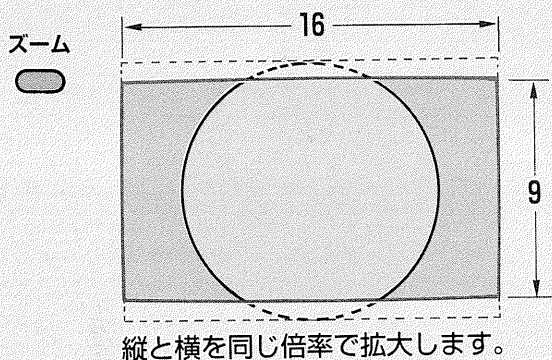


ワイドな画面で楽しむ

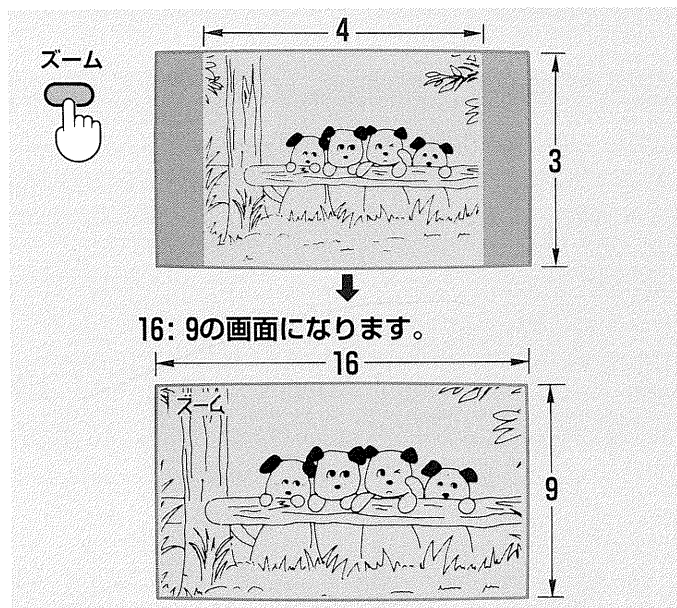
- 現行のテレビ放送やビスタビジョンサイズのビデオソフトなどを見るときに、ワイド画面で楽しめます。
 - 縦長に圧縮された映像を見るときに、映像を正常にもどし、ワイド画面で楽しめます。
- ※ハイビジョン放送、MUSE入力1、2、3、HDビデオのときは操作できません。



映像の変化について



ワイドな画面で楽しむ



例 現行のテレビ放送

スクリーンの幅一杯に拡大します。
(ただし、映像の上下がかけます。)

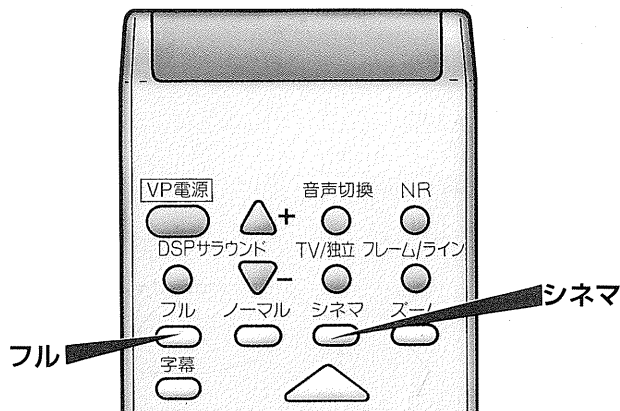
■上下にかけた部分を見たいとき…

(かかれてある映像を見るとき29ページ参照)

メモ 横縦比(アスペクト比)について

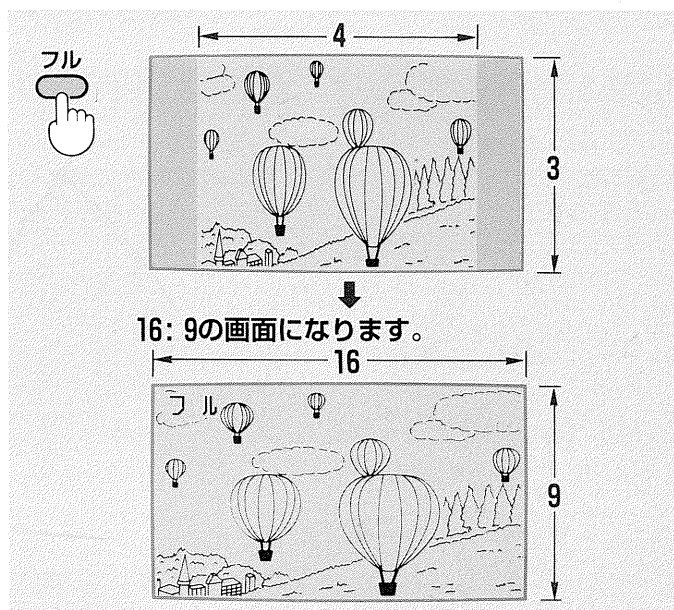
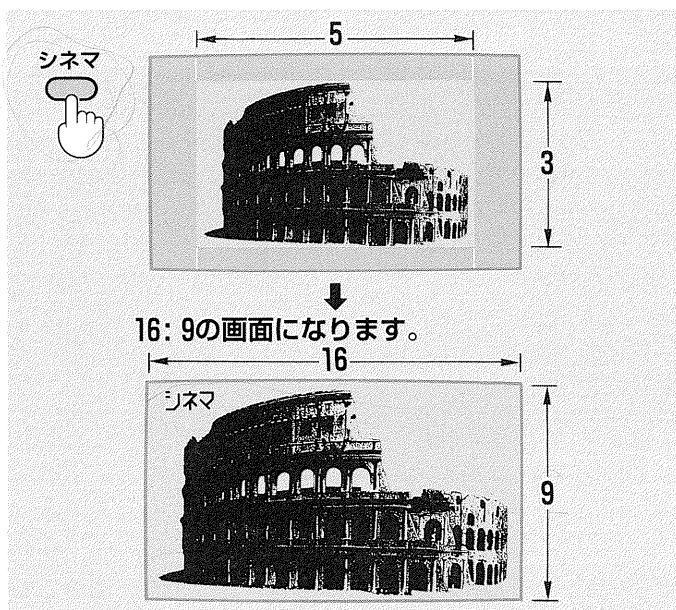
画面の横と縦の比のことで、放送やビデオソフトにより異なります。

放送・映像ソフト	横縦比
テレビ放送(VHF・UHF)	4:3
BS放送	
ハイビジョン放送	16:9
ビスタビジョンサイズIソフト	
ビスタビジョンサイズIIソフト	5:3
シネマビジョンサイズソフト	2.35:1



横長の映像ソフトを楽しむ

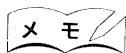
フル映像のソフトを楽しむ



例 ビスタビジョンサイズⅡのソフト

スクリーンの幅一杯に拡大します。
(ただし、映像ソフトによっては、映像の上下がかけることがあります。また、やや横にのびた映像になります。)

圧縮された映像を正常な映像にもどし、スクリーン一杯に映像を映し出します。
(ただし、通常の映像の場合、横長の映像になります。)



画面サイズはテレビ、BS、ビデオごとに記憶します。



ワイドテレビ対応ビデオで、縦長に圧縮された映像のソフトを再生したとき自動的にフルになります。

お知らせ

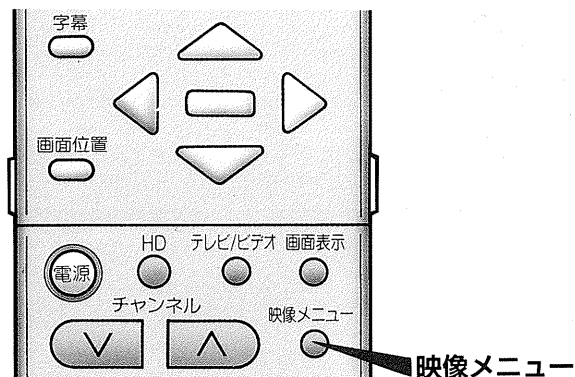
シネマビジョンサイズのソフトをズームにすると画面の上下に映像のない部分ができます。

お知らせ

ワイドテレビ対応ビデオと接続するときは、S1映像で接続してください。S1映像で接続しないと、自動的にフルになりません。

映像を選ぶ

より良い映像で楽しむために、あらかじめ4種類の映像・色を調整し、映像メニューとして記憶しています。
各映像メニューは自由に呼び出すことができます。



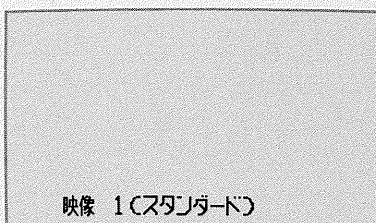
見やすい映像を選ぶ(映像メニュー)

映像メニュー

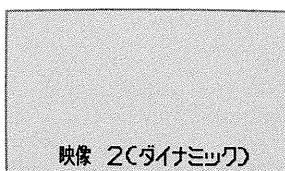


押すごとに選べます。

標準的な明るさのところ
標準的な画像に



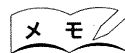
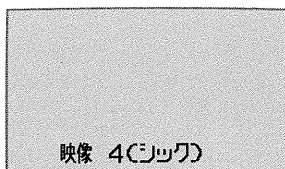
明るいところ
明暗がはっきりした
メリハリのある画像に



やや暗いところ
暗い画面などの微妙な
階調を重視した画像に



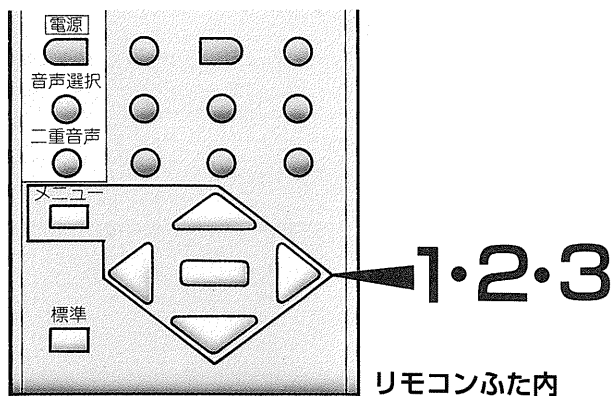
暗いところ
ノイズ画面などにも
適した画像に



- 選んだ映像メニューは、テレビ、BS、ビデオごとに記憶しています。
- ハイビジョン放送、HDビデオ、MUSE入力1、2、3のときは、「映像」専用メニューのため選択できませんが「映像の調整」はできます。

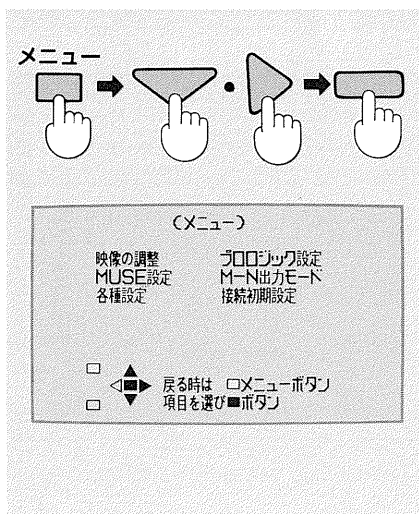
MUSEA I 機能について

- ハイビジョン放送、MUSE入力
1、2、3のときに機能します。
- ふだんはA I「オン」でご覧ください。明るくコントラストのはっきりした映像と鮮やかな色再現の画像でお楽しみになれます。

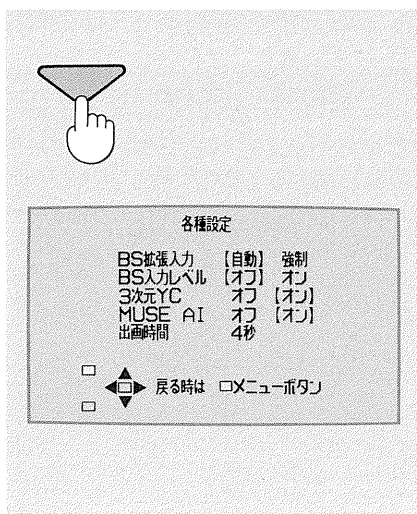


MUSEA I (人工知能)を使う

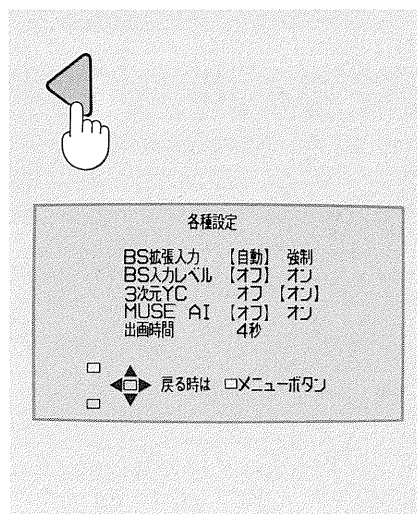
1 『各種設定』を選び決定する



2 『MUSEA I』を選ぶ



3 『オフ』にする

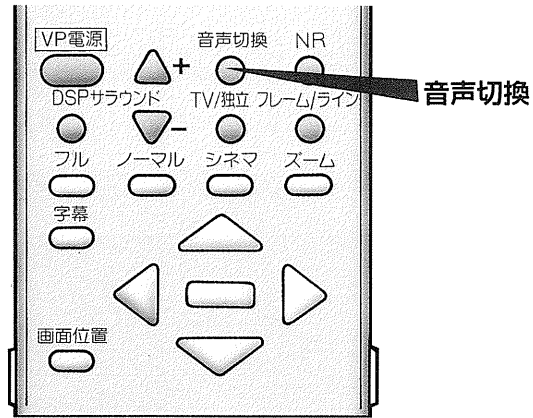


A I 機能を使わない
通常の画像になります。

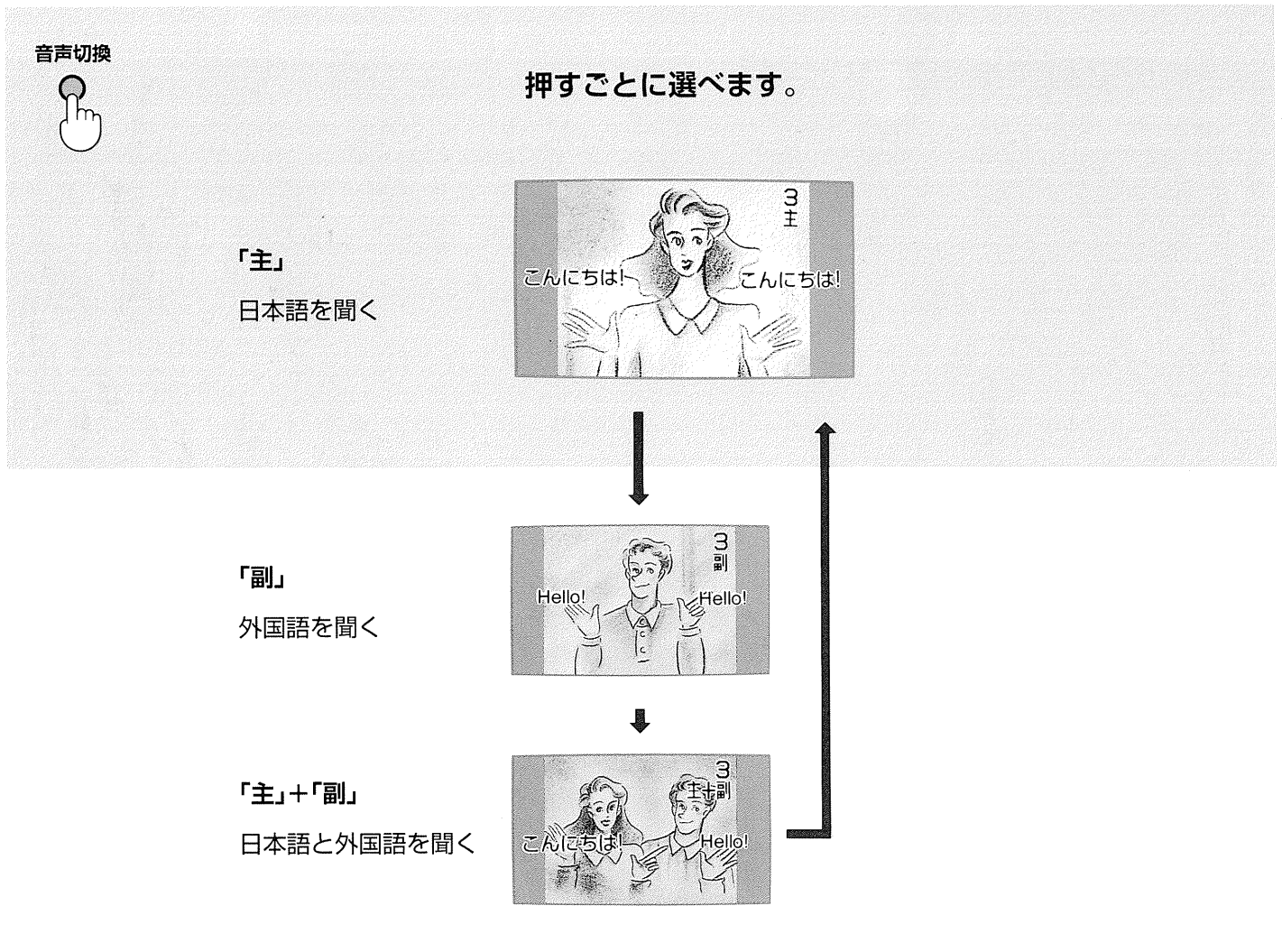
お知らせ

- テレビ、BS、ビデオ、HDビデオのときは機能しません。
- MUSEA I「オン」にすると、モニター出力、HDモニター出力の映像も同じように変化します。

音を選ぶ

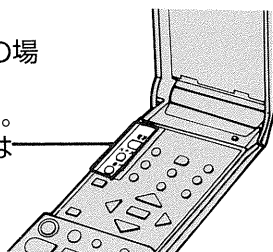


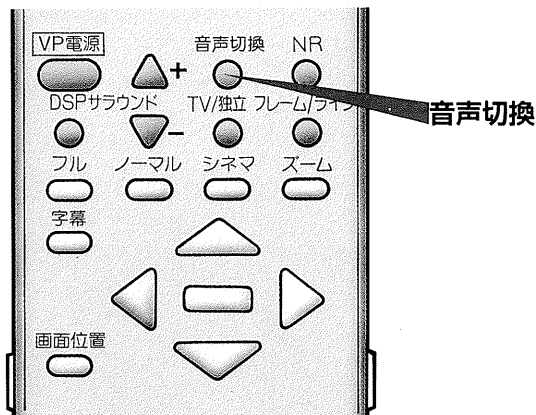
2カ国語(二重)放送のとき(音声切換)



お知らせ

- 放送によっては、「主」が原語、「副」が日本語の場合があります。(テレビ放送時のみ)
- 電源を「切」・「入」したときは「主」に戻ります。
- “BSデコーダーで設定”の表示が出るときはBSデコーダー操作部で操作します。





ステレオ放送のとき

自動的に「ステレオ」になります

テレビステレオ放送のとき



BSステレオ放送のとき



雑音が入るときは(テレビ放送のとき)

音声切換



「モノラル」

モノラルで聞く



再度押すとステレオになります。

お知らせ モノラルにすると…

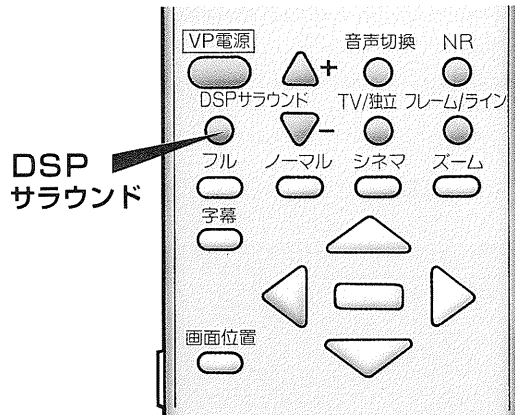
- 電源を「切」・「入」したときは「ステレオ」に戻ります。
- BS放送、ハイビジョン放送のときは「モノラル」に切り替わりません。

音を選ぶ

コンサートホールの臨場感をご家庭で簡単に楽しめるようにしたシステムです。

お知らせ

- 本機能は、アンプやスピーカーの接続初期設定が、合っていないときは正しく働きません。
(システムアップ60~64ページ参照)
- DSPサラウンドの音声はNTSCモニター出力のみから出力されます。



音の臨場感を出す (DSPサラウンド)

サラウンド



押すごとに選べます。

2スピーカー(L、R)システムで音の拡がりを出したいとき
複数のスピーカーを使用しているような臨場感に
(特に3-1ステレオ放送のときに効果があります。)



映画番組などのとき
映画館の雰囲気

サラウンド (シネマ)

音楽番組などのとき
コンサートホールの臨場感に

サラウンド (ホール)

スポーツ番組などのとき
スタジアムの拡がり感で迫力ある音場に

サラウンド (スタジアム)

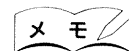
ドルビーマークの入ったソフト再生のとき *

プロロジック

DSP機能を使わない通常の音声になります。

サラウンド オフ

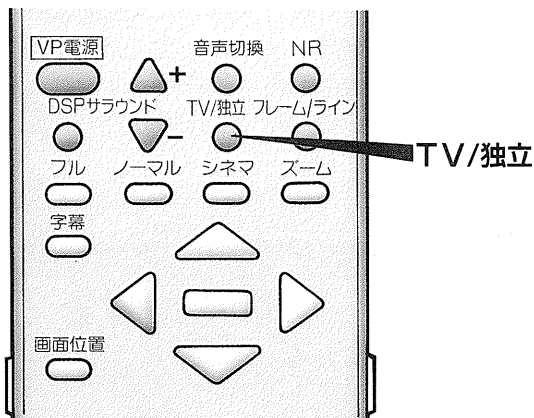
* ステレオ放送以外のときや、スピーカー設定が「LR」・「LRC」のときは、プロロジックモードは選ばません。



DSPサラウンドについて

選んだDSPサラウンドは、放送のときはステレオ、モノラル、3-1ステレオ音声ごとに、外部入力の場合はビデオ、HDビデオ、MUSE入力1、2、3ごとに記憶しています。

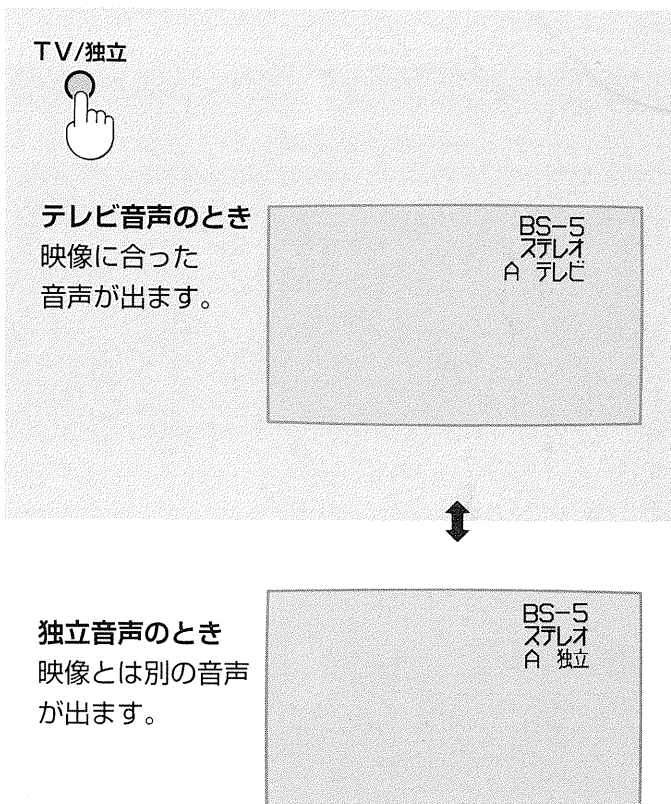
Aモード放送のとき、「テレビ音声」・「独立音声」の選択ができます。
 (ただしハイビジョン放送の3-1ステレオのときは選択できません。)



BS音声を切替える(TV/独立)

BS音声の種類について
 「Aモード」と「Bモード」があり放送内容によって自動的に切替わります。

BS音声			
Aモード		Bモード	
<ul style="list-style-type: none"> ■ FM放送なみの音声が楽しめます。 ■ テレビの画面に関連した「テレビ音声」とテレビ画面と全く関係ない「独立した音声」が送られてくることがあります。 			
テレビ音声	<ul style="list-style-type: none"> ●ステレオ ●モノラル ●二重 	<ul style="list-style-type: none"> ■ コンパクトディスクなみの高品位の音声が楽しめます。 ■ 「テレビ音声」だけが送られてきます。 	
独立音声	<ul style="list-style-type: none"> ●ステレオ ●モノラル ●二重 	テレビ音声	<ul style="list-style-type: none"> ●ステレオ ●モノラル ●二重



お知らせ 「BSデコーダーで設定」表示が出るとき
 BSデコーダー側で音声切替をします。

独立音声放送がないとき
 「独立音声」を選んでも音声が出ません。「テレビ音声」に切替えてください。

チャンネルを変えたり、電源を切ると
 「テレビ音声」にもどります。

リモコンが使えないとき(本体での操作)

リモコンがお手元がないときや電池が消耗して使えないときは、本体のボタンでお取り扱いください。

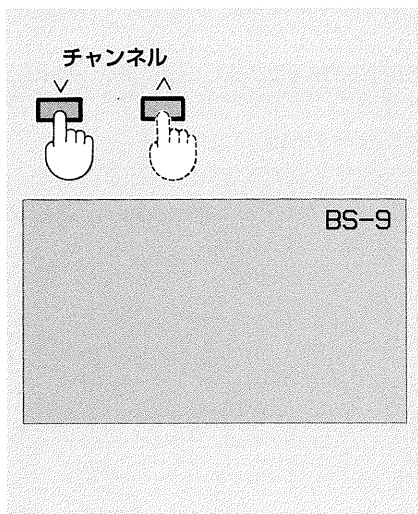
準備 例 本機とビデオプロジェクターの接続のとき

1. スクリーンの準備をする
2. ビデオプロジェクターの電源を入れる

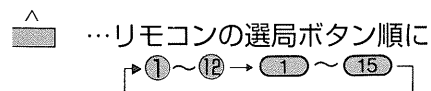
1 電源を入れる



2 チャンネルを選ぶ



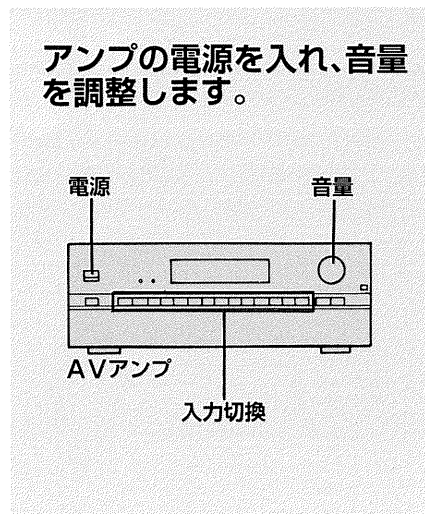
チャンネルが順送りで選べます。



…リモコンの選局ボタン順に

… ^ とは逆に、変わります。

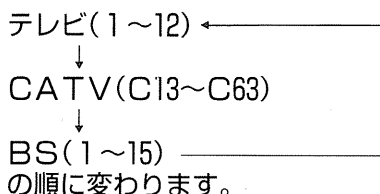
3 音量を調整する

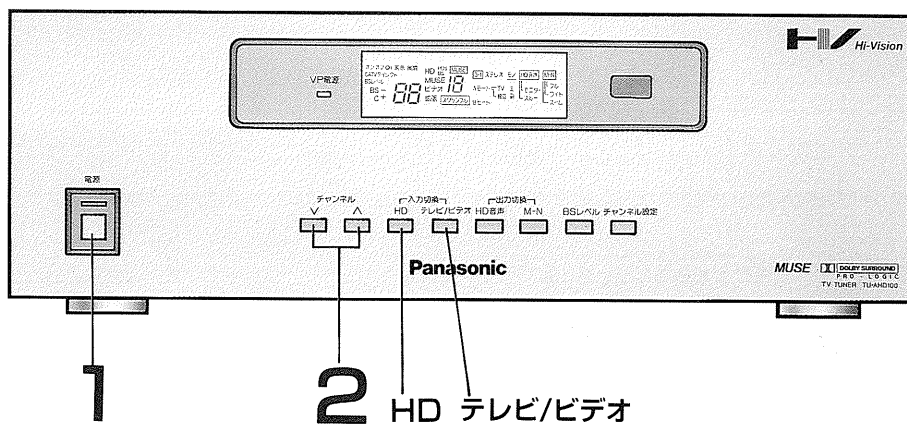


例 当社製AVアンプ(SU-AV100)のとき

スキップ(飛び越し)選局について
46ページ「放送のないチャンネルをスキップするときは」の要領でチャンネル番号を「0」に書換えると、そのチャンネルは飛び越して選局します。

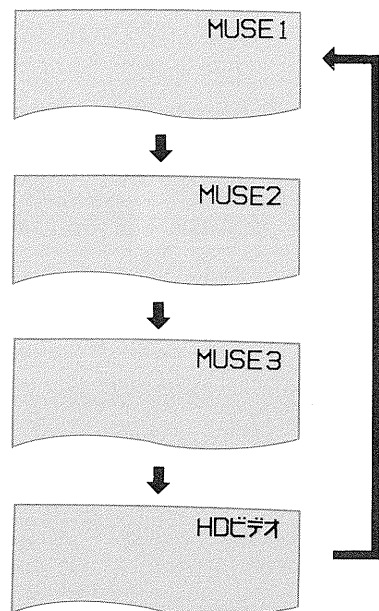
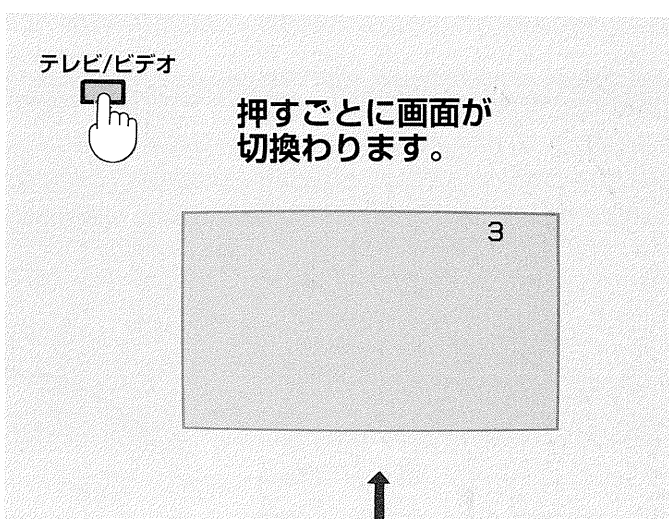
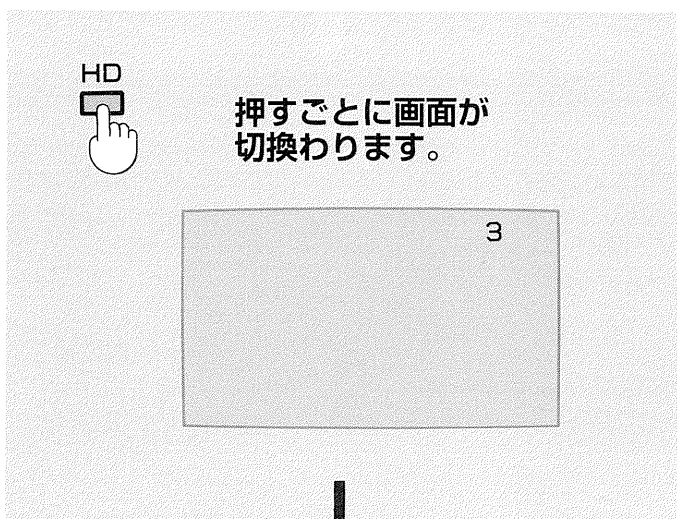
※CATVダイレクト「オン」のとき
VHF放送は飛び越ししません。





■ハイビジョン機器を見るとき

■現行(NTSC)ビデオなどを見るとき



■テレビ画面に戻したいとき

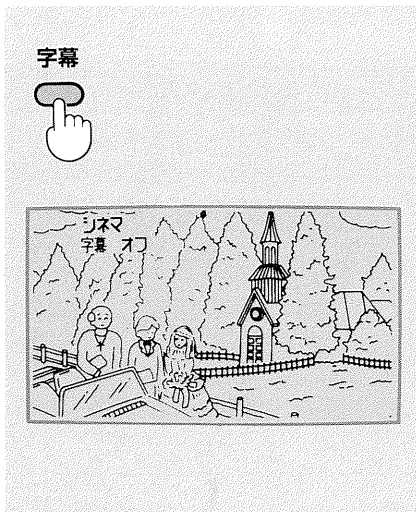
▼チャンネル ▲ または テレビ/ビデオ ボタンを押すと
テレビ画面に戻ります。

ワイド画面を使いこなす

ビスタビジョンサイズなどのビデオやビデオディスクのソフトをワイド画面で見るときに、画面サイズをズームやシネマにすると字幕がかかる場合があります。このときに、字幕を任意の位置に移動して、お楽しみになれます。
※ ノーマルやフルのときは設定できません。

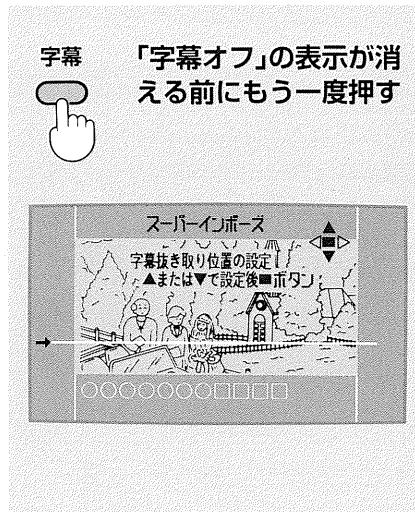
字幕を動かす

1 「字幕オフ」を確認する



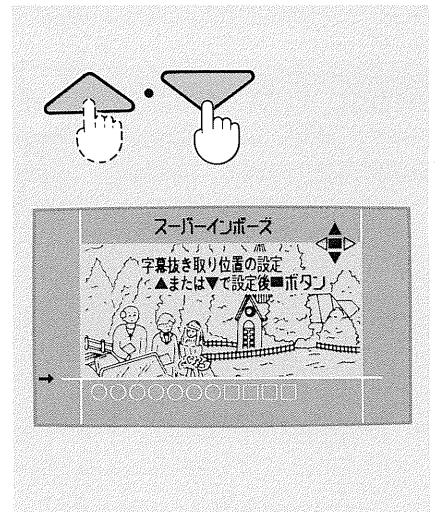
例 シネマ画面で字幕がかくれている場合

2 「スーパーインポーズ」画面にする



画面サイズがノーマルに変わります。

3 字幕の上端に矢印を合わせる

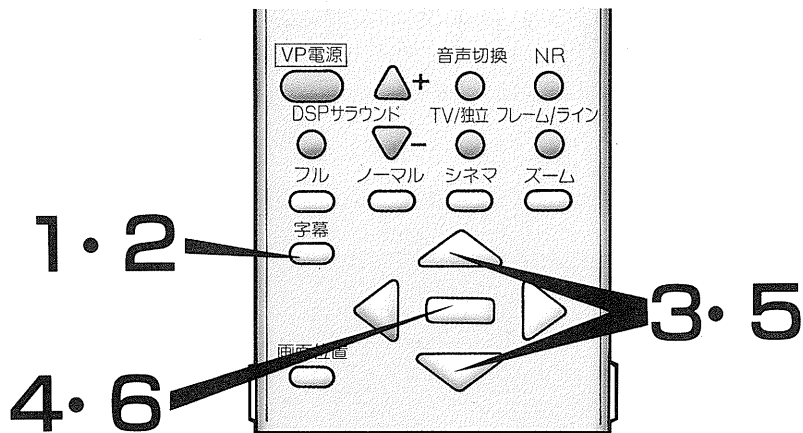


矢印より下の部分を抜き取ることができます。

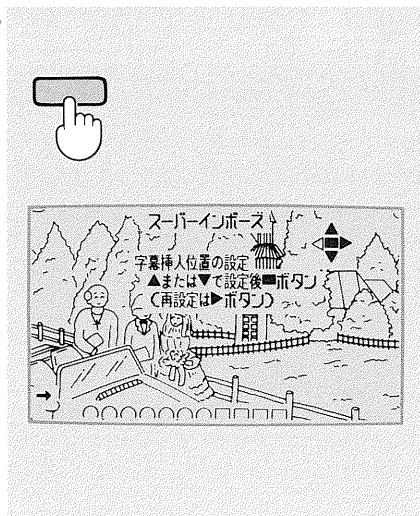
■すでに字幕の設定をしているときは…
もう一度、字幕ボタンを押すとすぐに6の画面になります。

お知らせ 字幕抜き取り位置について

- 映像の中にある字幕は、字幕のみを抜き取ることはできません。
- 映像の中に字幕があるときは、垂直位置調整で、字幕が見えるところに映像を移動させてください。
(かかっている映像を見るとき29ページ参照)

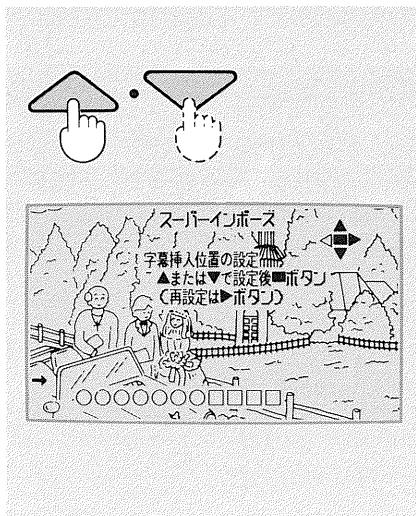


4 抜き取りを決定する



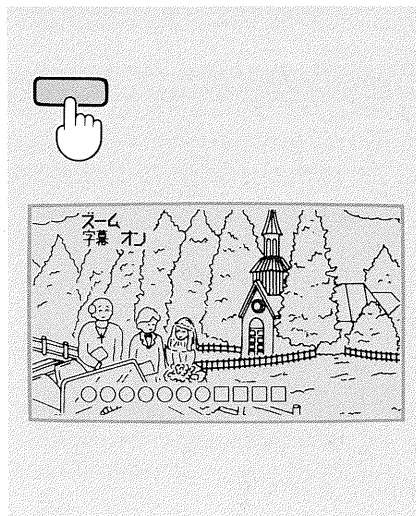
ズームの画面になり、映像と字幕が重なって表示されます。

5 字幕を移動させる



字幕を動かして挿入位置を調整します。

6 設定を完了する



「字幕オン」の表示が出て、設定位置に字幕が出ます。

■字幕が出ないときは…

- ▶ ボタンを押すと、3の画面にもどります。
- もう一度、4の操作をします。

■字幕を消したいときは…

- 「字幕オン」表示が出ている間に、もう一度、字幕 ボタンを押します。



字幕を移動させる前の画面サイズに関係なく「字幕オン」になるとズームになります。

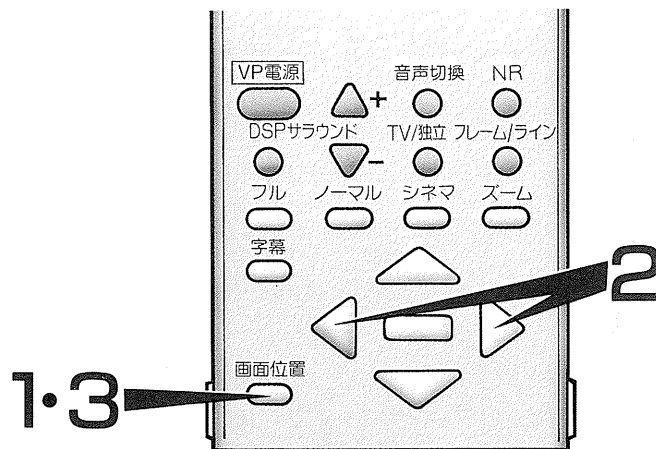
お知らせ

ノーマル、フルにすると「字幕オフ」になります。

ワイド画面を使いこなす

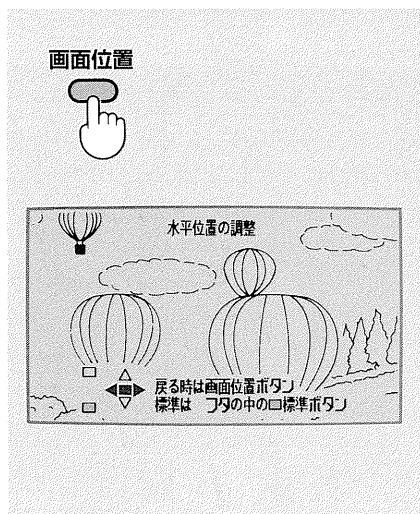
ハイビジョン放送、HDビデオ、MUSE入力
1、2、3画面のとき、「水平位置の調整」が
できます。

※テレビ、BS放送、ビデオのときは調整でき
ません。



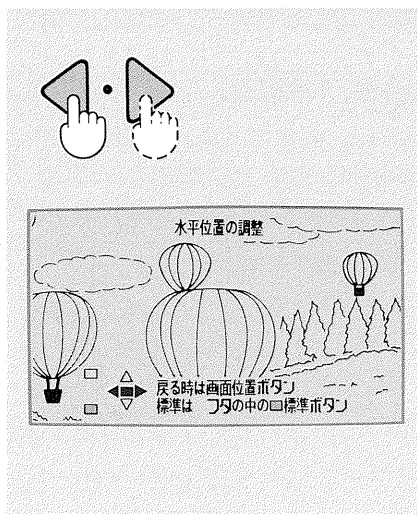
画面が横にずれているとき(水平位置の調整)

1 『水平位置の調整』
画面にする



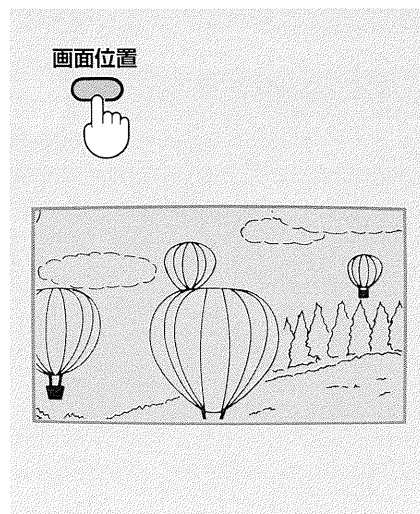
例 HDビデオのとき

2 調整する



例 映像を左へ移動させる

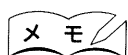
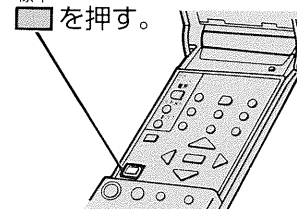
3 調整を完了する



調整後の水平位置を記憶し、通常の
テレビ画面に戻ります。

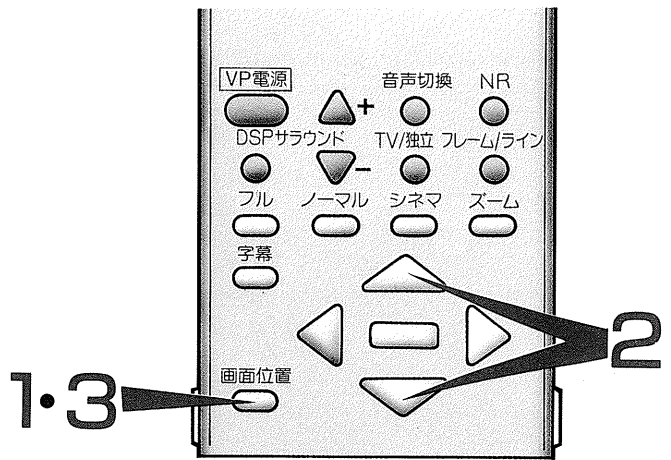
■ 水平位置を標準にもどしたい
とき

2の画面のときにフタの中の
標準
□を押す。



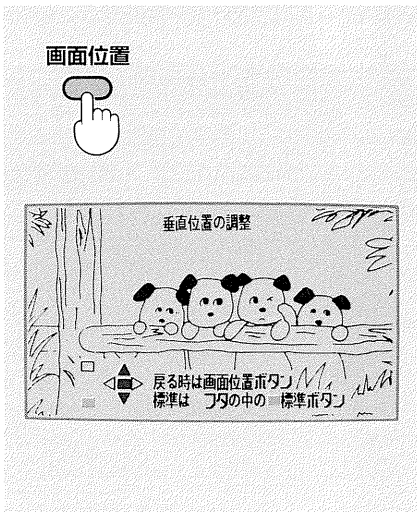
水平位置は、ハイビジョン放送、HDビデオ、MUSE入力1、2、3ごとに記憶しています。

画面サイズがズーム、シネマのとき、「垂直位置の調整」ができます。
 ※ ノーマル、フルのときは調整できません。

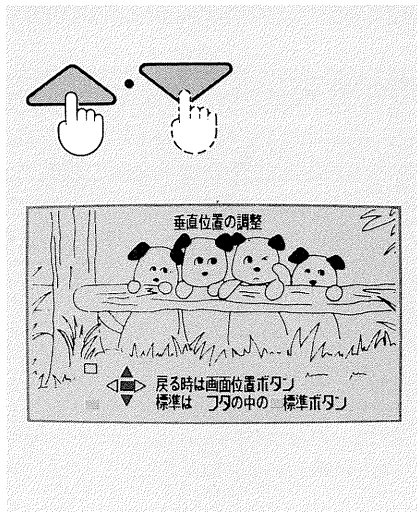


かくれている映像を見る とき(垂直位置の調整)

1 「垂直位置の調整」画面にする



2 調整する



3 調整を完了する



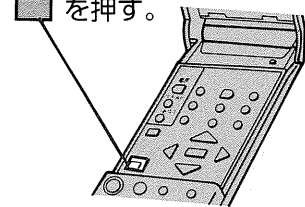
例 ズームのとき

例 映像を上に移動させる

調整後の垂直位置を記憶し、通常のテレビ画面に戻ります。

■ 垂直位置を標準にもどしたいとき

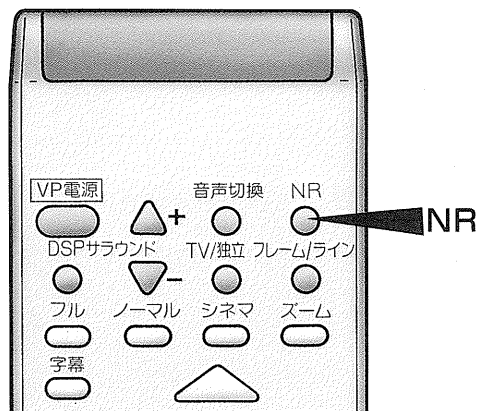
2の画面のときにフタの中の標準ボタンを押す。



垂直位置はズーム、シネマごとに記憶しています。

便利な機能

電波の状態などで現れるノイズ画面(ざらつき)のときに、NR(映像ノイズリダクション)を設定するとノイズ画面を補正し、見やすくなります。



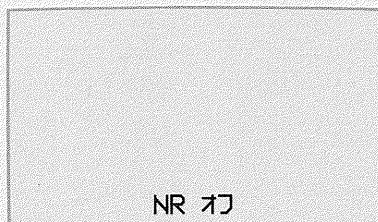
画面のざらつきが気になるとき(NR)

NR



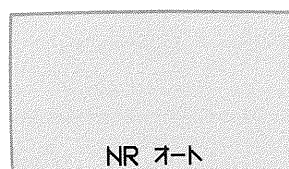
押すごとにNR効果が選べます。

通常は「オフ」で
ご使用ください。

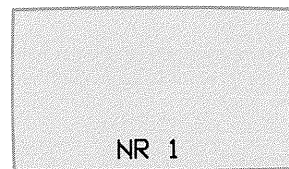


NR効果:オート

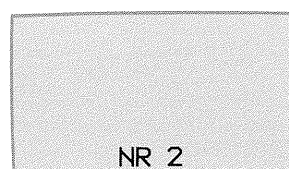
ざらつきの状態によりNR
効果を自動的に調整します。



NR効果:1(効果小)



NR効果:2(効果大)



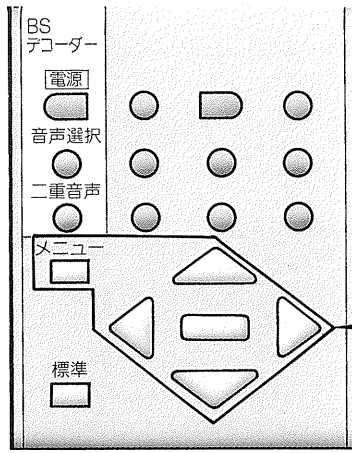
選んだNR効果は、テレビ・BSの各チャンネル、ハイビジョン放送、ビデオ、MUSE入力1、2、3ごとに記憶しています。

お知らせ

- HDビデオのときは機能しません。
- ハイビジョン放送、MUSE入力1、2、3のときに各NR効果を選ぶと、モニター出力、HDモニター出力の映像も同じように変化します。(HDモニター出力はテレビ、BS、ビデオのときも変化します。)

3次元YCについて

現行の放送で細密な白黒部分の色づきなどをなくし、見やすい映像で楽しめます。



1・2・3

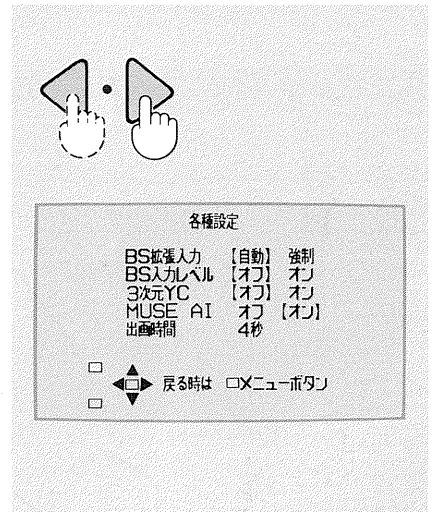
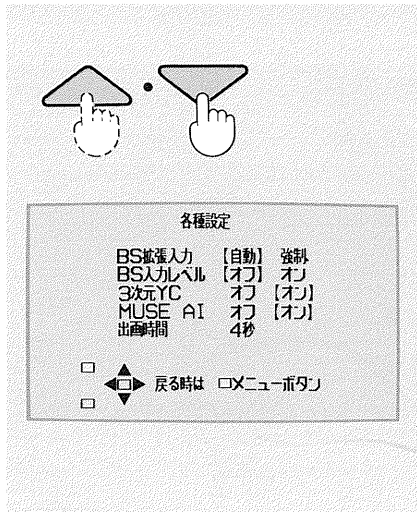
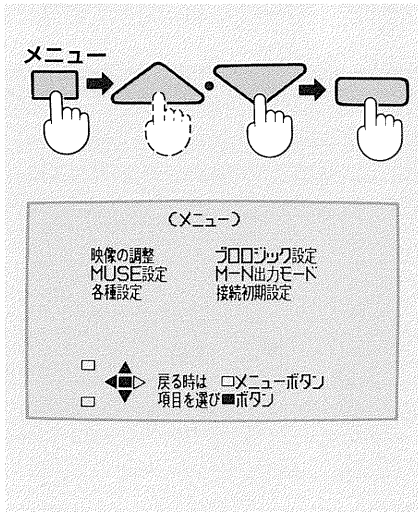
リモコンふた内

動きのある映像で見づらいとき(3次元YC)

1 「各種設定」を選び、決定する

2 「3次元YC」を選ぶ

3 「オフ」にする



くわしい操作

例 3次元YC「オフ」に設定

「オン」… ふだんご覧になるとき
「オフ」… 動きのある映像で見づらいとき

メニューボタンを2回押すと通常のテレビ画面に戻ります。

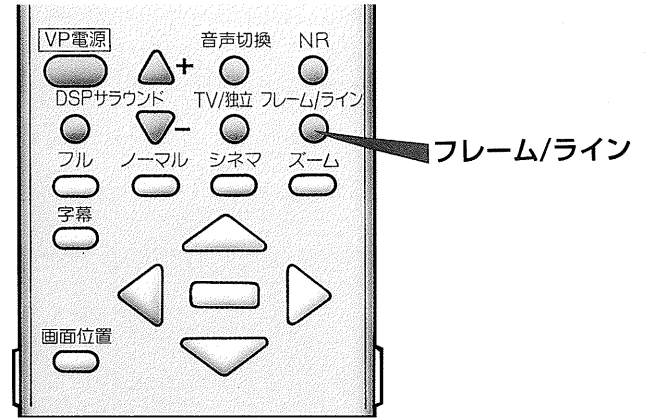
お知らせ

ハイビジョン放送、HDビデオ、MUSE入力1、2、3のときは設定できません。

便利な機能

次のときラインに切替えます。

- ビデオディスクプレーヤーで立体ビデオディスクを再生するときや、家庭用ゲーム機のゲームソフト等、特殊映像を再生するとき。
- 電波状態が悪く「フレーム」では画面が不安定(横ぶれ等)のとき。



特殊なビデオソフトなどを再生するとき(フレーム/ライン)

フレーム/ライン

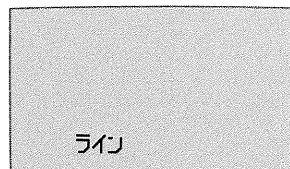


押すごとに切替わります。

通常はフレームで
ご使用ください。



フレーム



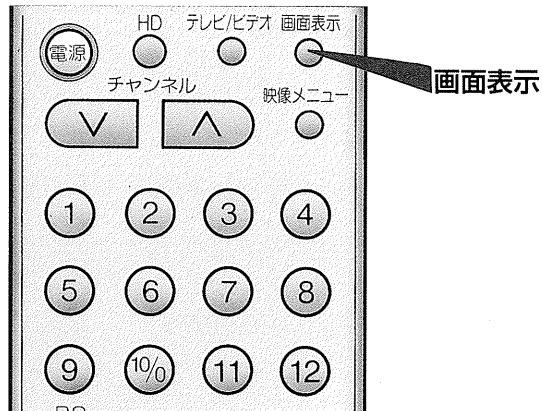
ライン



電源を切るとフレームに戻ります。

お知らせ

ハイビジョン放送、HDビデオ、MUSE入力1、2、3のときは切替わりません。

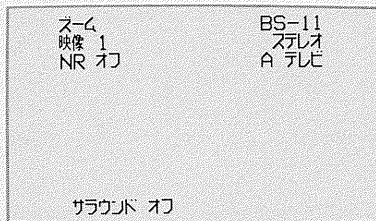


チャンネルなどを知りたい(画面表示)

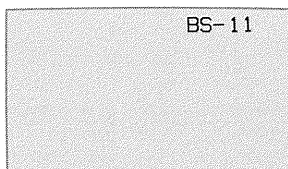
画面表示



チャンネルと放送内容および設定内容を表示します。



しばらくすると、チャンネルを表示。



さらに押すと、解除されます。

画面表示について

詳しくは、その説明ページ■を参照ください。

- 16** アスペクト比
- 18** 映像メニュー
- 30** 映像ノイズリダクション
- 22** DSPサラウンド
- 23** BS音声の選択
- 20** 放送内容によって色と表示が自動的に変化します。
 - 普通(モノラル)放送のとき……………緑色
 - ステレオ・4CHステレオ放送のとき……………黄色
 - 2カ国語(二重)放送のとき……………赤色
- 69** スクランブル放送表示
※BS放送がスクランブルのとき
- 70** BS拡張入力表示
※BSデコーダーからの信号を入力しているとき
- 19** MUSEA I
※ハイビジョン放送、MUSE入力1、2、3のときに表示

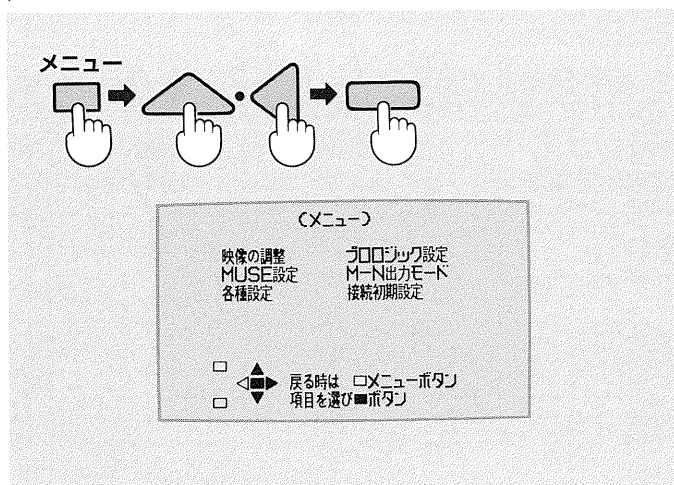
映像・色やサウンドの調整

映像メニューの内容を、さらにお好みの映像や色に変えて記憶させることができます。

- テレビ、BS、ビデオのときは、映像メニューの調整が4：3、16：9の画面ごとに設定できます。
- ハイビジョン放送、MUSE入力1、2、3、HDビデオのときは、各モードごとに設定できます。(16：9のみ)

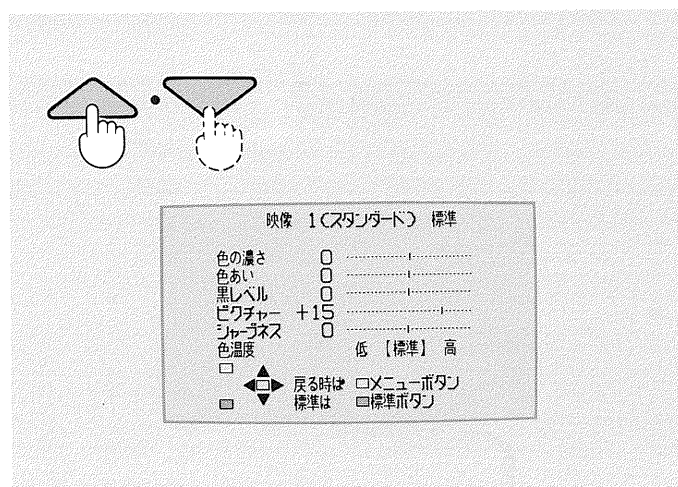
映像の明るさや色を調整する

1 『映像の調整』を選び、決定する



例 映像の調整を選ぶ

2 項目を選ぶ



例 映像1の色の濃さ

※色温度の調整は当社指定プロジェクター接続時のみ
メニューボタンを2回押すと、通常の画面に戻ります。

■他のメニューも変えたいとき

映像メニュー 2の画面で押して選ぶ



調整のポイント

色の濃さの調整
ややうすめの色に。

+…色が濃くなる
-…色がうすくなる

色あいの調整
肌色がきれいになるように。

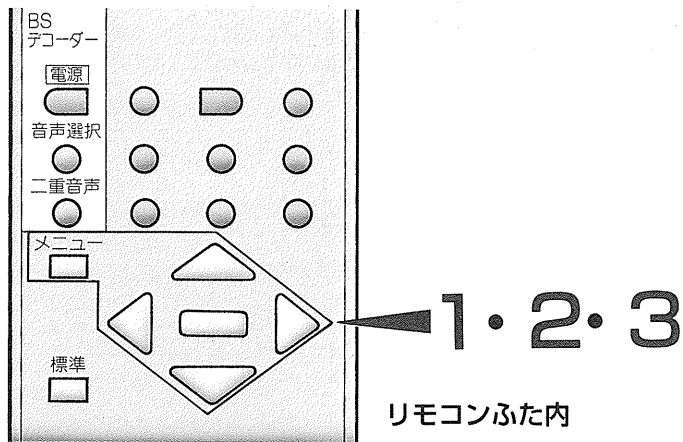
+…肌色が緑がかる
-…肌色が赤紫がかる

黒レベルの調整
画面の暗い部分を見やすく。
(夜の画面や髪の毛など)

+…暗い部分を見やすく
-…暗くなる

ピクチャーの調整
(映像の明るさや濃淡)
部屋の明るさに合わせてお好みの映像の明るさ、濃さに。

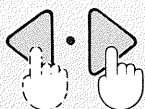
+…濃くなる
-…うすくなる



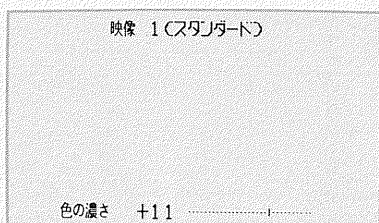
リモコンふた内

3 調整する

■標準にもどしたいとき



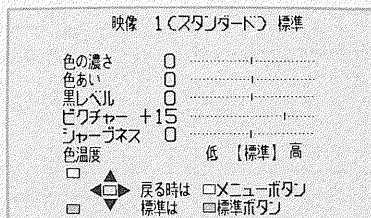
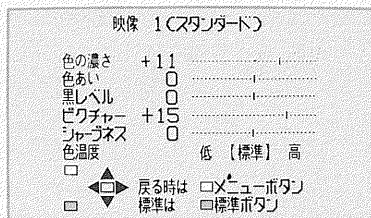
各項目が-30~+30の範囲で調整できます。



例 +11まで濃く

ボタンをはなすと調整された状態を記憶し、2の画面に戻ります。

2のときに押す。



調整中の映像の内容が調整前の最初の状態に戻ります。

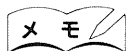
シャープネスの調整

ふだんは中央で。柔らかい感じの映像にしたときは「-」側へ。

色温度の調整

ふだんは標準で。室内の照明やご覧になれるソフト、またはお好みに応じて調整してください。

画面全体が……………
低…少し赤っぽくなる
高…少し青っぽくなる



ピクチャーは画面によっては変化しない場合があります。

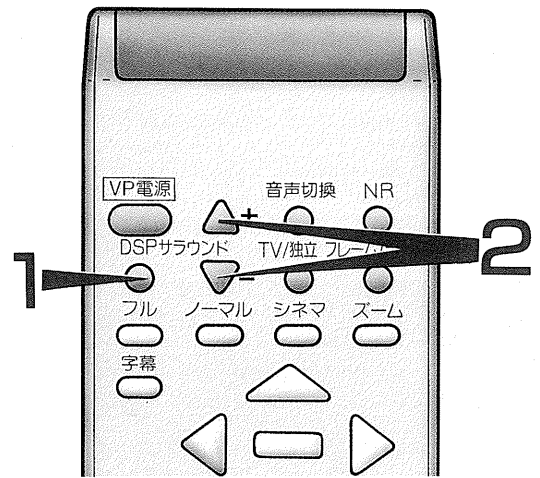
明るい画面… 真昼の映像など、明るい画面ではピクチャーを上げても変化しません。

暗い画面… 夜の画面など、暗い画面ではピクチャーを下げてても変化しません。

映像・色やサウンドの調整

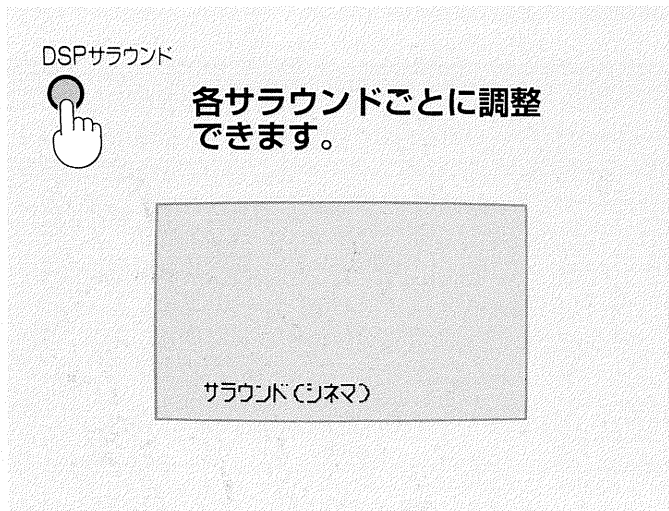
サウンドの効果をお好みのレベルに変えることができます。

※「サウンドオフ」および「プロロジック」のときは調整できません。



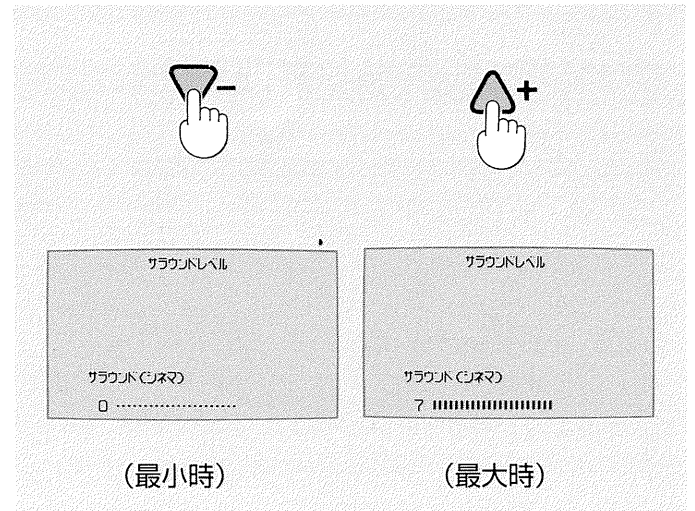
サウンドレベルの強弱を調整する

1 調整したいサウンドを選ぶ



例 サウンド(シネマ)を選ぶ

2 お好みのレベルに調整する



▲ +…効果が大きくなります。

▼ -…効果が小さくなります。

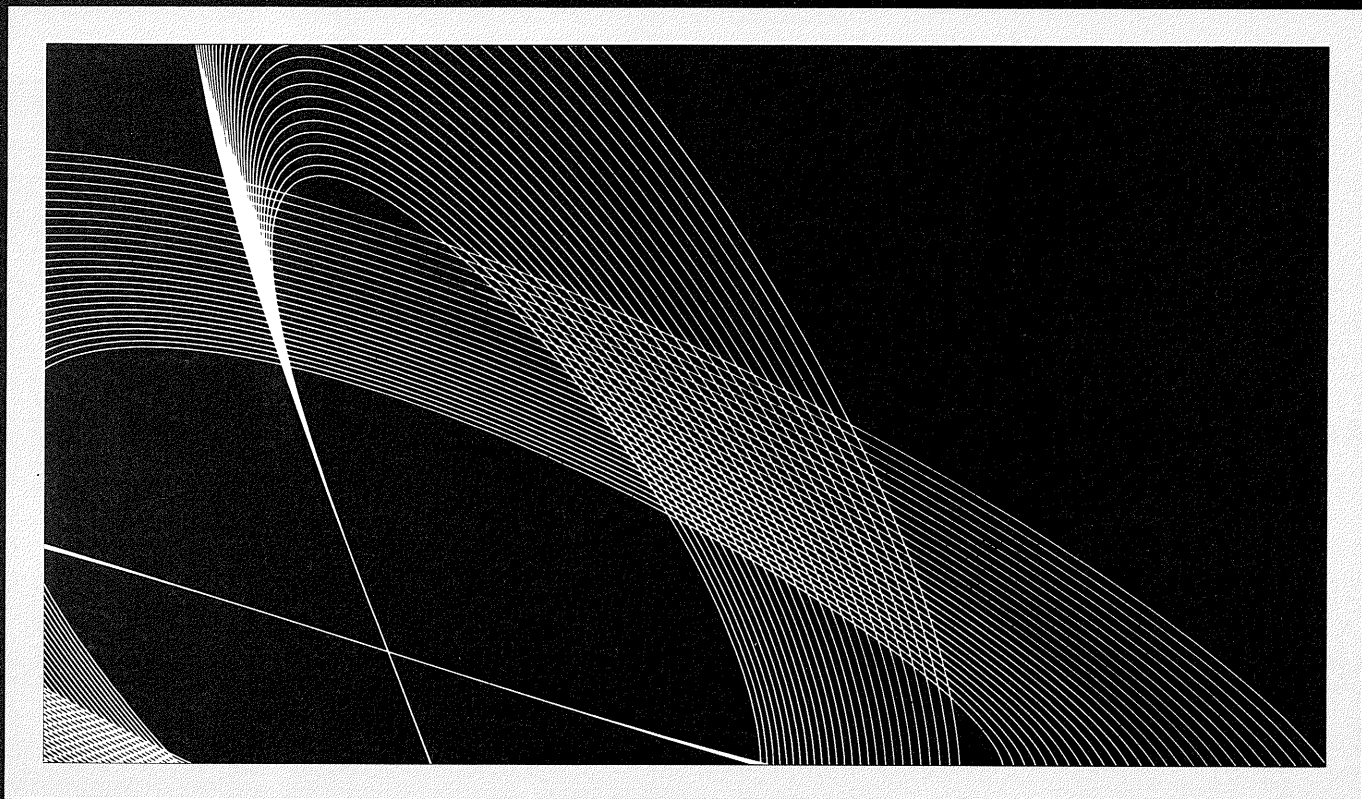
※ サウンドレベルが0のときはサウンド効果がありません。

お知らせ

アンブ接続時に、メニューの接続初期設定で、アンブを「AV」に設定している場合、ビデオ画面のときは調整できません。(サウンド機能は働きません。)

受信の準備

- 本機を設置するときにお読みください。



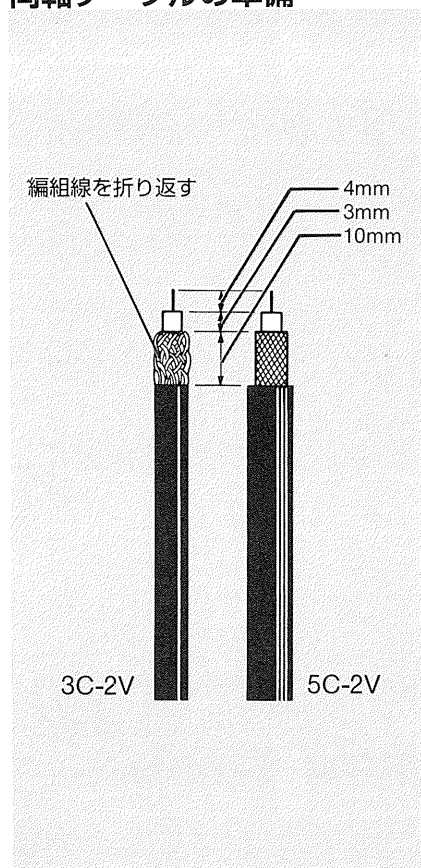
VHF/UHFアンテナの接続

アンテナ線の種類に応じ、下図の要領でVHF/UHFアンテナ端子に接続してください。

※ プラグは一体型・分離型どちらかを同梱しています。

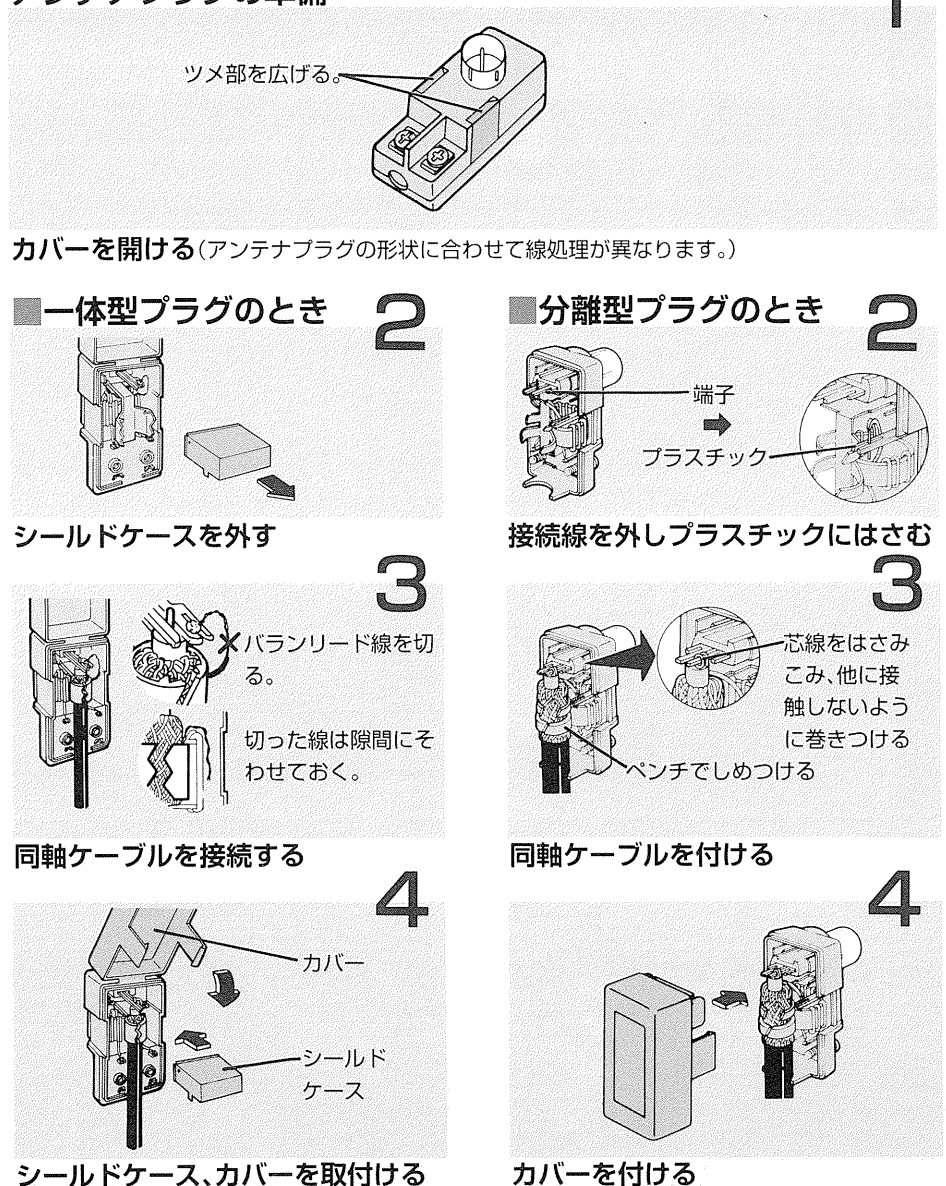
アンテナ線の準備

同軸ケーブルの準備



アンテナ線は
3C-2V(外径約5.8mm)または、
5C-2V(外径約7.5mm)のご使用を。

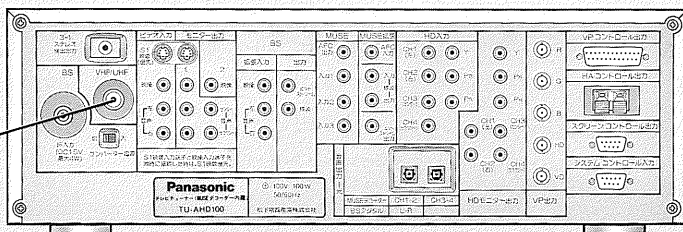
アンテナプラグの準備



お知らせ 平行フィーダー線は妨害を受けやすくなりますので、ご使用にならないでください。

VHF/UHFアンテナ端子
※ VHF/UHF混合入力です。

VHF/UHF

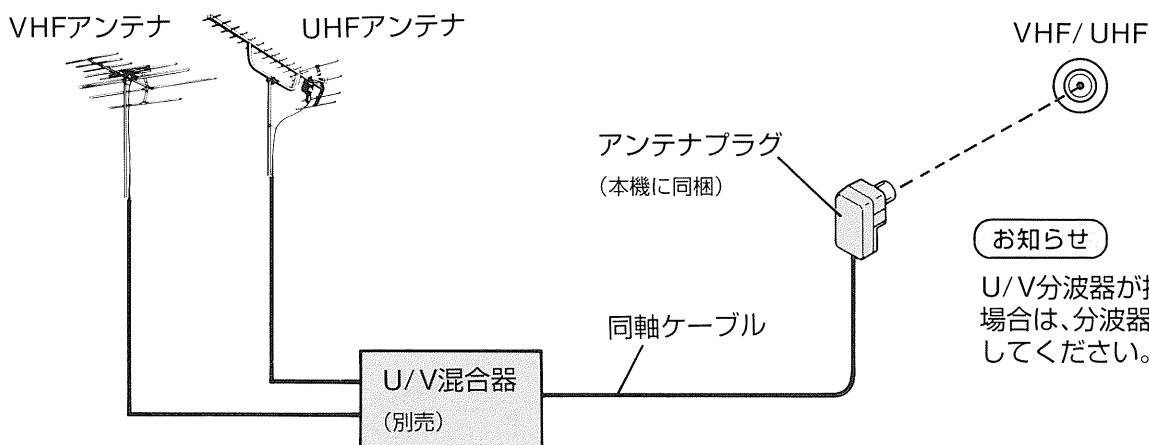


後面

アンテナプラグ
(同梱)

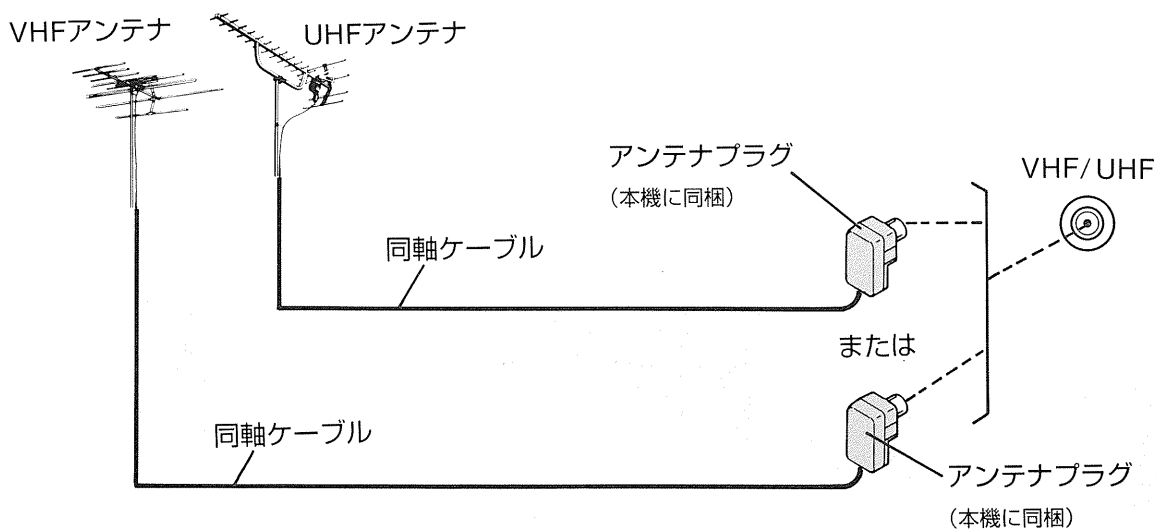
本機へアンテナ線をつなぐ

■ VHF/UHFアンテナ混合の場合



受信の準備

■ VHFまたはUHF どちらかのアンテナの場合



※ 電波が強すぎて映像が不安定になったり、FMラジオ放送の影響で映像・音声に妨害が入る場合は、お求めの販売店にご相談ください。

BSアンテナの接続

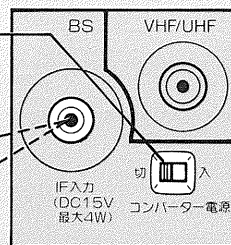
アンテナの配線に応じ、下図の要領でIF入力端子に接続してください。

■家庭用・単独受信

BSアンテナ
(コンバーター付)

BSコンバーター電源スイッチ
BSアンテナのコンバーター電源
DC15Vの出力端子兼用です。

本体後面端子部



■家庭用・集合受信

BSアンテナ
コンセント

BS用アンテナプラグ
(別売)

BS室内用F型接栓(別売)

BS分波
混合器(別売)

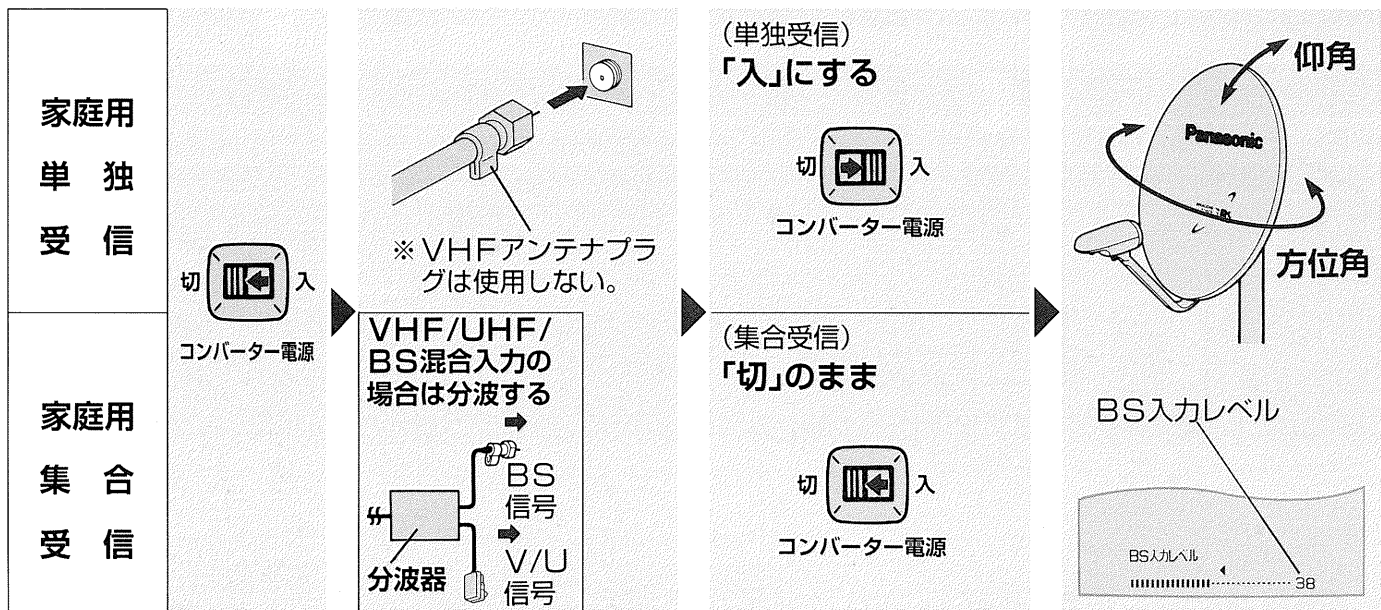
アンテナプラグ(同梱)
VHF/UHFアンテナ端子へ

1 「BSコンバーター電源スイッチ」を切る

2 ケーブルを接続する

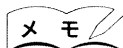
3 「BSコンバーター電源スイッチ」を入れる

4 BSアンテナを調整する



※BS単独で配線されている場合はBS分波混合器は必要ありません。

BS入力レベルを表示させると便利です。



BSコンバーター電源について

スイッチを「入」にしても、本機の電源「切」時、DC15Vの供給はしません。

BSブースターをご使用のときは

BSブースターにBSコンバーターの電源供給機能がある場合は、本機の「BSコンバーター電源スイッチ」は「切」にしておきます。

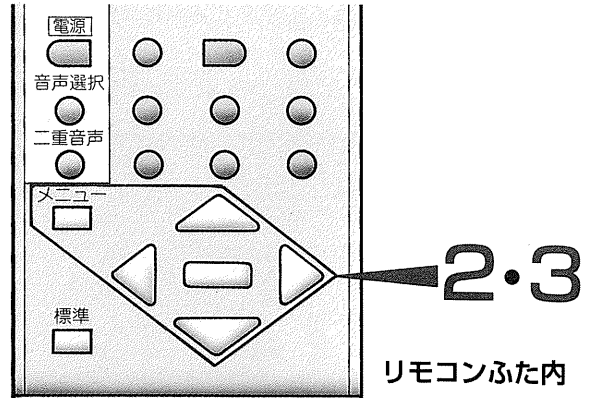
“コンバーター電源チェック”表示の出るときは

この表示が出たときや、本体前面パネルの“BS”表示が点滅するときは、BSアンテナ線のショートが考えられます。BSアンテナ線を外し販売店にご相談ください。

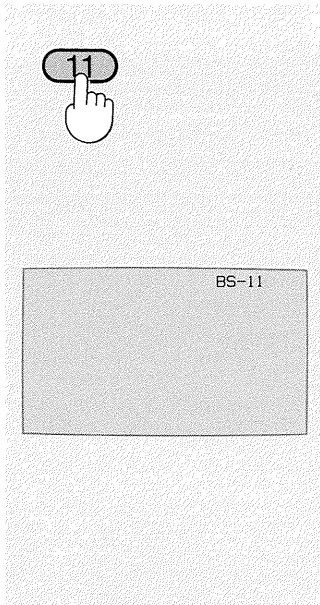
BS入力レベルについて

BS入力レベルは、現在受信中のBSチャンネルの受信状態を表示します。つぎのような場合にご利用ください。

- BSアンテナ設置時の方向調整
- 受信中に映りが悪くなったときの確認

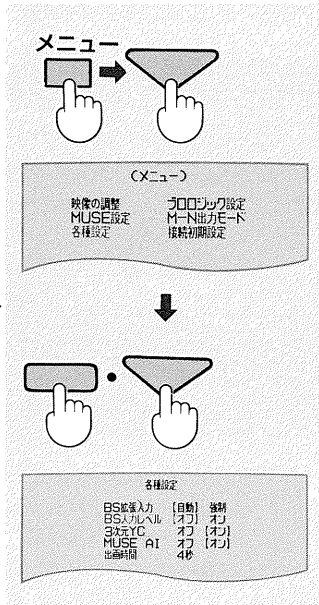


1 チャンネルを選ぶ

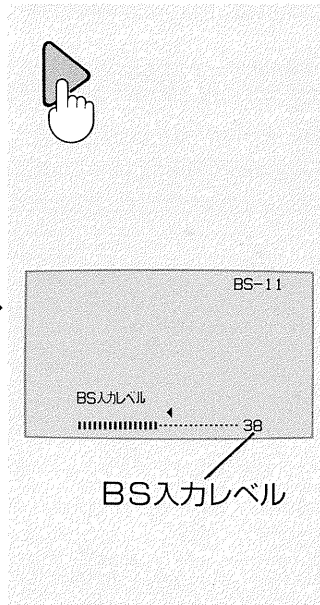


放送のあるBSチャンネルを選びます。
(※ハイビジョン放送は除く)

2 『BS入力レベル』を選ぶ



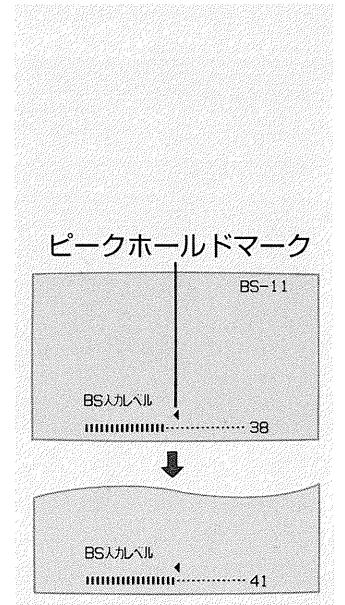
3 受信状態を確認する



入力レベルをバーと数字0～63で表示します。

メニューボタンを2回押すと画面表示が消えます。

■ アンテナを調整するとき



例 最大値が41のとき

バー表示が最大になるようにアンテナの向きを動かします。

■ BS入力レベルについて

本体前面操作部のBSレベルボタンを押しても表示します。



屋内用BS分配器のご使用について

BS受信システム2分配で、両分配先にBS機器をご使用の場合は、BSコンバーターにいずれの機器からでも電源供給できる、「両方向電流通過型」の2分配器をご使用ください。

アンテナの接続と調整について

- BS入力レベルは、雨が降っているときやアンテナの調整がズレると変化します。
- BSアンテナの調整は、アンテナの「取付説明書」を参照ください。

ピークホールドマーク(◀)について

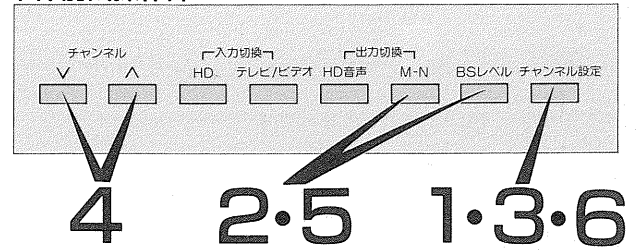
表示を出してから最大入力レベル値を示しています。あらかじめアンテナの向きを動かして最大値を記憶させ、アンテナ調整時の目安にすると便利です。

あなたの地区の放送を空ボタンに記憶させる (VHF/UHF/CATV)

あなたの地区の放送に合わせて、リモコンの空チャンネルボタンに自由に再設定することができます。
(ただし、CATVダイレクト「オフ」のとき)

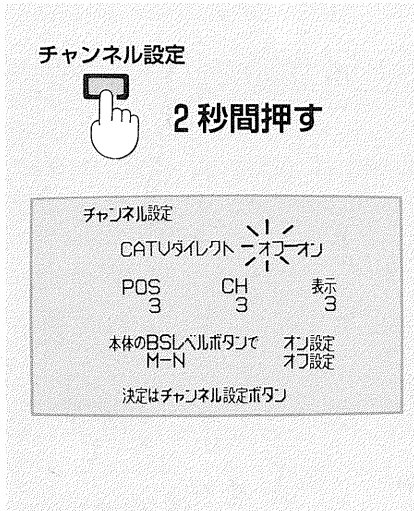
※チャンネル設定は本体の操作ボタンで設定します。

本体前面操作部

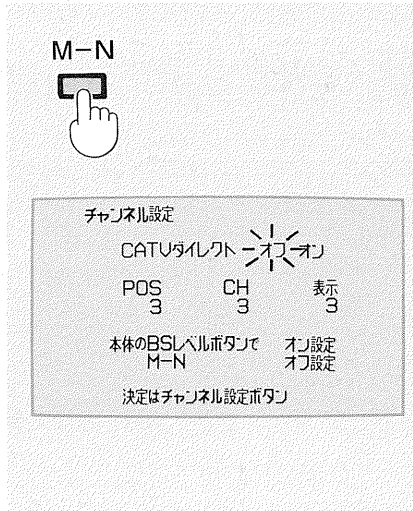


例: リモコンボタン **11** を押して **UHF19** チャンネルが映るようにするとき

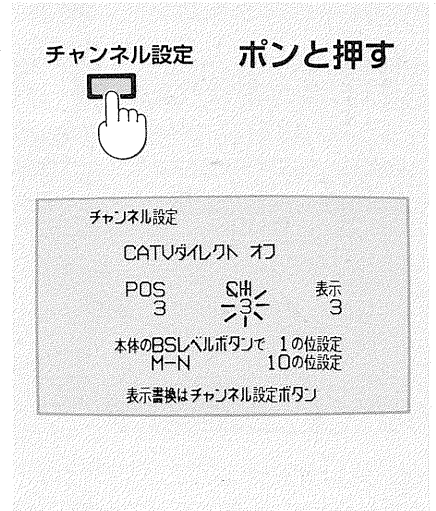
1 「チャンネル設定」の画面にする



2 CATVダイレクト「オフ」にする



3 「オフ」を確認し、決定する

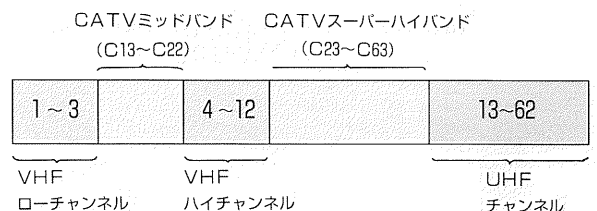


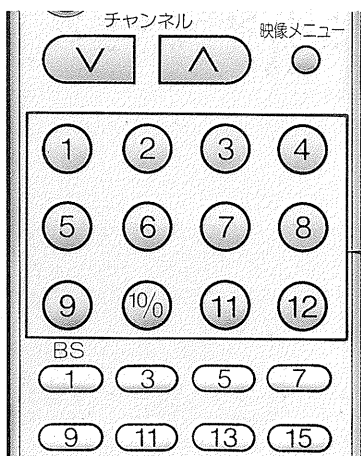
※ 次の操作がない場合は約30秒後、通常のテレビ画面になります。

※ CATVダイレクト「オン」のときはUHF放送は受信できません。
(CATV放送の受信設定44ページ参照)

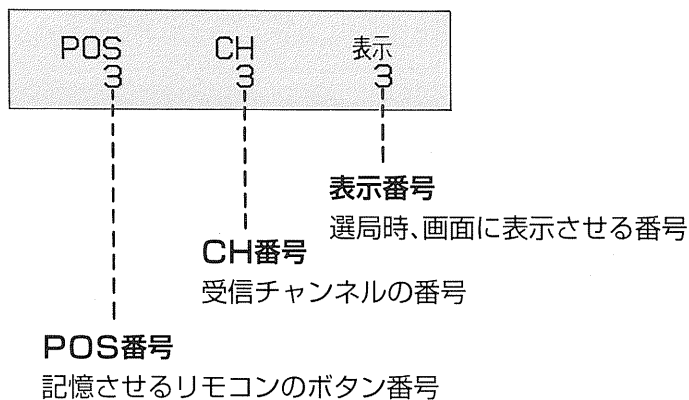
メモ チャンネルの受信範囲について

工場出荷時にはあらかじめ、VHF放送の1~12チャンネルが設定してありますが、手順1~6で再設定することにより、右図のUHFおよびCATVのチャンネルが受信できます。
(※CATV放送の詳しい説明は44・45ページ参照)





設定画面の番号表示について



4 設定するボタンを選ぶ

チャンネル
V ▲

11チャンネルが映ります

チャンネル設定

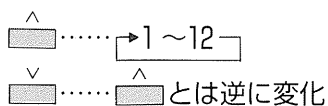
CATVダイレクト オフ

POS 11 表示 11

本体のBSレベルボタンで 1の位設定
M-N 10の位設定

表示書換はチャンネル設定ボタン

POS番号の11を選ぶ



※ リモコンボタン①~⑫で直接選ぶこともできます。

5 受信チャンネルを設定する

M-N BSLレベル UHF19チャンネルが映ると設定終了

チャンネル設定

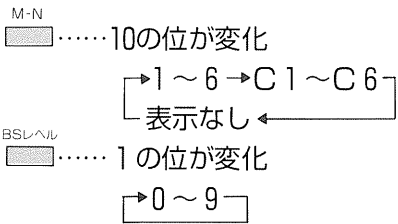
CATVダイレクト オフ

POS 11 CH 19 表示 19

本体のBSレベルボタンで 1の位設定
M-N 10の位設定

表示書換はチャンネル設定ボタン

番号を19に書換える



これで、1局分のチャンネルが設定できました。

※ さらに、いくつかのチャンネルを設定したいときは4・5の操作をくり返してください。

6 設定が終わったら2度押して完了

チャンネル設定

2度押す

19

画面表示が消えて通常のテレビ画面になります。

- チャンネル表示を書換える (46ページ参照)
- 受信チャンネルの微調整 (48ページ参照)

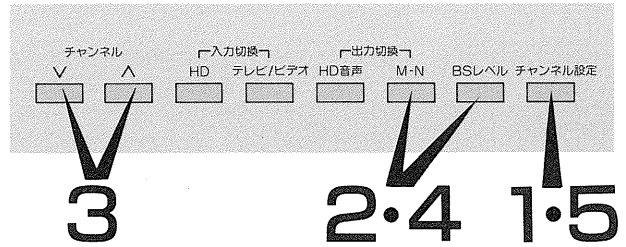
お知らせ

BS選局ボタンには設定できません。

CATV放送の受信設定

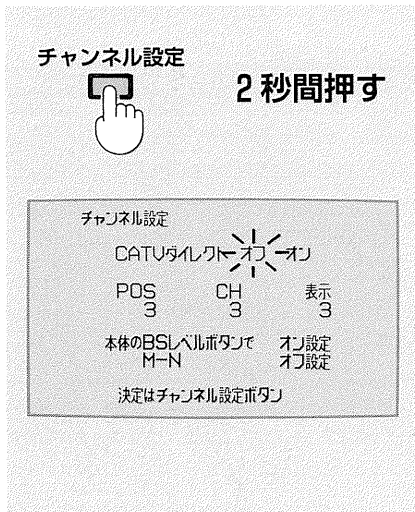
- CATVは地域独自のテレビ番組を有線で放送するTVシステムです。
- 受信するにはCATV会社の加入手続きが必要です。
- ※ CATVの受信設定は本体の操作ボタンで設定します。

本体前面操作部

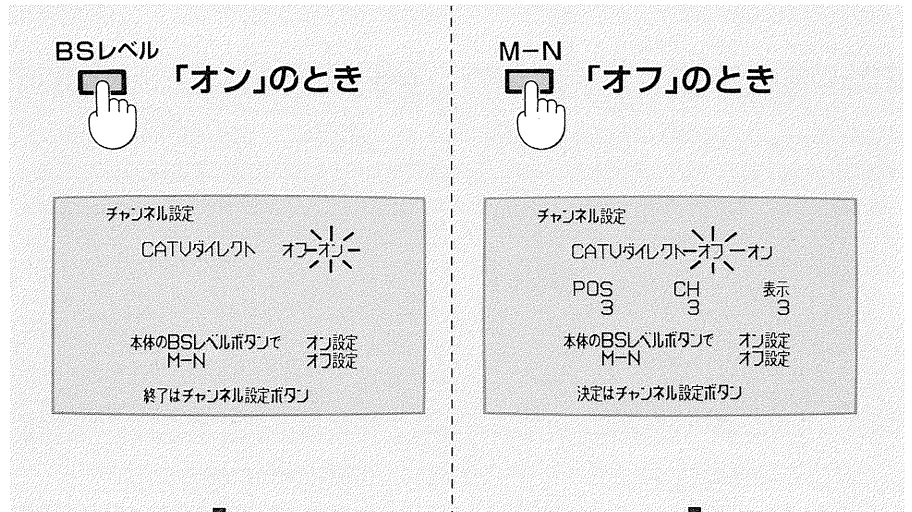


CATVの受信設定をする

1 「チャンネル設定」の画面にする



2 CATVダイレクト「オン」・「オフ」を設定する



※ 次の操作がない場合は約30秒後、通常のテレビ画面になります。

CATVチャンネルがダイレクト選局できます。
(UHF放送は受信できません。)

CATVチャンネルがリモコンの空チャンネルに記憶できます。

チャンネル設定ボタンを押して、設定終了

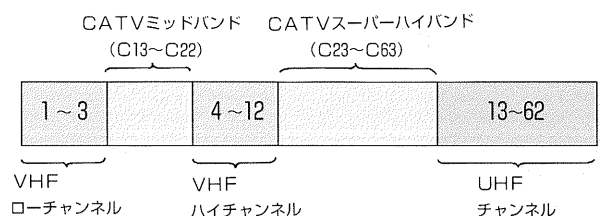
チャンネル設定ボタンを押して、手順3へ

選局のしかたは14ページをご覧ください。

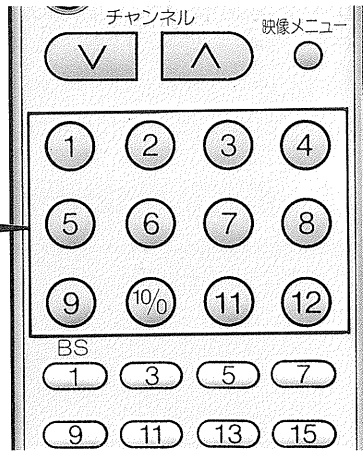
メモ CATV受信設定と受信範囲について

■「オフ」設定の受信範囲

工場出荷時は「オフ」に設定しており、VHF 1～12チャンネルが受信できます。また、チャンネルを再設定すれば、右図のUHFおよびCATVのチャンネルが受信できます。

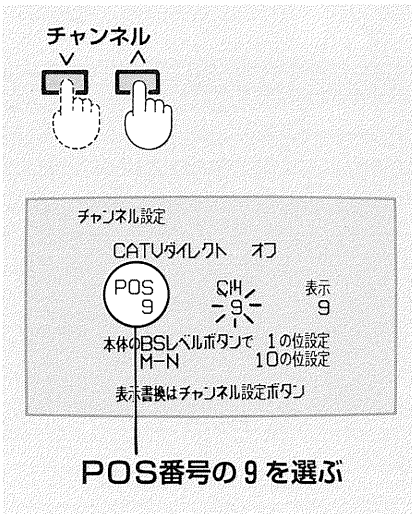


空チャンネルに記憶させます。

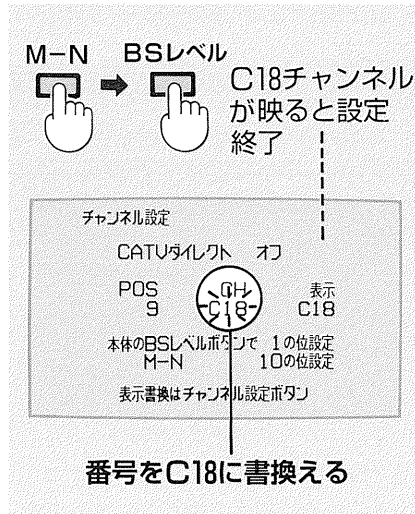


さらに、リモコンボタン⑨を押して**CATV18**チャンネルが映るようにするとき

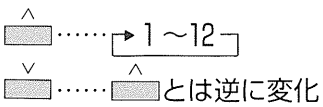
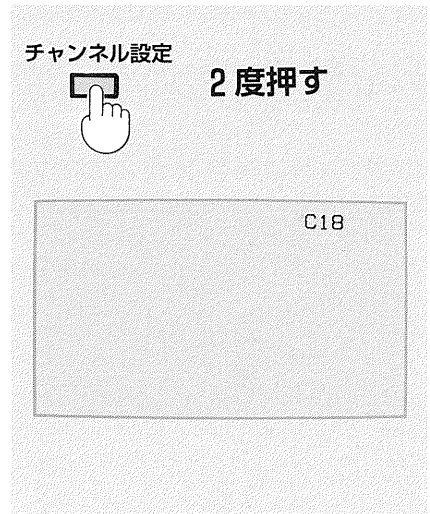
3 設定するボタンを選ぶ



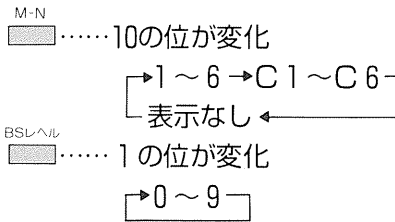
4 受信チャンネルを設定する



5 設定が終わったら、2度押して完了



※リモコンボタン①～⑫で直接選ぶこともできます。



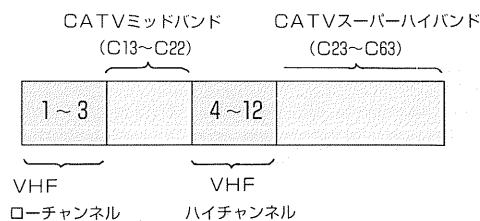
画面表示が消えて通常のテレビ画面になります。

選局のしかたは14ページをご覧ください。

これで、1局分のチャンネルが終了しました。

※さらに、他のチャンネルも設定するときには、3・4の操作をくり返します。

■「オン」設定の受信範囲
右図のVHFおよびCATVのチャンネルが受信できます。



お知らせ CATV「オン」設定のとき

- UHF放送は受信できません。
- チャンネルの「表示書換」「微調整」はできません。

チャンネル表示を書換える

表示書換は、つぎのような場合にご利用ください。(ただし、CATVダイレクト「オフ」のとき)

- マンションなどの共同受信で放送と表示が一致しないとき。
- 順送り選局で、放送のないチャンネル(ノイズ画面)を出ないようにしたいとき。


(「0」に表示させると、本体とリモコンの順送り選局 V・^ ボタン)
の操作でそのチャンネルをスキップ(とび越し)して選局します。)

※表示書換は、本体の操作ボタンで設定します。

例: リモコンボタン **7** を押して **36** チャンネルと表示させたいとき

1 「表示書換」画面にする

チャンネル設定



2 秒間押す

チャンネル設定

CATVダイレクト **オフ**

↓

CATV設定「オフ」を確認し、再度、ボタンを2回押す。

チャンネル設定

CATVダイレクト オフ

POS 3 CH 3 表示 3

↓

チャンネル設定

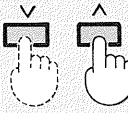
CATVダイレクト オフ

POS 3 CH 3 表示 3

本体のBSレベルボタンで 1の位設定
M-N 10の位設定
0に設定するとスキップします
終了はチャンネル設定ボタン

2 書換えるチャンネルを選ぶ

チャンネル



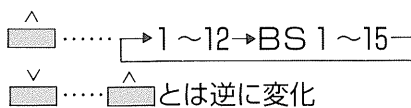
チャンネル設定

CATVダイレクト オフ

POS 7 CH 7 表示 7

本体のBSレベルボタンで 1の位設定
M-N 10の位設定
0に設定するとスキップします
終了はチャンネル設定ボタン


POS番号の7を選ぶ



※ リモコンボタン ① ~ ⑩、① ~ ⑮ で直接選ぶこともできます。

3 本体の音量ボタンで表示を書換える

M-N (10)の位



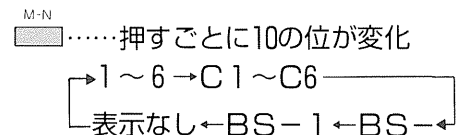
チャンネル設定

CATVダイレクト オフ

POS 7 CH 7 表示 7

本体のBSレベルボタンで 1の位設定
M-N 10の位設定
0に設定するとスキップします
終了はチャンネル設定ボタン

10の位を3に書換える



これで、チャンネル表示書換ができました。

メモ 放送のないチャンネルをスキップするときは

手順3のとき

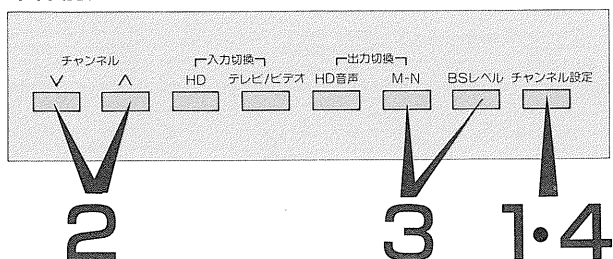
チャンネル設定

CATVダイレクト オフ

POS 3 CH 3 表示 0

表示を「0」に書換える

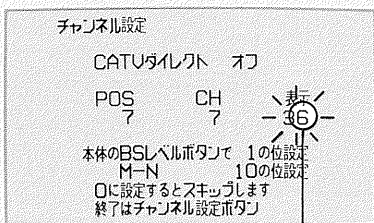
本体前面操作部



4 表示書換が終わったら
押して完了

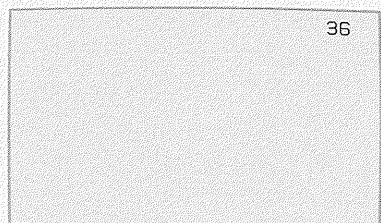
5 リモコンのチャンネル
表示を変更する

BSレベル (1)の位

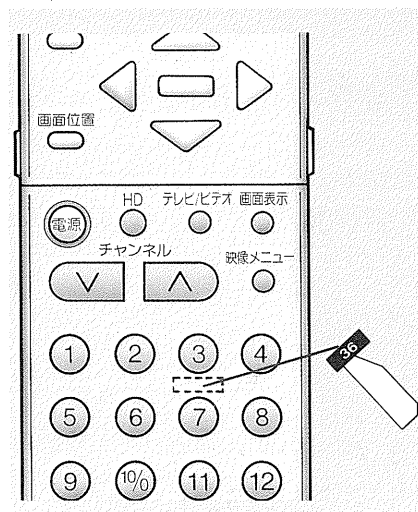


1の位を6に書換える

チャンネル設定



画面表示が消えて通常のテレビ画面になります。



画面に出た番号と同じ番号をフィルムシートから抜いて貼付ける。

BSレベル
[] ……押すごとに1の位が変化
[] → 0 ~ 9 → 表示なし

さらに、いくつかのチャンネル表示を書換えるときは、2と3の操作をくり返してください。

お知らせ BSチャンネルのときは

M-N または BSLレベル [] ボタンを押すと「0」表示に変わります。もう一度押すともとの表示に戻ります。



同梱のフィルムシート

受信の準備

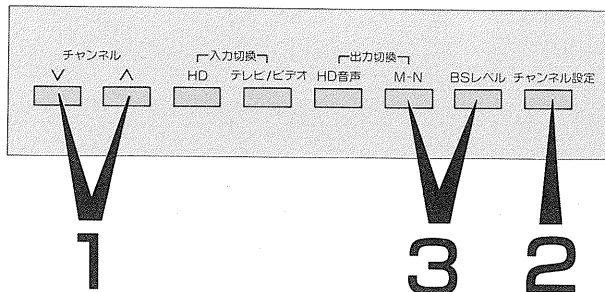
受信チャンネルの微調整

微調整は、つぎのような場合にご利用ください。
(ただし、CATVダイレクト「オフ」設定のとき)

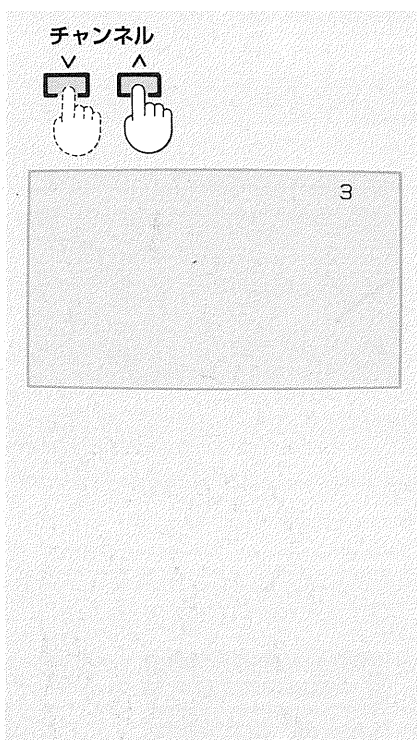
- 微調整を少しずらしたほうが見やすいとき。
- ただし、BSチャンネルは微調整できません。

※ 微調整は本体の操作ボタンで設定します。

本体前面操作部

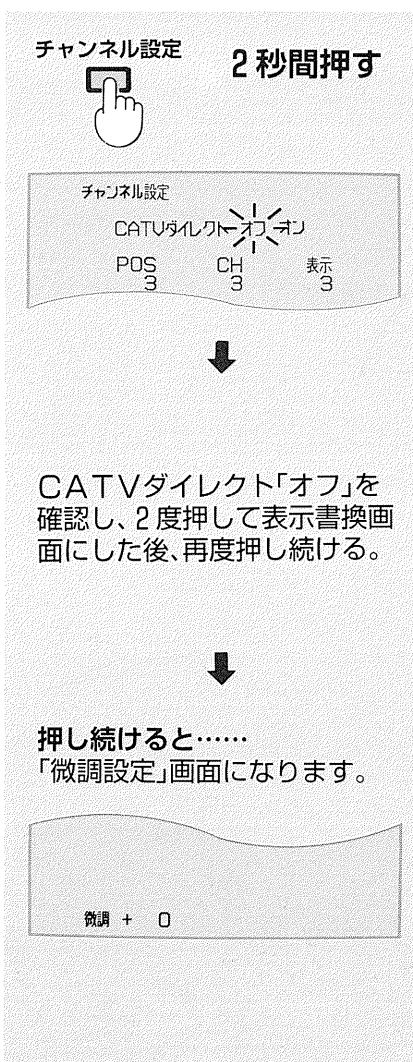


1 チャンネルを選ぶ



例 3チャンネルのとき

2 「微調」画面表示にする



3 微調整する



※ 次の操作がないときは、約10秒後通常のテレビ画面になります。

見やすい画面で手をはなすと自動的に記憶され通常の画面にもどります。

メモ 「微調」の変化範囲について

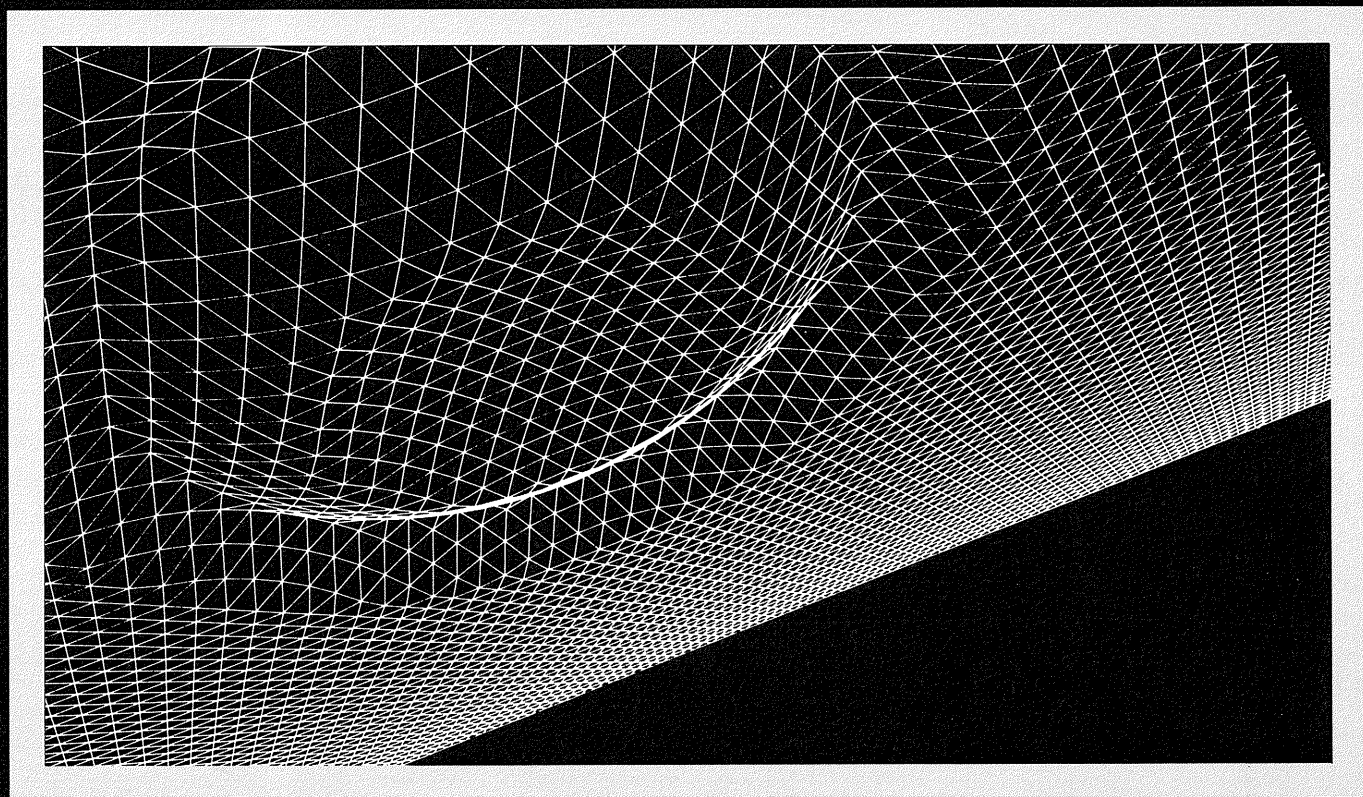
- 画面の変化に合わせて数字が-20～+20の範囲で変化します。
- 工場出荷設定は全局「0」に設定されています。

チャンネルの再設定をしたときは

42～45ページの方法で再設定するとそのチャンネルの微調整も「0」に戻ります。

システムアップ

- 他の機器との接続のときにお読みください。



システム接続例

- 本機とビデオプロジェクターを使用する場合の基本システムです。
- 当社指定のビデオプロジェクターやワイドアスペクトスクリーンに専用リモートケーブルを接続して、電源の「入」・「切」やスクリーンが自動的に操作できます。

ホームシアターとしての基本システム

準備

右図のシステムでお楽しみになる前に、本機の接続初期設定を行ってください。



例 当社指定の機器のとき



■ プロジェクター

- 当社指定機器のとき ……「指定」
- その他の機器のとき ……「その他」

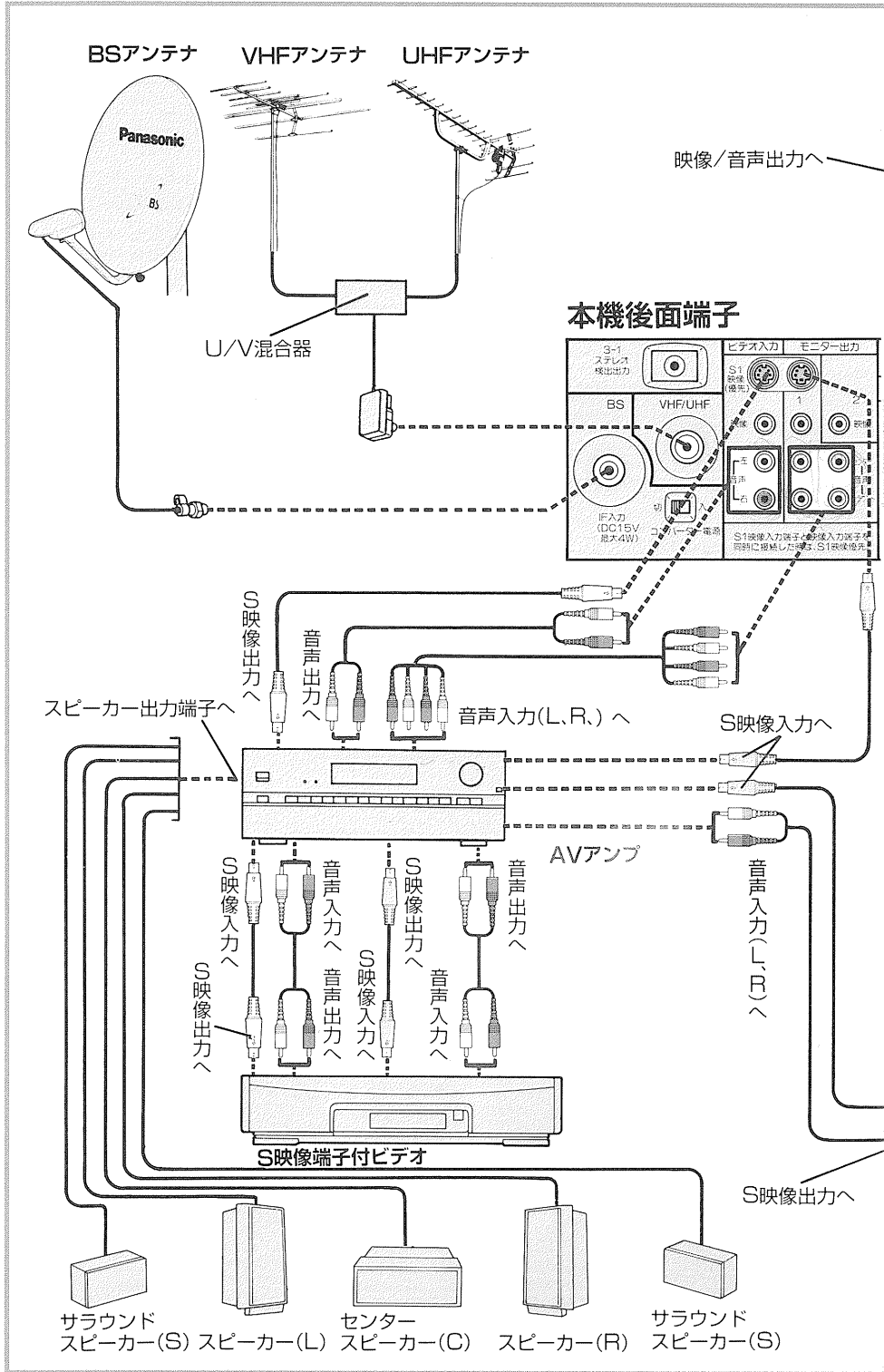
■ アンプ

- AVアンプのとき ……「AV」
- オーディオアンプのとき ……「オーディオ」

■ スピーカー

- メインスピーカーのみ(2ch)のとき ……「LR」
- メイン・サラウンドスピーカーのとき ……「LRS」
- メイン・センタースピーカーのとき ……「LRC」
- メイン・センター・サラウンドスピーカーのとき ……「LRCS」

※詳しくは各設定ページを参照ください。

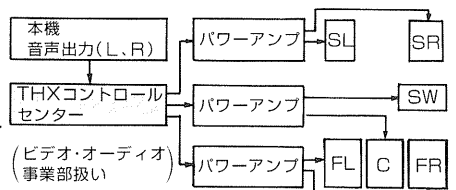


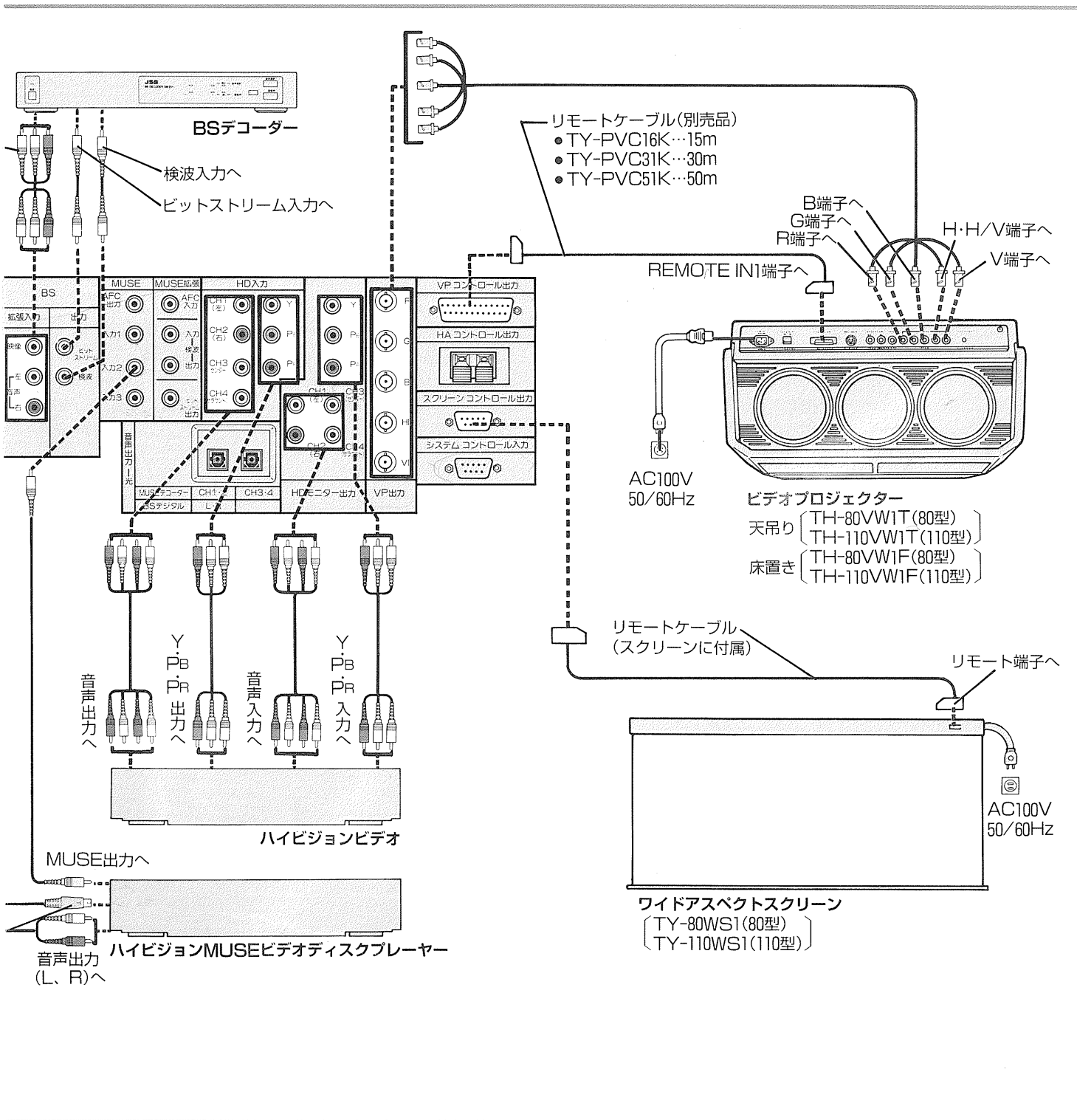
お知らせ

接続される機器の「説明書」も参照ください。

■ THXサラウンドシステムについて

ホームシアター用として開発されたTHXサラウンドシステムを使用すれば、より映画館に近い迫力ある音声でお楽しみになれます。

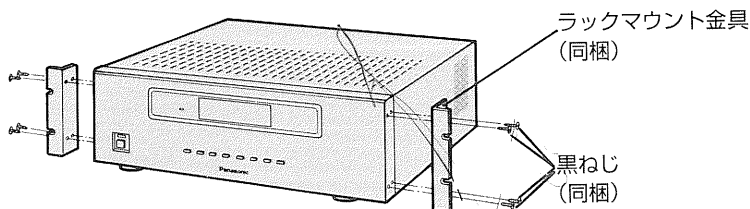




システムアップ

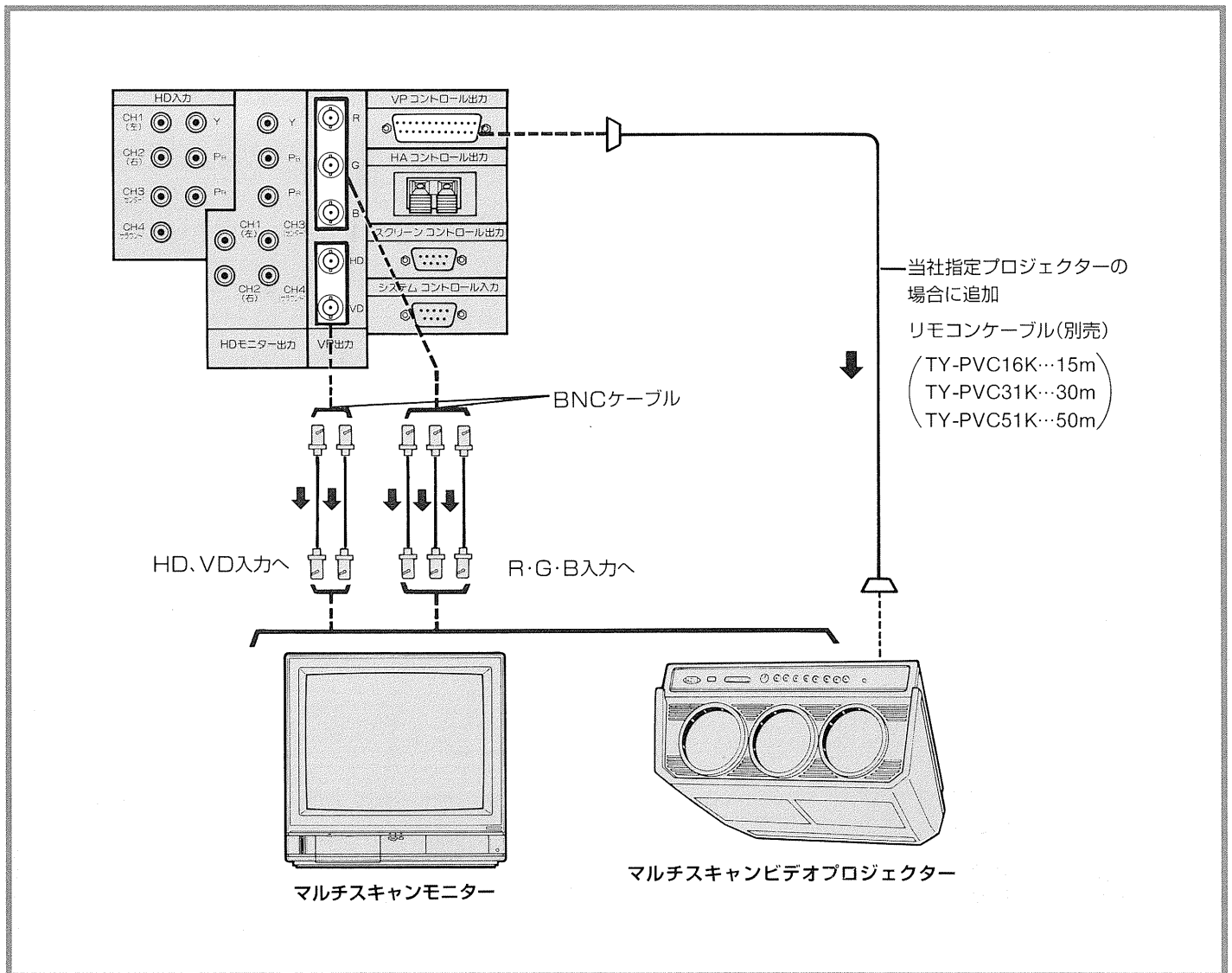
■ラックへ取付け収納のとき

ラック(EIA規格に準拠)に取付ける際は付属のラックマウント金具を本機の左右側面にそれぞれ4本のねじで取付けてご使用ください。



ハイビジョン機器をつなぐ

マルチスキャンビデオプロジェクター/マルチスキ

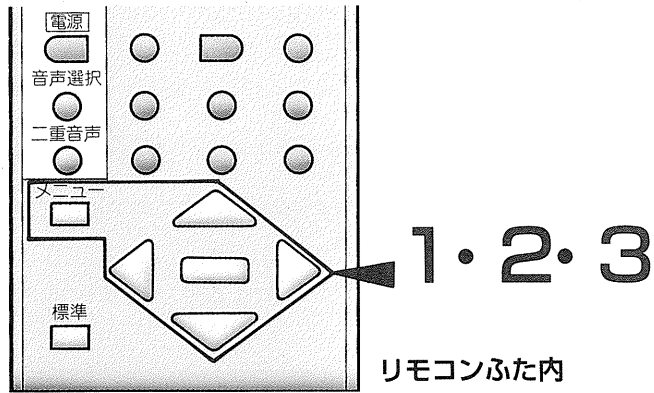


お知らせ

接続する機器の「説明書」も参照ください。

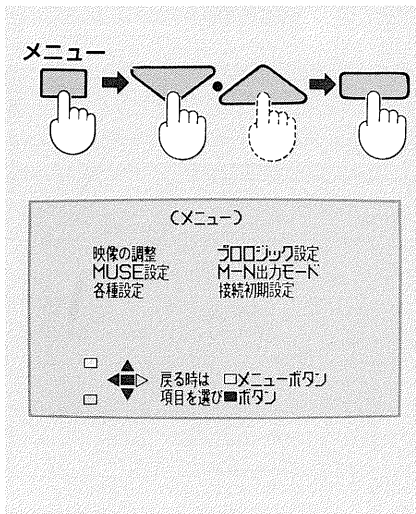
メモ プロジェクター電源について

- 当社指定プロジェクターを接続の場合はリモコンのVP電源ボタンで電源「入」・「切」の操作ができます。
- プロジェクターの映像を見ないで、音声のみ聞きたい場合などに便利です。

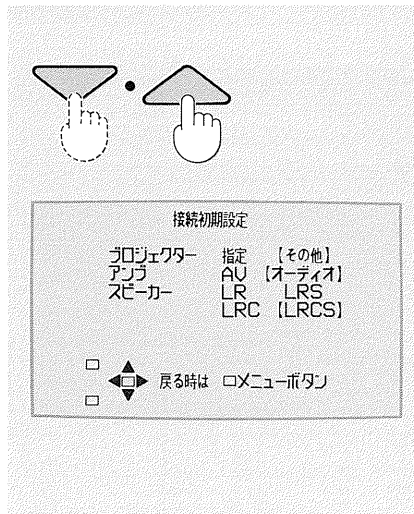


キャンモニターの接続と設定

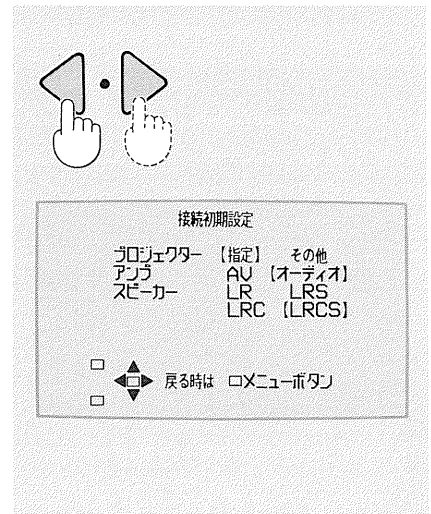
1 「接続初期設定」を選び、決定する



2 「プロジェクター」を選ぶ



3 「指定」・「その他」を選択する



例 「指定」に設定

■「指定」・「その他」の設定について

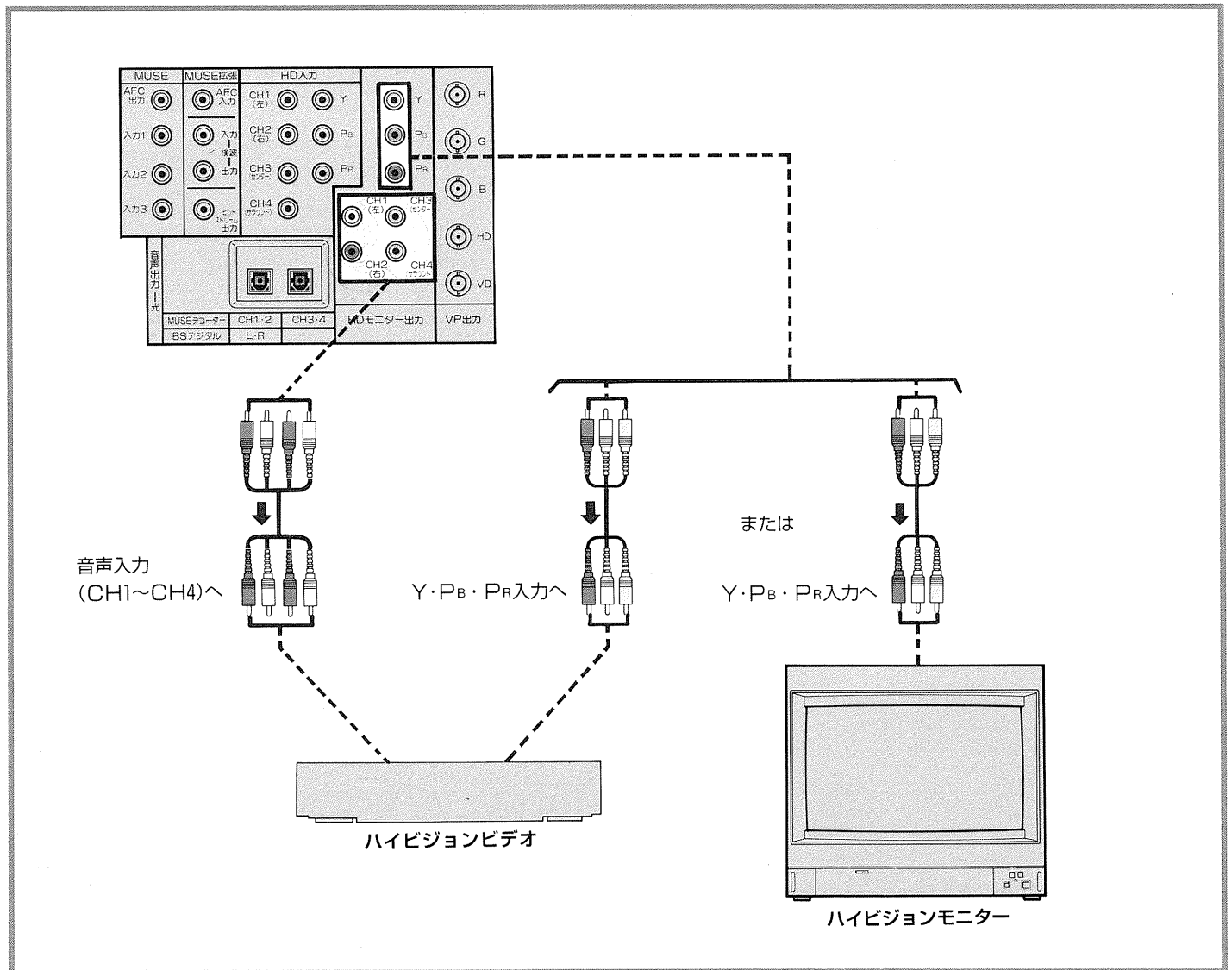
- 「指定」…… 当社の指定ビデオプロジェクターを専用リモートケーブルで接続の場合。
 (対応機種： TH-80VW1T TH-110VW1T)
 : TH-80VW1F TH-110VW1F)
- 「その他」… 上記の対応機種以外のビデオプロジェクターやマルチスキャンモニターを接続の場合。

ハイビジョン機器をつなぐ

HDモニター出力について

- 入力切換で選択中の信号をY、PB、PR信号に変換して出力します。
- HDモニターの音声出力からは、DSPサラウンドに関係のない通常の音声出力されます。

ハイビジョンモニター/ハイビジョンビデオ(録画)の接続

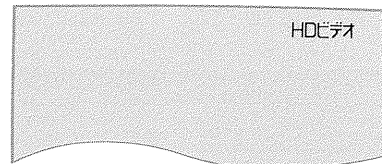


お知らせ

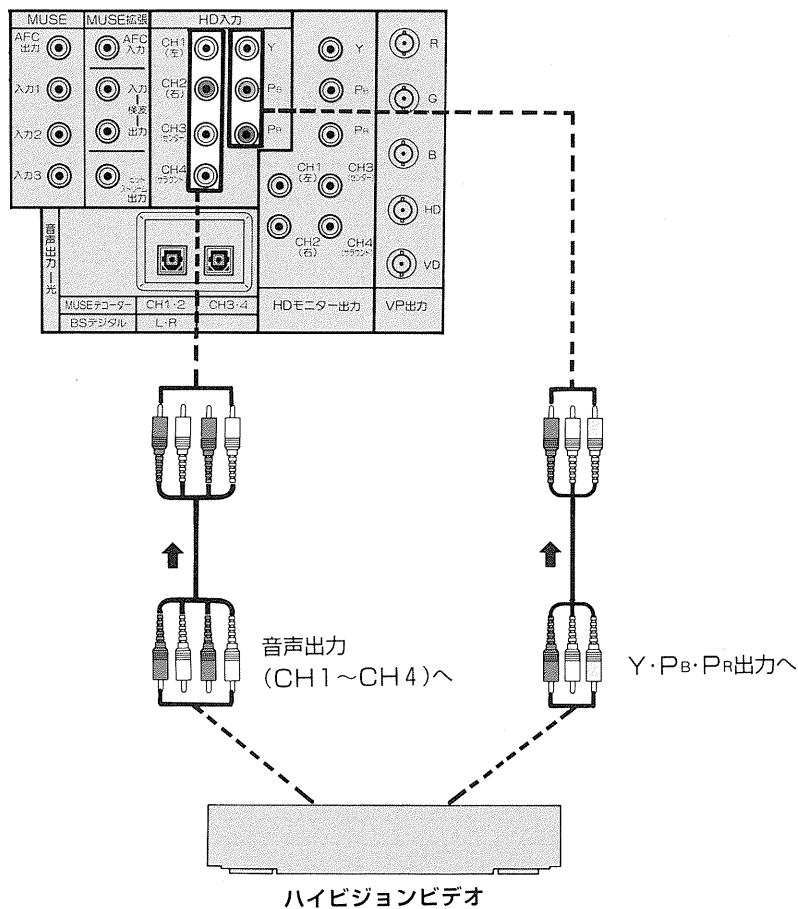
- 接続した機器の「説明書」も参照ください。
- ハイビジョンビデオやハイビジョンモニターの入力端子がBNC端子のときは、BNC-RCAピン変換プラグ(別売)をご使用ください。

HD入力について

- Y、PB、PR出力のハイビジョン機器を接続できます。
- この端子に接続した信号を入力するときは、リモコンまたは本体のHDボタンで「HDビデオ」を選択します。



ハイビジョンビデオ(再生)の接続



お知らせ

- ハイビジョンビデオの「説明書」も参照ください。
- HD入力の信号はNTSCモニター出力からは出力されません。
- ハイビジョンビデオの出力端子がBNC端子のときはBNC-RCAピン変換プラグ(別売)をご使用ください。

ハイビジョン機器をつなぐ

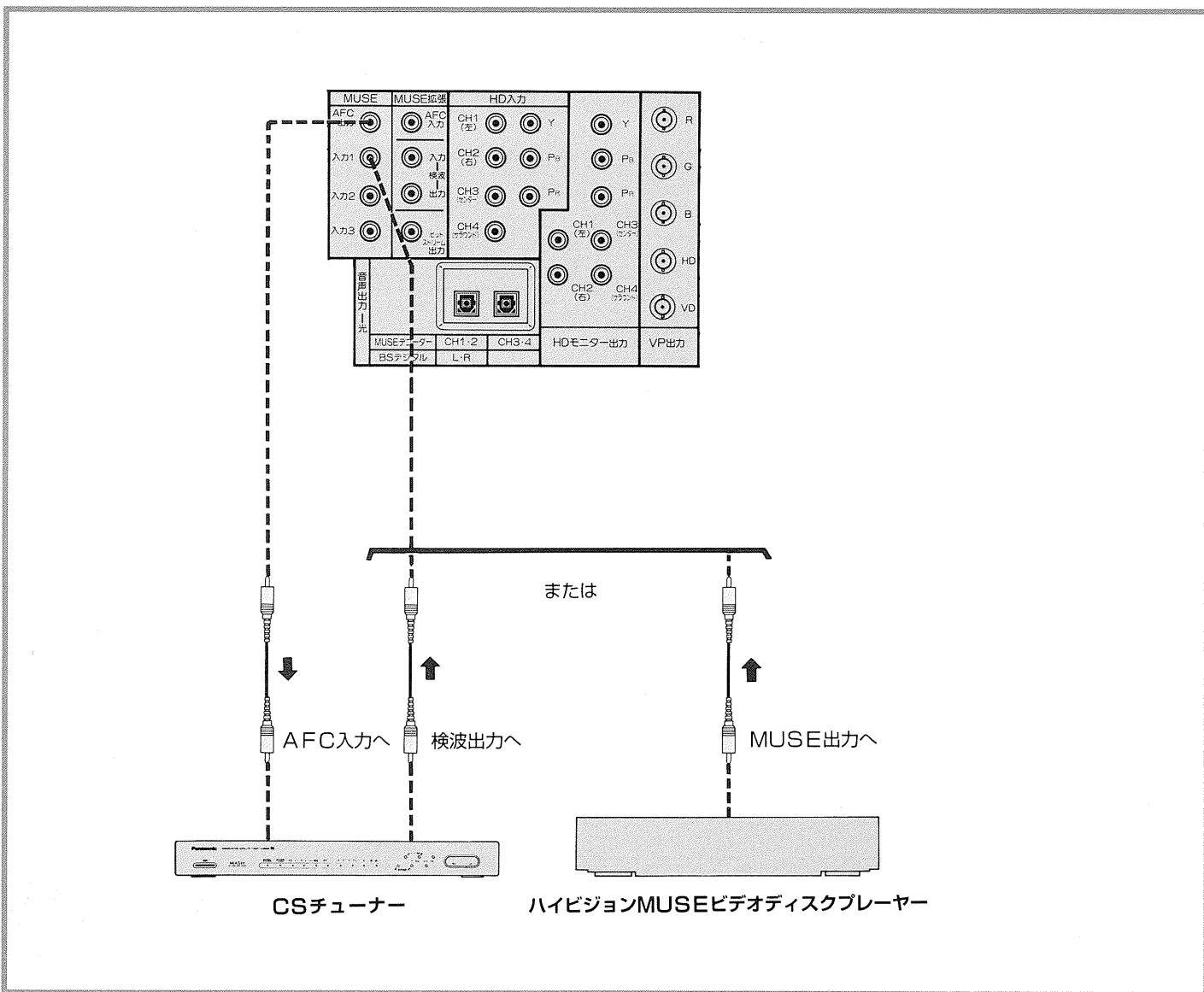
MUSE入力について

- MUSE方式のハイビジョン機器を接続できます。
また、将来CS放送でハイビジョン放送(MUSE)が始まったときには、CSチューナーを接続することもできます。
- MUSE入力1～3の端子に接続した機器の信号を入力するときは、リモコンまたは本体のHDボタンで選択します。



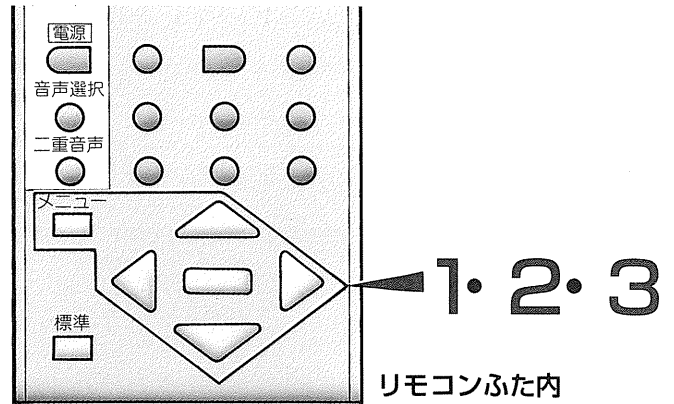
例 MUSE 1 を選択

ハイビジョンMUSEビデオディスクプレーヤー



お知らせ

- 接続した機器の「説明書」も参照ください。
- CSチューナーは必ずMUSE入力1に接続してください。
- ハイビジョンMUSEビデオディスクプレーヤーはMUSE入力1～3のいずれにも接続することができます。

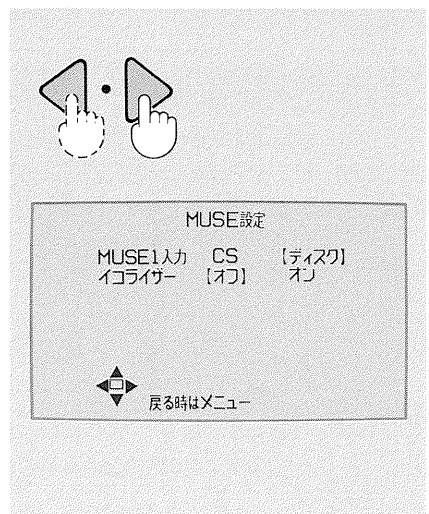
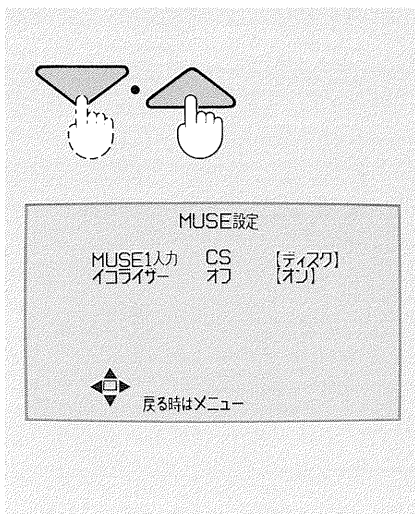
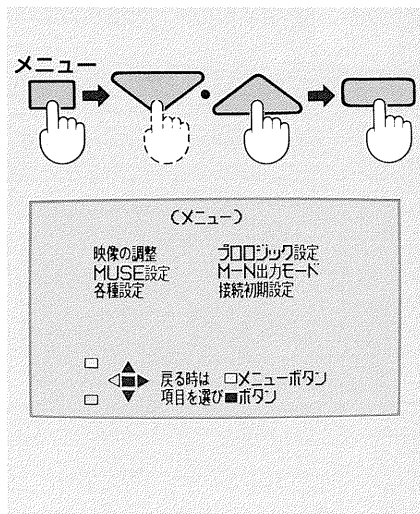


/CSチューナーの接続と設定

1 「MUSE設定」を選び、決定する

2 「MUSE 1入力」を選び接続機器を選ぶ

3 「イコライザー」を選び、「オン」「オフ」を決める



例 「ディスク」を選ぶ

MUSE 1 入力に接続した機器に合わせてます。

- 「ディスク」
ハイビジョンMUSEディスクプレーヤーを接続したとき
- 「CS」
CSチューナーを接続したとき

例 「オフ」に設定

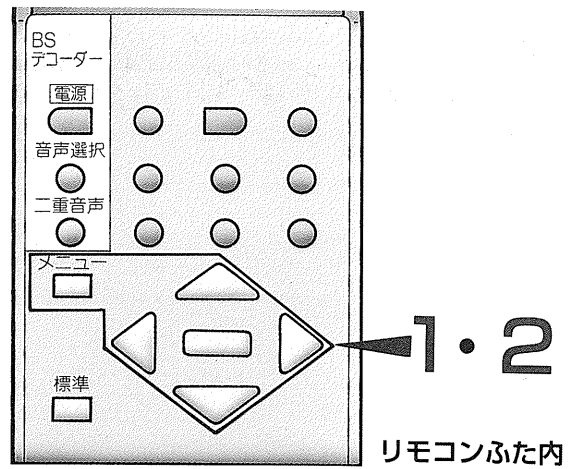
イコライザーの設定はMUSE入力1～3のいずれかにハイビジョンMUSEディスクプレーヤーを接続したときに設定します。

- 「オン」
ふだんご覧になるとき
- 「オフ」
ハイビジョンMUSEディスクの再生画像に不自然なギラつきがあるとき

お知らせ

イコライザーの設定はMUSE入力1～3のすべてに共通の設定となります。各入力ごとに設定することはできません。

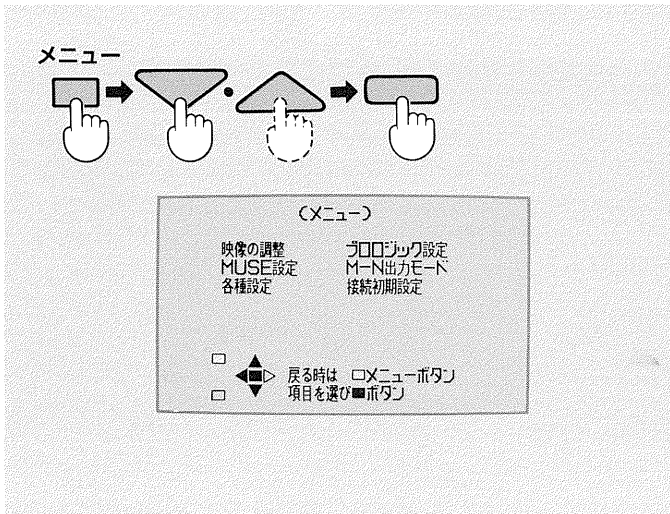
- 「M-N出力モード」の設定は、ハイビジョン放送を現行のビデオで録画するとき設定します。
- ハイビジョン受信中は、本体前面のM-Nボタンでも設定することができます。



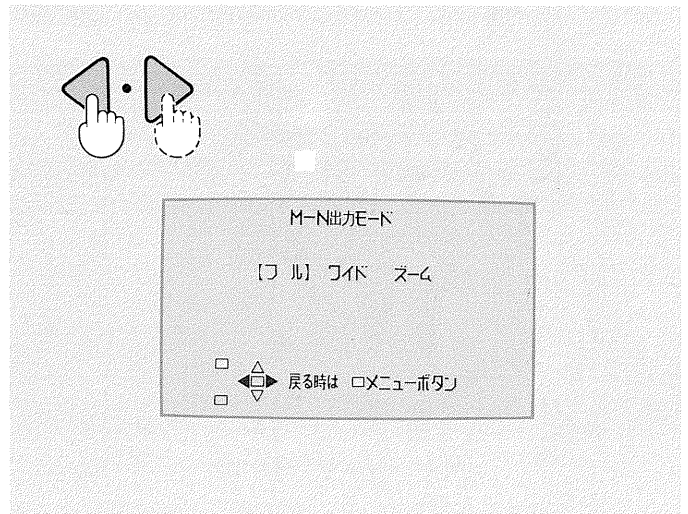
リモコンふた内

ハイビジョン放送を現行のビデオで録画するとき(M-N出力モード)

1 「M-N出力モード」を選び決定する



2 録画時の画面サイズを設定する



例 フルに設定

メニューボタンを2回押すと、画面表示が消えます。

■ビデオで録画される映像について

M-N出力モード	フル	ワイド	ズーム
ビデオで録画される映像			

お知らせ ハイビジョン放送をワイドテレビ対応ビデオで録画するとき

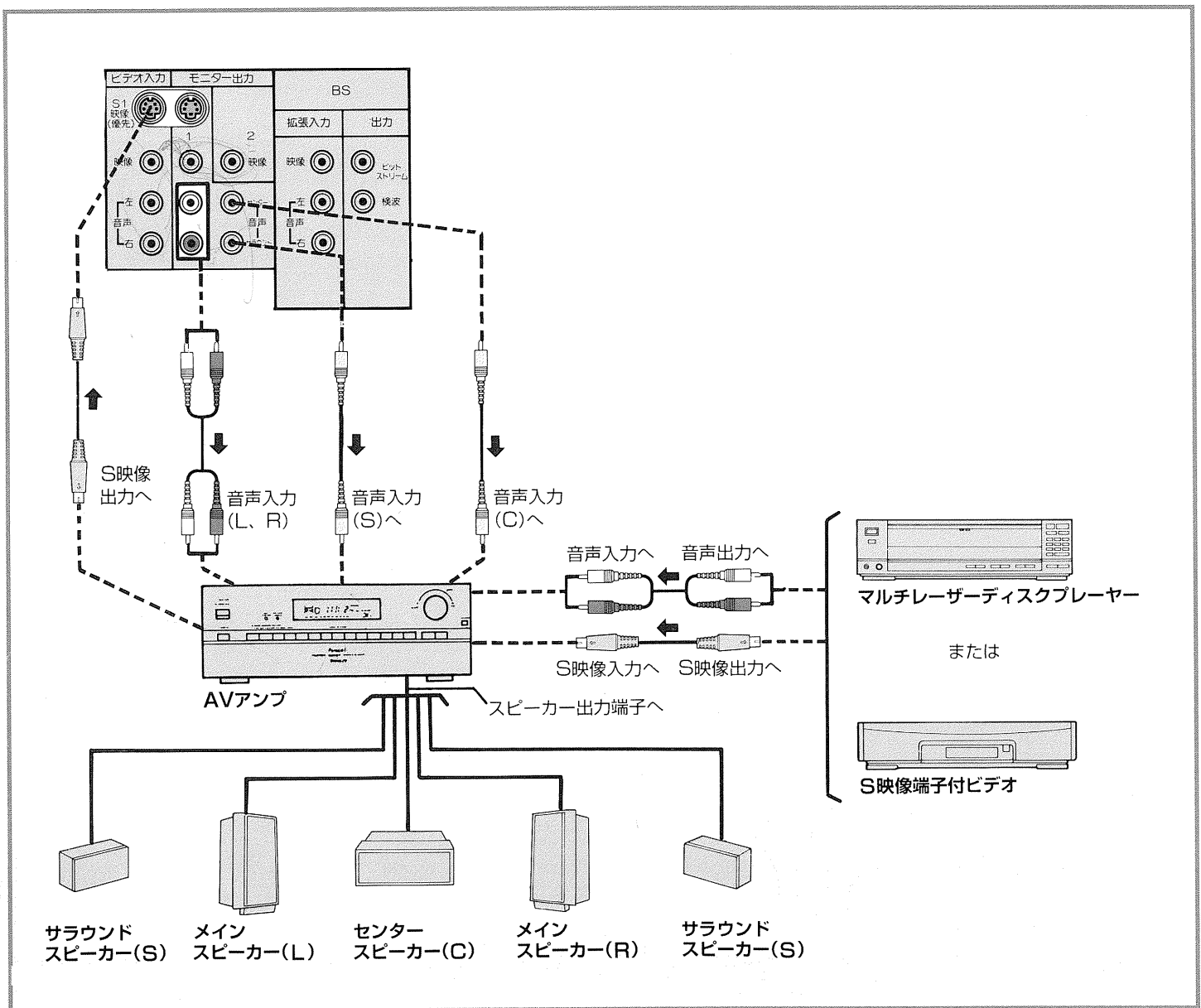
M-N出力モード「フル」で録画すると再生時、自動的にフル映像(16:9)になります。

「ズーム」について

ズームでは16:9の映像を上下方向一杯に拡大し映像の左右(見えない)部分はカットされています。(カットされている映像部分は、録画されません。)

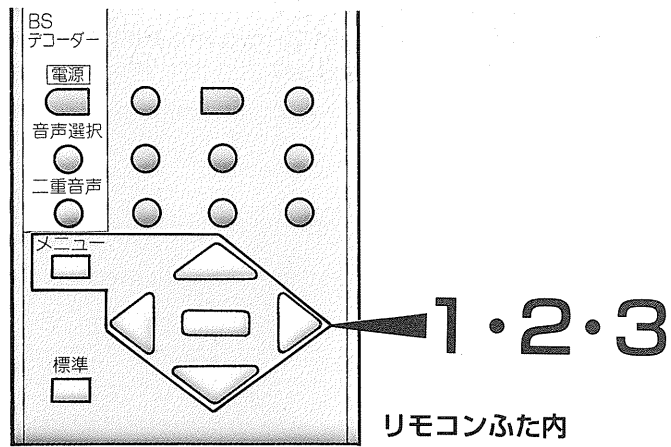
オーディオ機器をつなぐ

AVアンプの接続と設定

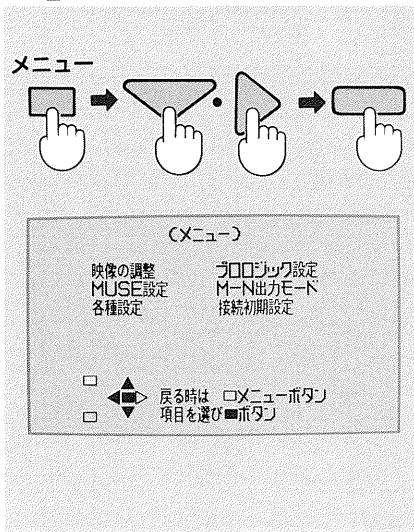


メモ ビデオでハイビジョン放送を録画するとき

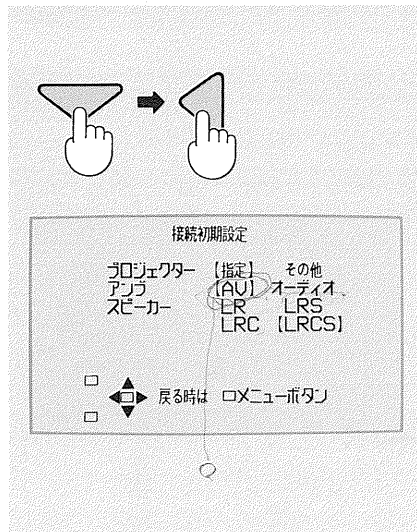
本機のモニター出力 (S1 映像) の信号も、AVアンプのS映像入力に接続し、AVアンプのS映像/音声出力をビデオのS映像/音声入力へ接続してください。
 ※ワイドテレビ対応ビデオをご使用の場合、S1映像対応でないAVアンプに接続すると、自動的にフルになりません。



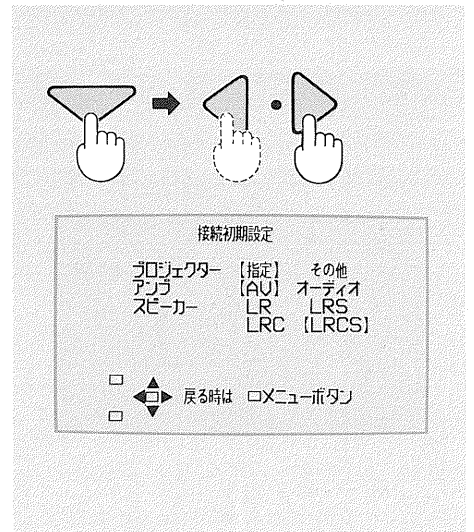
1 「接続初期設定」を選び、決定する



2 「アンプ」を選び、「AV」に設定する



3 「スピーカー」を選び、「LRCS」に設定する



■スピーカーの設定について

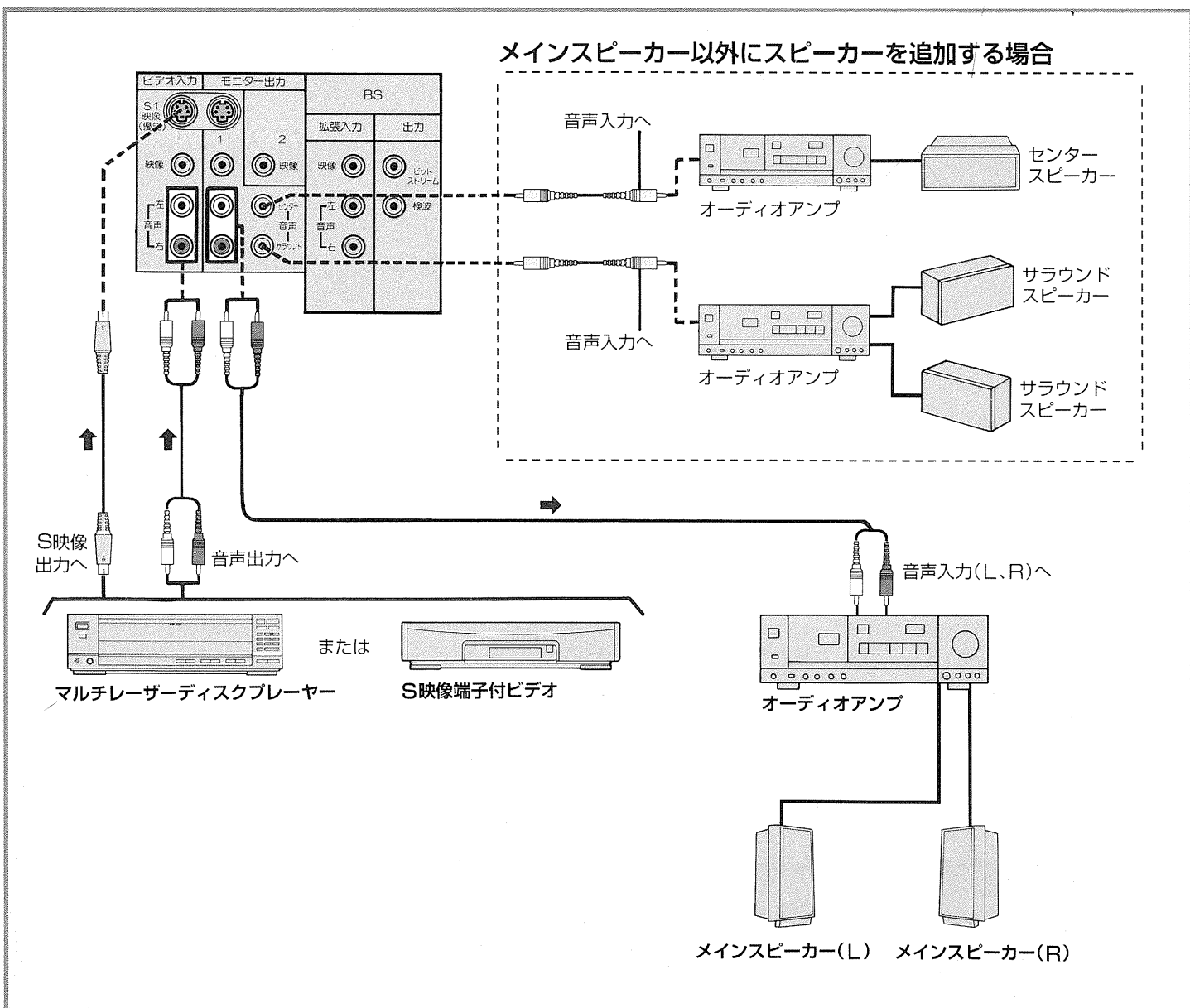
「スピーカー」の項目は、接続するスピーカーに合わせて、下表を参考に設定してください。

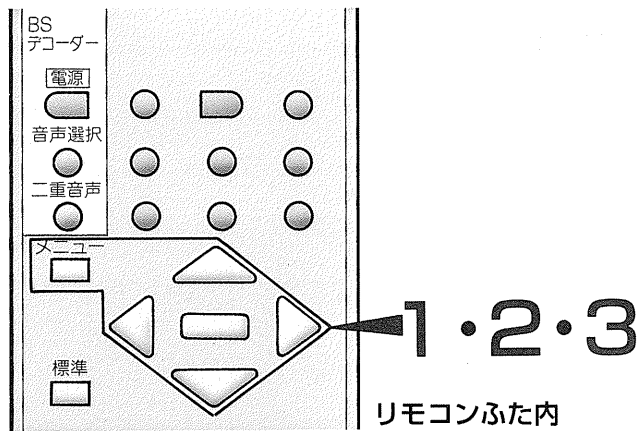
接続するスピーカー	メインスピーカーのみの2ch再生	サラウンドスピーカーを追加	センタースピーカーを追加	サラウンドスピーカー・センタースピーカーを追加
スピーカー設定	LR	LRS	LRC	LRCS

お知らせ アンプの設定を「AV」にすると

- ビデオ入力を選択時、モニター出力からは映像が出力されません。(DSPサラウンドも機能しません。)

オーディオアンプの接続と設定

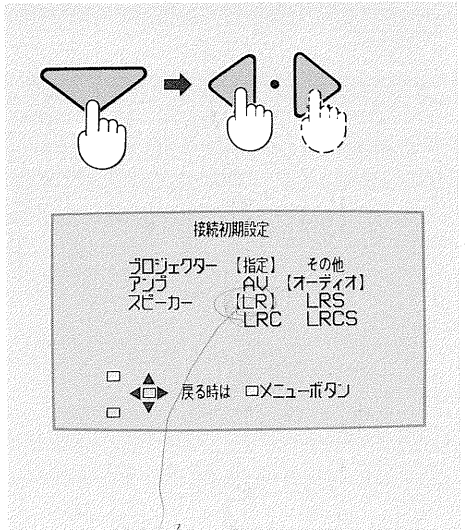
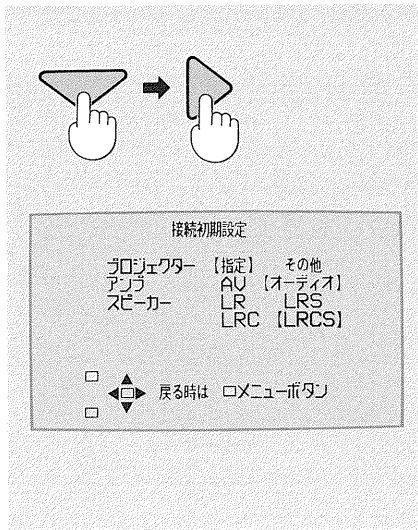
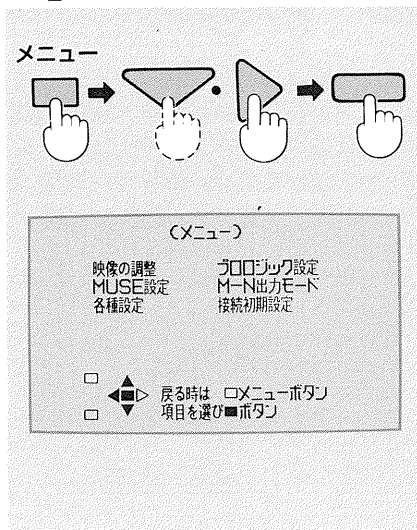




1 「接続初期設定」を選び、決定する

2 「アンプ」を選び、「オーディオ」に設定する

3 「スピーカー」を選び、「LR」に設定する



■スピーカーの設定について

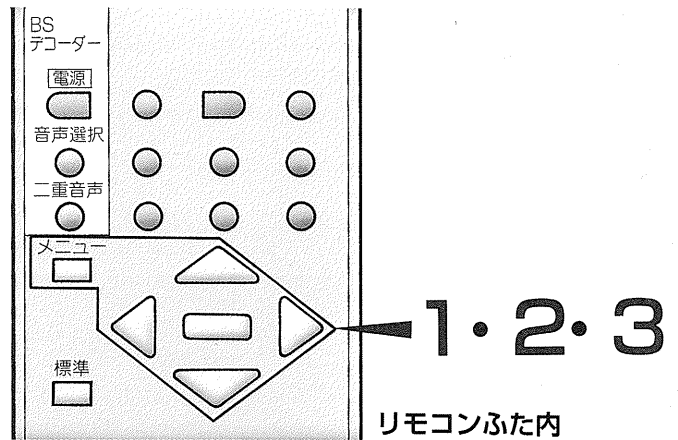
「スピーカー」の項目は、接続するスピーカーに合わせて、下表を参考に設定してください。

接続するスピーカー	メインスピーカーのみの2ch再生	サラウンドスピーカーを追加	センタースピーカーを追加	サラウンドスピーカー・センタースピーカーを追加
スピーカー設定	LR	LRS	LRC	LRCS

オーディオ機器をつなぐ

プロロジック設定について

メインスピーカー(L、R)+サラウンドスピーカー(S)またはメインスピーカー(L、R)+サラウンドスピーカー(S)+センタースピーカー(C)のスピーカーシステムでお楽しみになる場合に設定します。



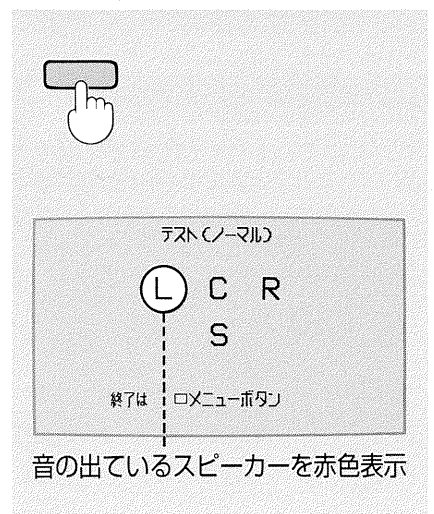
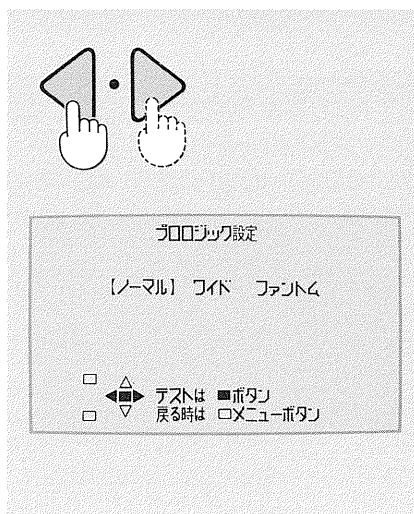
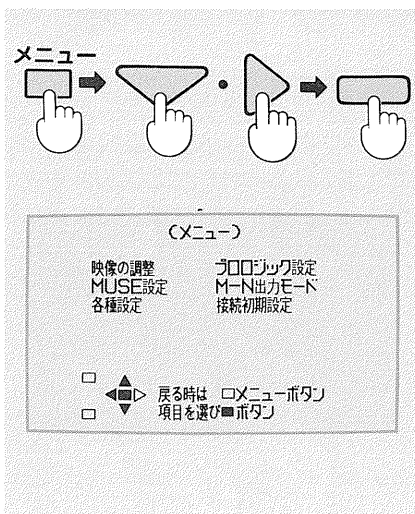
リモコンふた内

プロロジック設定

1 「プロロジック設定」を選び、決定する

2 プロロジックのモードを選ぶ

3 「テスト」モードでスピーカーの音量を調整する



音の出ているスピーカーを赤色表示

例 ノーマルに設定

■プロロジックモードについて

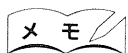
接続するスピーカーの設定によって、選べるモードが変わります。

スピーカー設定	選べるプロロジックモード	
LRCS	ノーマル	センターに小型スピーカーを使用したときに設定
	ワイド	センターにメイン(L、R)と同等のスピーカーを使用したときに設定
LRS	ファントム	センタースピーカーがない場合に設定(センターの音はメイン(L、R)に振り分けて出力)

各スピーカーへ順番に、テスト信号を出力します。

スピーカーの音量調整

- ① アンプの音量を通常映画などを楽しむ大きさにする。
- ② リスニングポイント(通常映画などを楽しむ位置)で各スピーカーの音量が同じになるようにアンプ側で調整する。
- ③ 調整が完了したら、メニューボタンを押して終了。



ドルビーラボラトリーズライセンスコーポレーションからの実施権に基づき製造されています。ドルビー、DOLBY及びダブルD記号 DD はドルビーラボラトリーズライセンスコーポレーションの商標です。

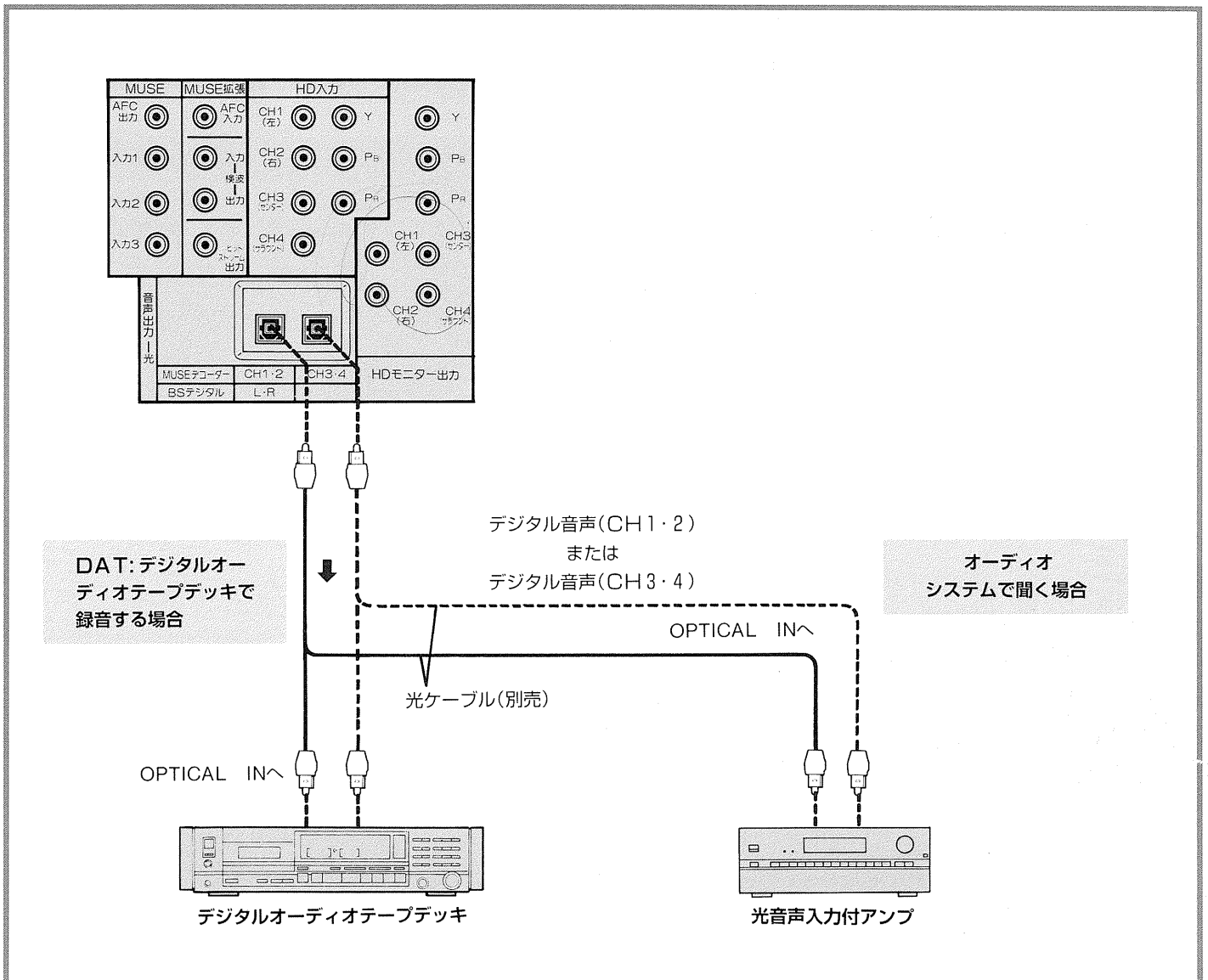
お知らせ

接続初期設定でスピーカーの設定を変更したときは、プロロジック設定も設定しなおしてください。

音声出力(光)について

BS・ハイビジョン放送、MUSE入力1～3の音声をPCM信号で出力します。
(サンプリング周波数 Aモード時：32kHz、Bモード時：48kHz)

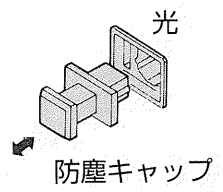
デジタルオーディオ機器の接続



システムアンプ

メモ デジタルオーディオ機器の接続について

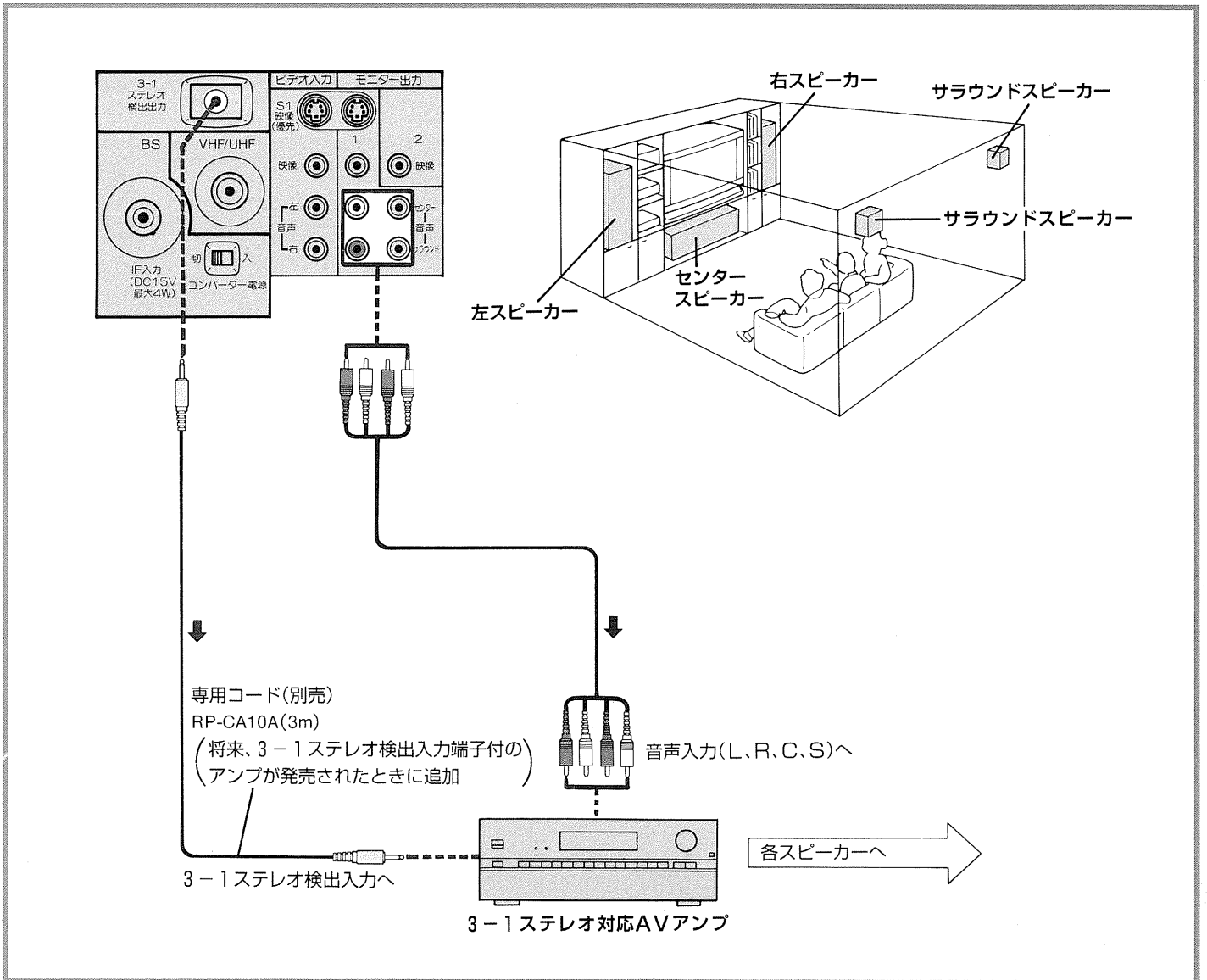
- 接続するデジタルオーディオ機器によってはデジタル録音できない場合があります。接続する機器の「説明書」も参照ください。
- 光出力端子を使用するときは、本機の防塵キャップを外して接続してください。接続しないときは、必ず防塵キャップを取付けておいてください。
- JSB放送を受信のためBSデコーダを接続されている場合は、BSデコーダの光出力に接続してください。



オーディオ機器をつなぐ

ハイビジョンの音声方式の一つとして、下図のように右と左の2チャンネルの音声に加え、センターチャンネルと、後方(サラウンド)チャンネルを設けた3-1方式と呼ばれる4チャンネルの音声を楽しめます。

3-1ステレオ放送を楽しむ



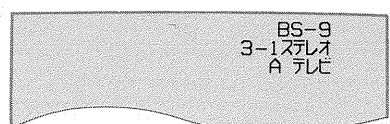
お知らせ

- 通常のステレオ放送のときは、センター・サラウンドの音声はありません。
- 3-1ステレオ検出出力からは、受信中の音声通常のステレオ放送か3-1ステレオ放送かを判別する信号が出力されています。将来、対応したアンプが発売されたときにご利用ください。(1993年9月現在未発売)

メモ

3-1ステレオ放送がはじまり、画面表示すると、画面に「3-1ステレオ」の表示をします。

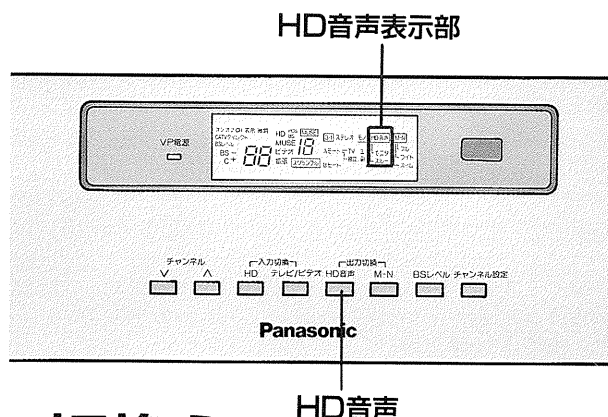
画面表示



HD音声切替について

ハイビジョン放送をハイビジョンビデオで録画するとき、録音したい音声に合わせて切替えます。

※ハイビジョン放送、MUSE入力1、2、3以外
ときは操作できません。



ハイビジョン(HD)音声を切替える

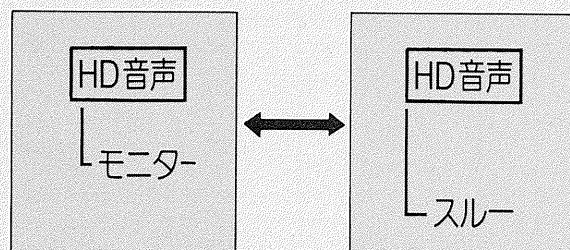
HD音声



(本体前面操作部)

押すごとに切替わります。

ふだんは「スルー」でご覧ください。



- **スルー**……放送されてきた音声をそのまま本機のHDモニター出力端子から出力します。
他の機器で音声を切替たいときは、「スルー」にします。
- **モニター**…本機で選択した「テレビ/独立」や「主/副/主+副」音声をHDモニター出力端子から出力します。

※NTSCのモニター出力端子からは、「スルー」や「モニター」の設定に関係なく「テレビ/独立」や「音声切替」で選んだ音声出力されます。

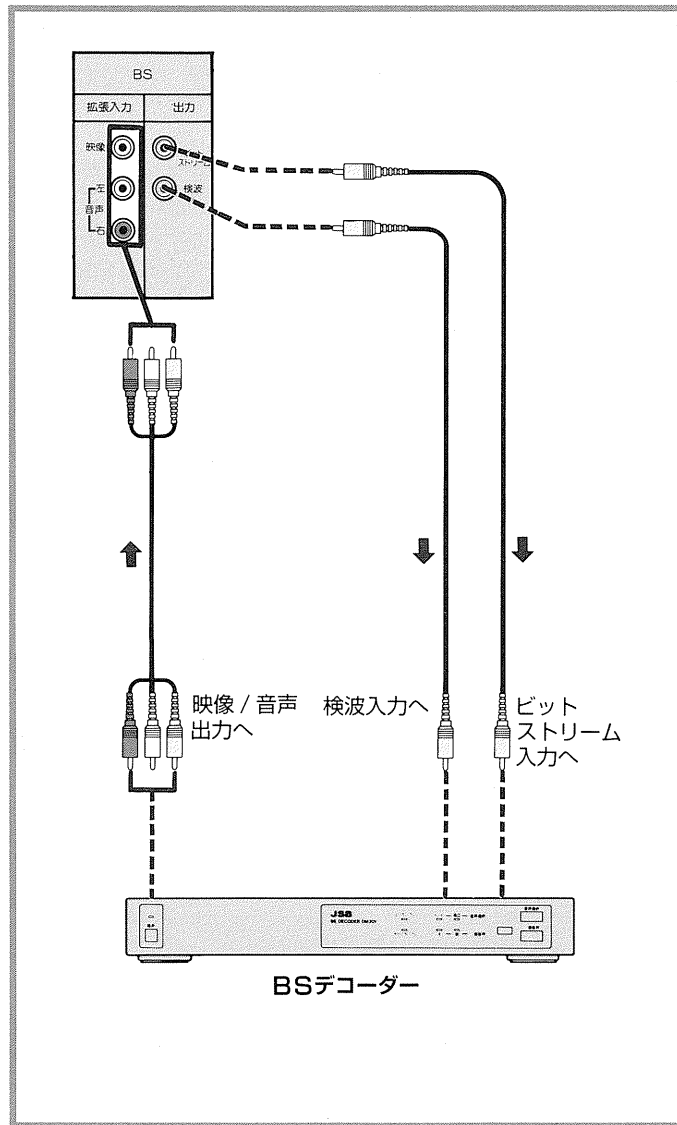
WOWOW(JSB)、St.GIGA(セント・ギガ)放送の受信

WOWOW(JSB)/St.GIGA(セント・ギガ)放送について

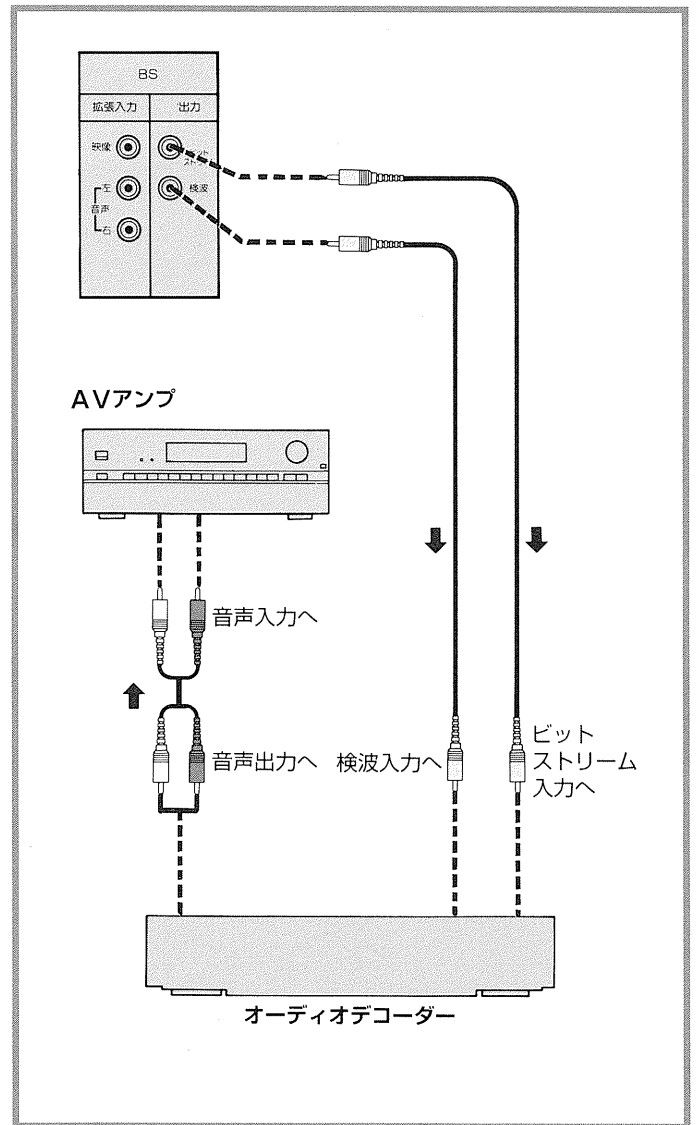
JSB放送やSt.GIGA放送は有料の衛星放送です。受信するには、放送局との視聴契約の上、放送局から供給されるBSデコーダーやオーディオデコーダーの接続が必要です。

※現在、WOWOW放送を受信されている場合、お手持ちのBSデコーダーを利用してSt.GIGA放送が受信できます。(契約は別途、必要になります。)

(WOWOW) BSデコーダーの接続



(St.GIGA) オーディオデコーダーの接続

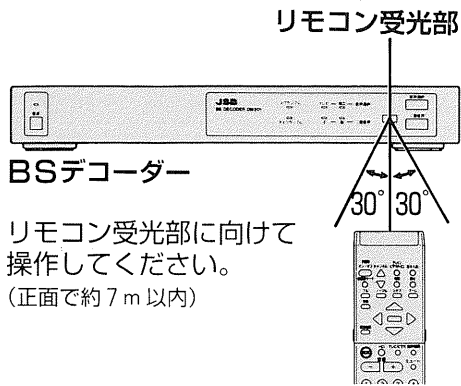


お知らせ 接続について

BSデコーダーの「説明書」も参照ください。

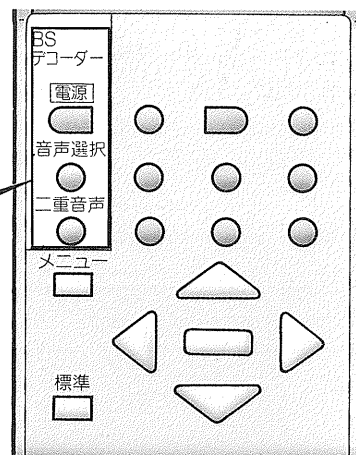
お知らせ 接続について

- オーディオデコーダーからの音声コードは必ずアンプの音声入力に接続してください。(本機のBS拡張入力に接続しても音声は入力されません。)
- オーディオデコーダーの「説明書」も参照ください。



2
BSデコーダー
リモコン操作部

リモコンふた内



WOWOW (JSB)、St.GIGA (セント・ギガ) 放送を見る・聞く

1 「BS-5」チャンネルを受信する

■BSデコーダーが不要な場合

チャンネル表示が通常の音声表示色
のとき

■BSデコーダーが必要な場合

チャンネル表示が紫色のとき

2 BSデコーダーを操作する

本機リモコンで操作できます。

BSデコーダー本体表示

スクランブル	テレビ	独立	音声選択
デスクランブル	主	副	二重音声

サービス(無料)放送中は本機のみ
の操作で受信できます。

黒画面になり、受信チャンネルが紫色
で表示されます。

電源を入れて、音声「TV/独立」や
「主/副」を選択します。

■セント・ギガ放送を聞くときは、
「TV/独立」で独立音声にする。

* “スクランブル中”表示はスクラン
ブル放送時のみ

TV/独立 押して選ぶ。



メモ *スクランブルとは

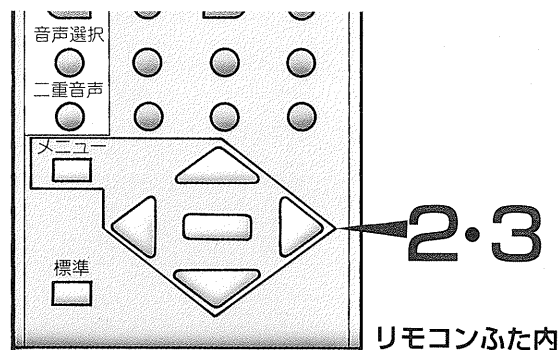
- WOWOW、セント・ギガ放送は有料放送のため、そのままでは見られないように電波をかき乱しています。このことを“スクランブル”と呼んでいます。
- スクランブル化されていないときは、他のBSチャンネルと同じく選局するだけで見ることができます。

システムアップ

WOWOW(JSB)、St.GIGA(セント・ギガ)放送の受信

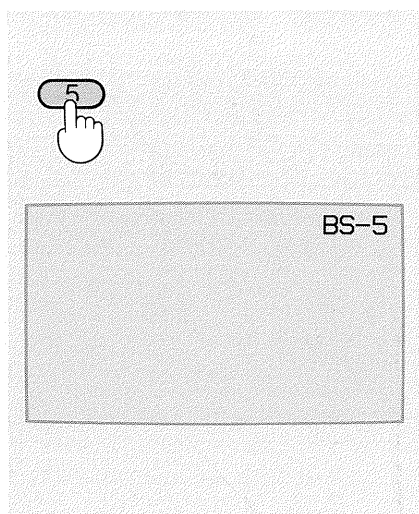
BS拡張入力の設定について

- BS放送を、本機のみで受信するか、BSデコーダーを通して受信するかの切換動作が選択できます。(工場出荷時は全局「自動」に設定しています。)
- スクランブル放送を「自動」で受信中に、電波状態が悪く映像が不安定の場合は、「強制」に設定してください。

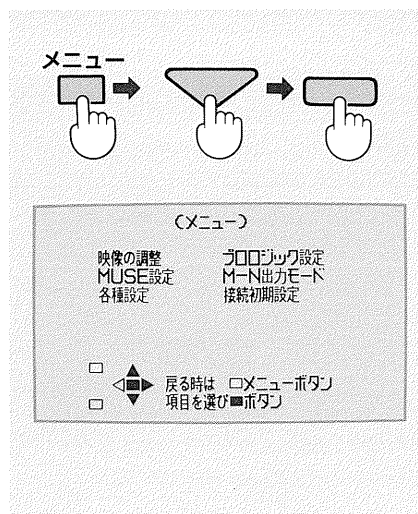


BS拡張入力の設定

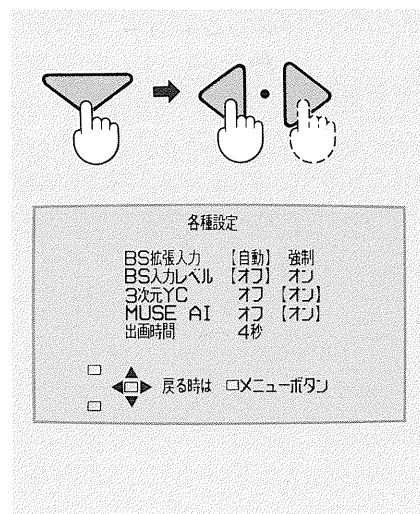
1 BSチャンネルを選ぶ



2 「メニュー」を出し「各種設定」を選ぶ



3 「BS拡張入力」を選び「自動」にする



BSチャンネルごとに設定できます。

■「自動」・「強制」の設定について

「自動」… ふだんは「自動」でお使いください。

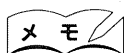
※ JSBまたはセント・ギガ放送がスクランブル放送のときのみBSデコーダーからの信号を優先します。

「強制」… 次の場合は「強制」にしてください。

※ 常にBSデコーダーからの信号を優先します。

- JSBまたはセント・ギガ放送を録画(録音)するとき。(「自動」のままではスクランブルの有無でBSデコーダーとの接続が切りかわり、映像(音声)が乱れる場合があります。)

※ BSデコーダーの電源は切らないでください。



BS拡張入力端子に映像コードを接続していないときは、設定に関係なく本機のみでの受信になります。

CSテレビ放送の受信

CSテレビ放送について

CSテレビ放送はCS(通信衛星)を利用した有料テレビ放送です。

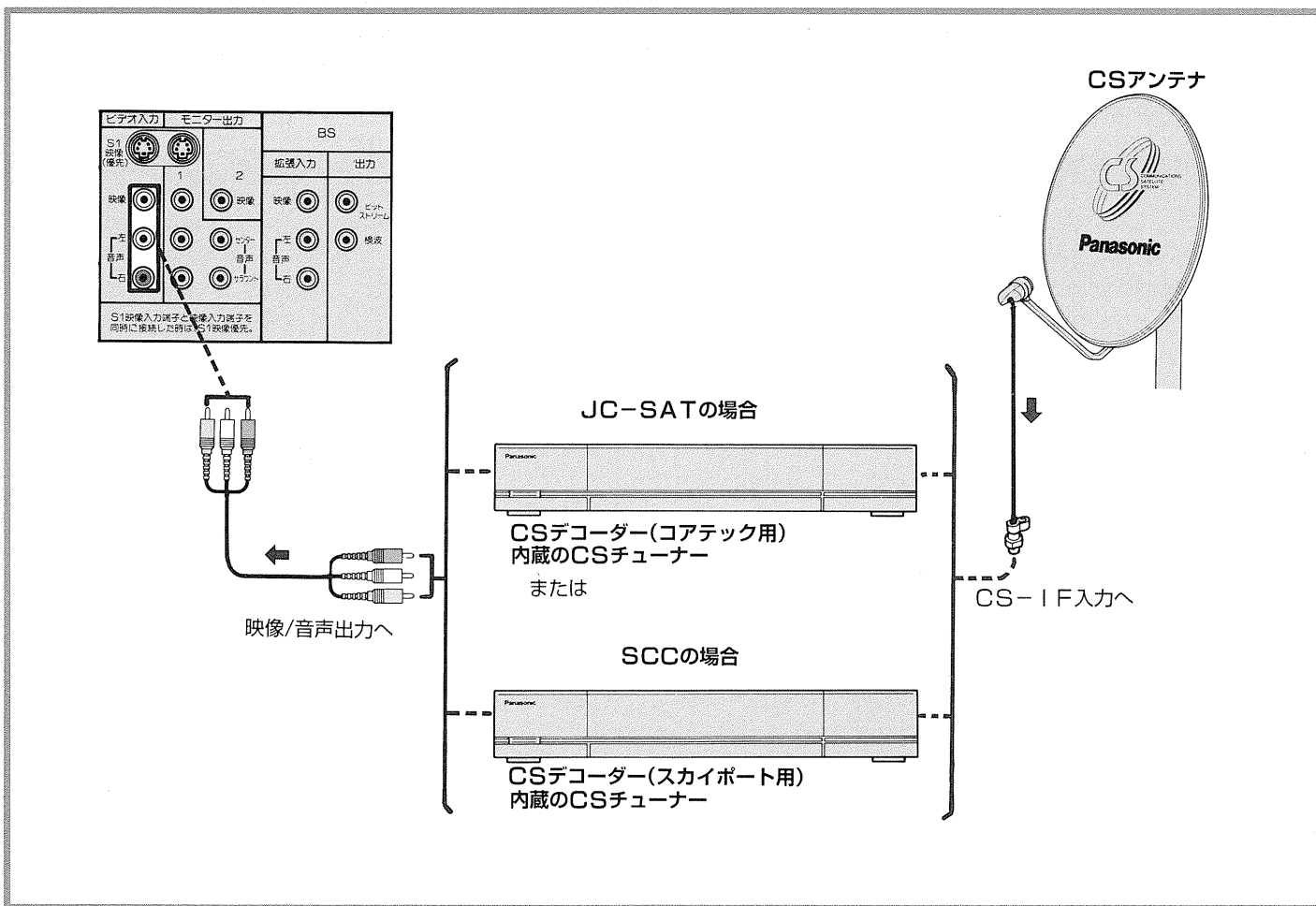
受信するには放送局との視聴契約およびCSアンテナ・CSチューナー・CSデコーダーの接続が必要です。

(CSアンテナとCSデコーダーは衛星ごとに必要です。)

BSデコーダーの利用について

現在JSB放送を受信されている場合、お手持のBSデコーダーがCSデコーダー(コアテック用)として利用できます。(ただし、CSチューナーは別途、必要になります。)

CSデコーダー内蔵のCSチューナーの接続



システムアップ

放送中のCSテレビ放送は(1993年10月現在)

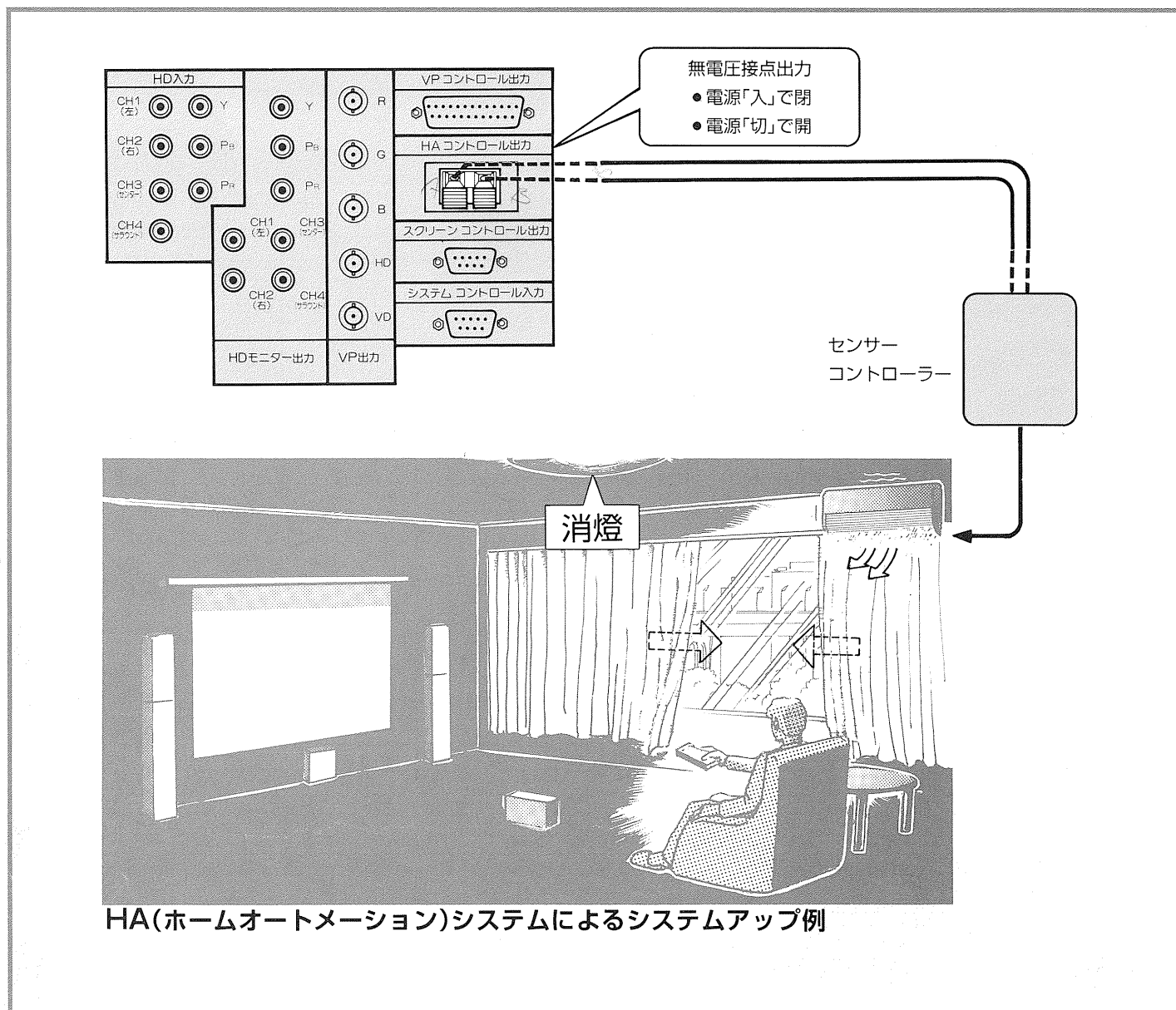
衛星	チャンネル	チャンネル名	番組内容
JC-SAT2 (コアテック)	J1	スペースシャワーTV	ロック系の音楽(国内及び海外)
	J5	Sports-i	スポーツ(国内及び海外)
	J7	衛星劇場	映画(邦画主体)・演劇
SCC-B (スカイポート)	S1	ライフデザインチャンネル	教育・教養
	S3	SVNスペースビジョン	スポーツ、上方芸能娯楽
	S5	衛星チャンネル	ニュース(国内及び海外)、情報
	S7	CNN	CNNを中心とする国際ニュース
	S9	ミュージック・テレビジョン	ロック・ポップス系音楽、音楽情報
	S11	スター・チャンネル	映画(洋画主体)

HAシステムとの接続

HA(ホームオートメーション)コントロール出力について

本機の電源の「入」・「切」に合わせて、照明の「入」・「切」やカーテンの「開」・「閉」などをコントロールし、映画鑑賞のムード作りを自動で行えます。

センサーコントローラーの接続

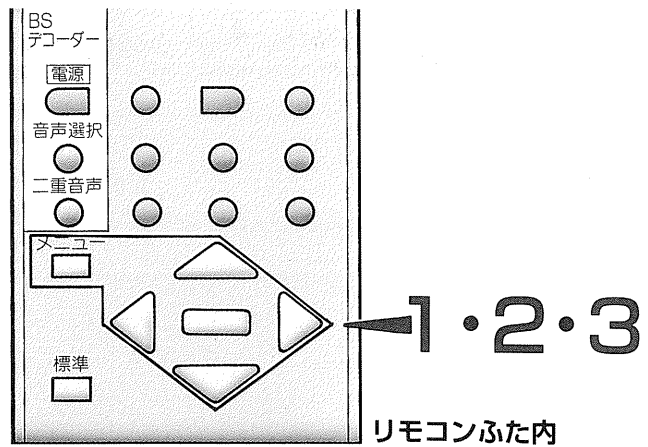


お知らせ

- センサーコントローラーは1993年9月現在 未発売です。
- HAシステムについての詳細は、販売店にご相談ください。

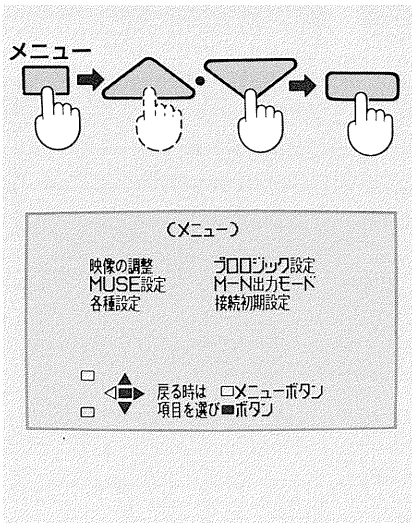
出画時間の設定について

- 72ページのシステムで、お楽しみになる場合に、本機の電源を入れてから映像が出るまでの時間をお部屋のシステムの準備時間に合わせて設定することができます。
- 設定時間はスクリーンが完全に下りる時間に合わせて設定してください。

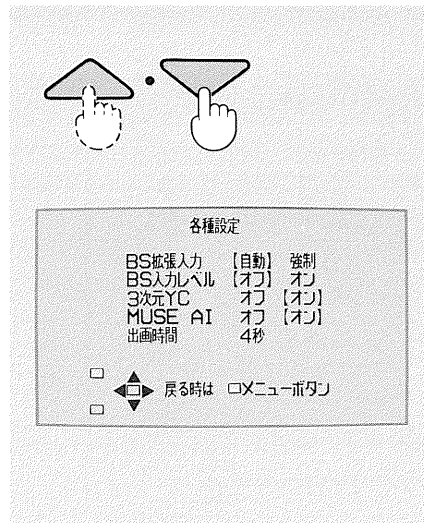


出画時間の設定

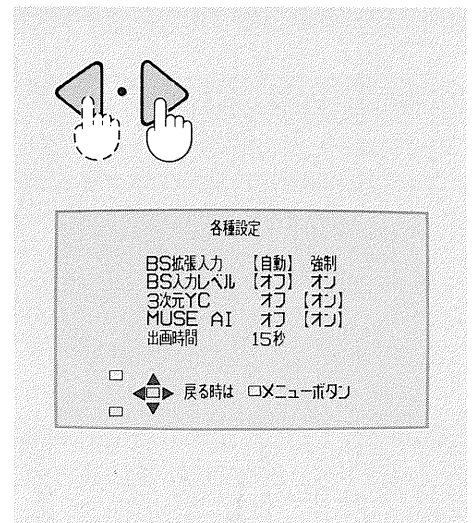
1 「各種設定」を選び、決定する



2 「出画時間」を選ぶ



3 時間を設定する



例 15秒に設定

- ▶ …時間が増えます (最大時15秒)
- ◀ …時間が減ります (最小時4秒)

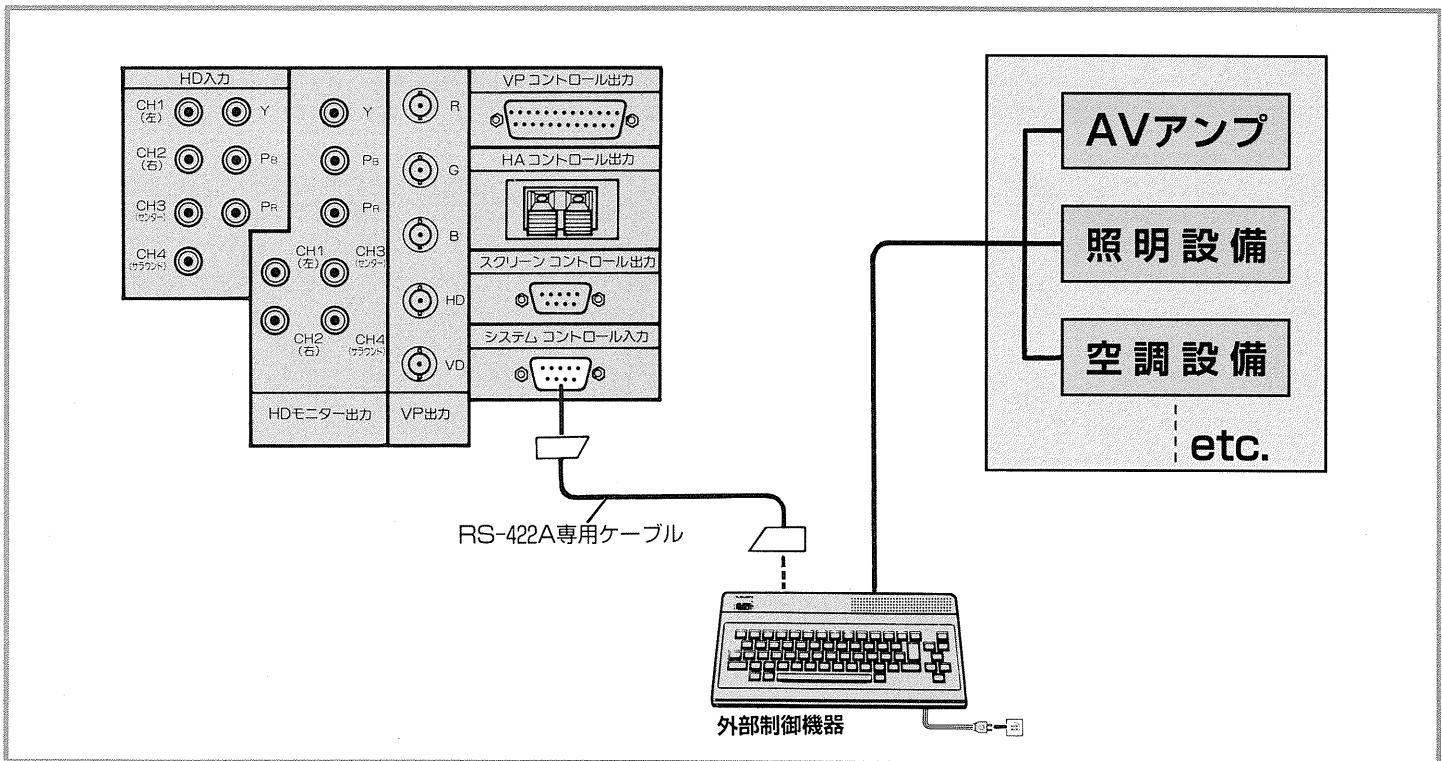
メニューボタンを2回押すと画面表示が消えます。

パソコンによるシステムコントロール

システムコントロール入力について

本機をパソコンなどを利用したAVシステムで、お使いになる場合に外部から本機をコントロールすることができます。

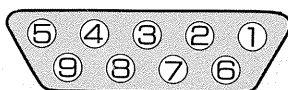
パソコンの接続



■システムコントロール(RS-422A)仕様

信号レベル	RS-422Aに準拠
同期方式	調歩同期
伝送速度	4800bps
キャラクタ長	8ビット
スタートビット	1ビット
ストップビット	1ビット
パリティ	奇数
送出順序	LSBより

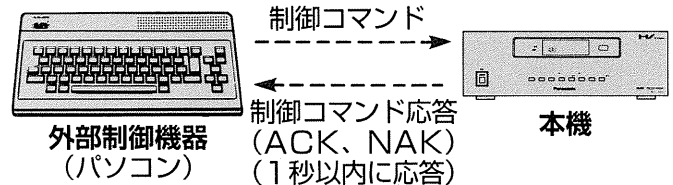
■コネクターピン配置



- | | | |
|---------|------|---------|
| ①GND | ④GND | ⑦RXD(-) |
| ②RXD(+) | ⑤- | ⑧TXD(-) |
| ③TXD(+) | ⑥GND | ⑨GND |

■手順

[機器制御]



■データフォーマット

(外部制御機器→本機) — RXD
制御コマンド

STX (02H)	コマンド (1バイト)	ETX (03H)
--------------	----------------	--------------

(本機→外部制御機器) — TXD
制御コマンド応答

STX (02H)	応答 (ACK, NAK)	ETX (03H)
--------------	------------------	--------------

RS-422Aコマンド一覧表

機能	KEY	RS-422A コマンド
テレビ		04
ビデオ		05
画面切換(テレビ/ビデオ)		0A
NR		0C
ポジション 1		0D
ポジション 2		0E
ポジション 3		0F
ポジション 4		10
ポジション 5		11
ポジション 6		12
ポジション 7		13
ポジション 8		14
ポジション 9		15
ポジション 10		16
ポジション 11		17
ポジション 12		18
ポジション 13	○	19
ポジション 14		1A
ポジション 15		1B
音声切換		1D
チャンネルUP		1E
チャンネルdown		1F
画面表示		20
電源 on/off		21
電源 on		22
電源 off		23
十字キー □key		24
十字キー △key		25
十字キー ▽key		26
十字キー >key		27
十字キー <key		28
映像メニュー		29
標準		52
映像 スタンダード		4E
映像 ダイナミック	●	4F
映像 エレガント		50
映像 シック		51
メニュー		2A
AI		2B
テレビ/独立		2C
BS-1		2D
BS-3		2E
BS-5	○	2F
BS-7		30
BS-9		31
BS-11		32
BS-13		33
BS-15		34
BSレベル	●	42

機能	KEY	RS-422A コマンド
フレーム/ライン		35
HD/MUSE		0B
ノーマル		36
シネマ	○	37
ズーム		38
フル		39
字幕 オン/オフ		3A
字幕 オン	●	49
字幕 オフ		50
画面位置調整	○	3B
色温度 高		4B
色温度 標準	●	4C
色温度 低		4D
HD		09
MUSE 1		06
MUSE 2		07
MUSE 3	○	08
サラウンドレベル△		3C
サラウンドレベルマ		3D

機能	KEY	RS-422A コマンド
プロジェクター電源	○	3E
プロジェクター電源ON		3F
プロジェクター電源OFF	●	40
HDモニター (4CH)		41
DSP切換	○	1C
DSP OFF		43
DSP		43
サラウンド(エキスパンド) DSP		44
サラウンド(シネマ) DSP	●	45
サラウンド(ホール) DSP		46
サラウンド(スタジアム) DSP		47
プロロジック		48
[通信関係]		
ACK		00
NAK	●	01
STX		02
ETX		03

注) ○はリモコンのみ、●はRS-422Aのみ、◎は両方にあるKEY

修理を依頼される前に…もう一度次の点をお調べください。

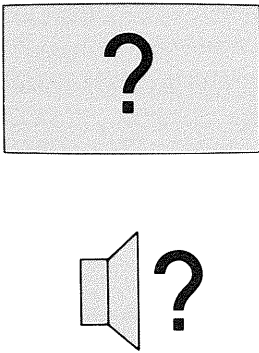
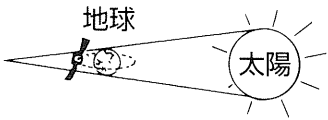
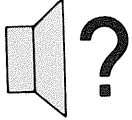
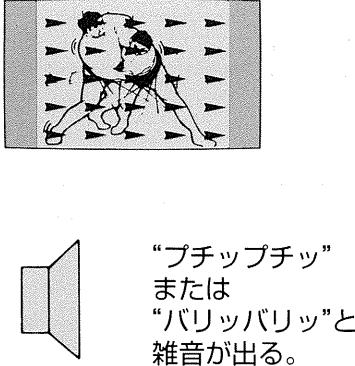
テレビ放送について

症状	原因
<p>映像が不鮮明 映像が揺れる</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ● V/Uアンテナおよびアンテナ線が劣化や破損または断線をしていませんか？ ● テレビのV/Uアンテナ線は正しく接続されていますか？ ● ビデオをご使用の場合、ビデオ本体の「ビデオ/テレビ」切替は、「テレビ」側になっていますか？ (テレビ側で選局するとき。)
<p>画面にはん点が出る</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ● 自動車・電車・高圧線・ネオンなどからの妨害電波を受けていませんか？
<p>映像が2重3重になる</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ● V/Uアンテナの方向がずれていませんか？ 強い風のふいたあと方向が変わっていることがあります。 ● 山やビルからの反射電波の影響も考えられます。
<p>色模様が出たり、色が消える</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ● 他のテレビからの影響(妨害電波)を受けていませんか？ またラジオ放送やアマチュア無線の送信アンテナが近くにある場合も現われることがあります。
<p>チャンネル番号が画面から消えない</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ● 画面表示ボタンが押されていませんか？ 再度、「画面表示」ボタンを押してみてください。 ● 画面切替でビデオなどの外部入力に切替えたときは、外部入力の信号が入力されないと表示は消えません。 (チャンネルなどを知りたい33ページ参照)
<p>色あいが悪い、色が薄い</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ● 色の濃さ、色あいの調整がずれていませんか？ (映像の明るさや色を調整する34・35ページ参照)
<p>あるチャンネルだけ映りが悪い</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ● チャンネルの微調整は正しく調整されていますか？ (受信チャンネルの微調整48ページ参照)

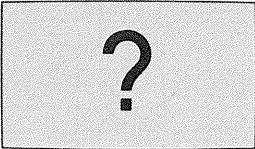

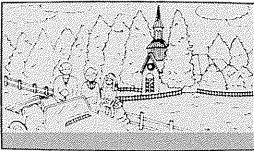
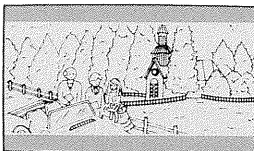
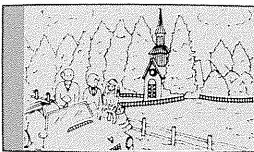
BS放送について

衛星放送(BS)電波について

衛星(BS)からのSHF電波は全国一円をカバーしますが、電波の強さは各地で異なります。雷雨や豪雨のような強い雨が降ったり、雪がアンテナに付着すると電波が弱くなり一時的に画面や音声に雑音が出たり、ひどい場合には全く受信できなくなることがあります。これは、気象条件によるものでアンテナや本機の故障ではありません。

症状	原因
<p>画面が出ない (映像も音も出ない)</p> 	<p>本体後面のBSコンバーター電源スイッチが「切」になっていませんか？ (BSブースターを使っていないときは「入」)</p> <p>「スクランブル中」あるいは「拡張入力」の表示が出ていませんか？ 表示が出ている場合は、BS拡張入力に接続している機器の電源を「入」にしてください。</p> <p>衛星からの電波が停止することがあります。 衛星と太陽、地球が一直線になり、衛星が地球の陰になると衛星の太陽電池に光が当たらなくなり、衛星からの電波は停止します。 これを「衛星の食」といい、春分と秋分の前々20日間、午前1時40分頃から約70分発生します。</p> 
<p>BS音声がでない</p> 	<p>BS音声選択「TV/独立」が「独立」になっていませんか？ 独立音声放送がない場合は、「TV」に切換えてください。 (BS音声を切替える23ページ参照)</p>
<p>ノイズが現われる</p>  <p>“プチップチツ” または “バリッバリッ”と 雑音が出る。</p>	<p>BS入力レベルが減少していないかご確認ください。 (BS入力レベルについて41ページ参照)</p> <p>レベルが減少している場合下記の点が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● BSアンテナの向きや、アンテナ線の劣化などが考えられます。 ● 着雪(アンテナ)、雨、雷雲などによる電波の減衰や、強風時のアンテナの揺れなどで現れることがあります。

操作について

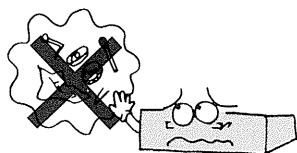
症状	原因
電源が入らない 	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源プラグがコンセントから抜けていませんか？
リモコンが操作できない 	<ul style="list-style-type: none"> ● リモコンの電池が消耗していませんか？ ● リモコン受光部に蛍光灯の光や強い照明光が当たっていませんか？ ● リモコンのモードが違っていませんか？ リモコンと本体のモードを合わせてください。 (リモコンモードの設定10ページ参照) ● 種類の違うリモコンを使っていませんか？
ズーム、シネマにしたとき画面の上または下に映像のない部分ができる 	<ul style="list-style-type: none"> ● 映像の垂直位置調整がずれていませんか？ 垂直位置調整をしてください。 (かかれている映像を見るとき29ページ参照)
ズームにしたとき画面の上下がかける 	<ul style="list-style-type: none"> ● 16:9より横長の映像ソフト(シネマサイズのソフトなど)のときは、画面の上下がかけます。
HDビデオ、MUSEを見たとき画面の左または、右に映像のない部分ができる 	<ul style="list-style-type: none"> ● 映像の水平位置調整がずれていませんか？ 水平位置調整をしてください。 (画面が横にずれているとき28ページ参照)
ビデオプロジェクターの電源が「入」「切」しない 	<ul style="list-style-type: none"> ● 本機とプロジェクターのリモートケーブルは正しく接続されていますか？ (プロジェクターの接続52ページ参照) ● 当社指定のプロジェクターを使用していますか？ 指定外のプロジェクターでは動作しません。
スクリーンが、上・下しない 	<ul style="list-style-type: none"> ● 本機とスクリーンのリモートケーブルは正しく接続されていますか？ ● 当社指定のスクリーンを使用していますか？ 指定外のスクリーンでは動作しません。

正しくご使用いただくために

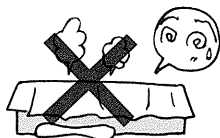
■安全のために

危険であり故障の原因ともなりますのでお避けください。

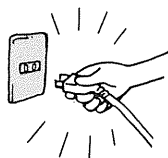
内部に金属類(針、ヘアピン、硬貨など)や燃えやすいもの(紙、マッチ)を絶対に入れないでください。



通風孔はふさがないように



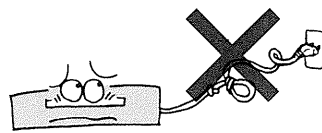
電源プラグは、ぬれた手で触れないでください。また電源プラグを抜くときはコードを引っばらずに必ずプラグを持って抜いてください。



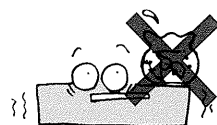
内部には絶対に触れないでください。



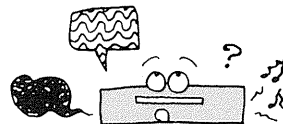
電源コードの上に重い物をのせたり、折り曲げたり、ねじったりしないでください。電源コードの途中でつぎたさないでください。



水は禁物です。



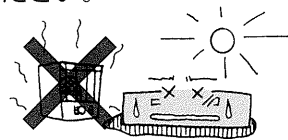
異常な雑音、におい、動作不良などの異常があるときは、直ちに電源を「切」にし必ず電源プラグをコンセントから抜いた後、お求めの販売店にご連絡ください。



■設置場所にもご注意

次のような場所での使用はお避けください。

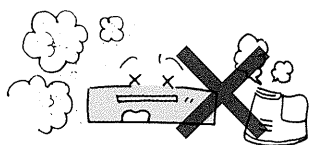
直射日光の当たるところや器具のそばはお避けください。



水平で安定した場所でお使いください。



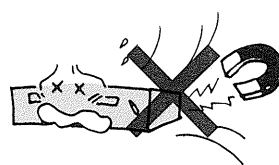
湿気やほこりの多いところはお避けください。



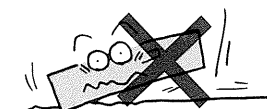
重いものを上に置かないでください。



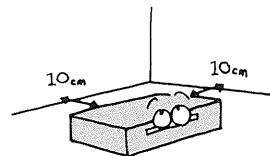
磁気の発生しているところはお避けください。



振動の激しいところはお避けください。



壁面から本機までの距離は10cm以上はなしてください。



■お手入れについてのご注意

● キャビネットをいためないために…

キャビネットやパネルに揮発性のものをかけたり粘着性のものを付着させたりすると塗装がはげるなどの原因となります。またゴムやビニール製品など長時間接触させておくとシミがつくことがあります。(化学ぞうきんをご使用の際はその注意書に従ってください。)



● キャビネットは柔らかい乾いた布で…

汚れがひどいときは水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り乾いた布で仕上げてください。



アフターサービスについて

<p>1 保証書 (別に添付してあります。)</p> <p>保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受取っていただき、内容をよくお読みの後大切に保管してください。</p>	<p>2 修理を依頼されるとき</p> <p>76～78ページの「修理を依頼される前に…」に従って調べていただき、直らないときには必ず電源プラグを抜いてから、後の処置をしてください。</p>	<p>3 補修用性能部品の最低保有期間</p> <p>本機の補修用性能部品(機能維持のために必要な部品)の最低保有期間は製造打切り後8年間です。この期間は通商産業省の指導によるものです。</p>
<p>保証期間</p>	<p>保証期間中は</p>	<p>4 アフターサービス等についておわかりにならないとき</p> <p>お買い上げの販売店またはお近くの「ご相談窓口」(別紙ご参照)にお問合わせください。</p>
<p>お買い上げの日から1年間です。</p>	<p>保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が出張修理させていただきます。お買い上げの販売店にご依頼にならない場合には、お近くの「ご相談窓口」(別紙ご参照)にご連絡ください。</p> <p style="text-align: center;">保証期間が過ぎているときは</p> <p>お買い上げの販売店へご依頼ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理致します。販売店にご依頼にならない場合には、お近くの「ご相談窓口」(別紙ご参照)にご連絡ください。</p>	

修理を依頼されるときご連絡いただきたい内容			
ご氏名		製品名・品番 ご購入日	お手もとの保証書をご覧ください。
ご住所	付近の見取図、目印など。	故障内容	詳しくお願いします。
電話番号	呼び出しでもけっこうです。	訪問ご希望日	ご都合の悪い日もあわせて。

定格

本体	品番	TU-AHD100	
	種類	テレビチューナー	
	使用電源	AC100V 50/60Hz	
	消費電力	100W(電源「切」時 4W)	
	接続端子	N T S C	<ul style="list-style-type: none"> ●ビデオ入力 <ul style="list-style-type: none"> 映像(RCAピン): 1Vp-p(75Ω) S1映像(S端子): 輝度・色信号分離(75Ω) 音声(RCAピン): CH1(左)・CH2(右)0.5Vrms ●モニター出力 (15.75kHz) <ul style="list-style-type: none"> 映像1、2(RCAピン): 1Vp-p(75Ω) S1映像(S端子): 輝度・色信号分離(75Ω) [フル時DC5V重畳 EIAJ] 音声(RCAピン): CH1(左)・CH2(右)0.5Vrms CH3(センター)・CH4(サラウンド)0.5Vrms <p>※S1映像: ハイビジョン放送およびビデオ入力のS1映像の信号を出力 ※映像: テレビ、BS、ハイビジョン放送、ビデオ入力の映像信号およびビデオ入力のS1映像の信号を出力</p>
		B S 関連	<ul style="list-style-type: none"> ●BS-IF入力(75Ω) 兼 BSコンバーター用電源(DC15V)出力 ●BS拡張入力 <ul style="list-style-type: none"> 映像(RCAピン): 1Vp-p(75Ω) 音声(RCAピン): 0.5Vrms ●ビットストリーム入力(RCAピン) ●検波出力(RCAピン)
		H D 関連	<ul style="list-style-type: none"> ●3-1ステレオ検出出力(M3プラグ用) ●MUSE <ul style="list-style-type: none"> AFC出力(RCAピン) 入力1、2、3(RCAピン) ●MUSE拡張 <ul style="list-style-type: none"> AFC入力 検波入・出力 ビットストリーム出力 ●HD入力 <ul style="list-style-type: none"> Y・PB・PR(RCAピン) 音声(RCAピン): CH1(左)・CH2(右) CH3(センター)・CH4(サラウンド) ●HDモニター出力 <ul style="list-style-type: none"> Y・PB・PR(RCAピン) 音声(RCAピン): CH1(左)・CH2(右) CH3(センター)・CH4(サラウンド) ●VP出力 (31.5/33.75kHz) <ul style="list-style-type: none"> R・G・B(BNC端子): 0.7Vp-p(75Ω) H D(BNC端子): 0.7Vp-p(75Ω) V D(BNC端子): 0.7Vp-p(75Ω) ●デジタル音声出力 (光端子) <ul style="list-style-type: none"> 2系統 CH1・2(左・右)、 CH3・4(センター・サラウンド)
		その他	<ul style="list-style-type: none"> ●VPコントロール出力 (ビデオプロジェクター専用25ピン) ●HAコントロール出力 (HAセンサーコントローラー専用) ●スクリーンコントロール出力 (スクリーン専用9ピン) ●システムコントロール入力 (パソコンなどの外部制御機器用 RS-422A 9ピン)
	外形寸法	横幅 43cm 高さ 14.2cm 奥行 42cm	
	質量(重量)	11.0kg	

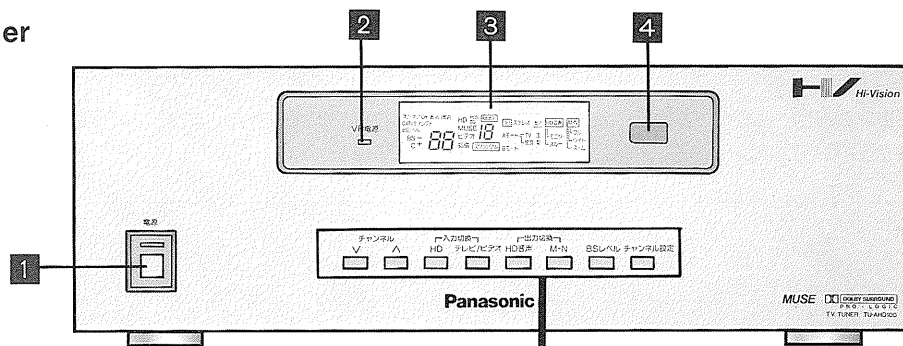
リモコン (品番: TNQ10454)	
使用電源	DC3V(単3乾電池2コ)
リモコン操作距離	約7m以内(受光部正面距離) 約5m以内(受光部左右30°以内)
質量(重量)	約215g(乾電池含)

付属品	
	リモコン、単3乾電池2コ、ラックマウント金具2コ リモコンフィルムシート(チャンネル表示シート)、 アンテナプラグ、ねじ8本

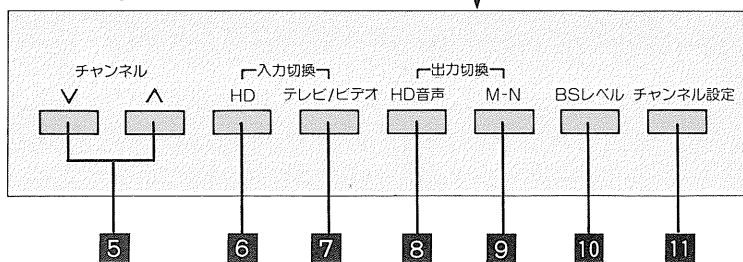
仕様・その他

Description of Controls (各部のなまえとはたらき)

TV tuner

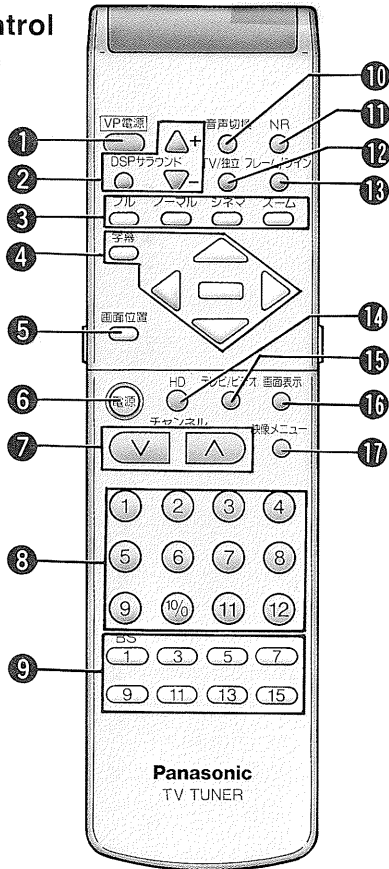


Front operations

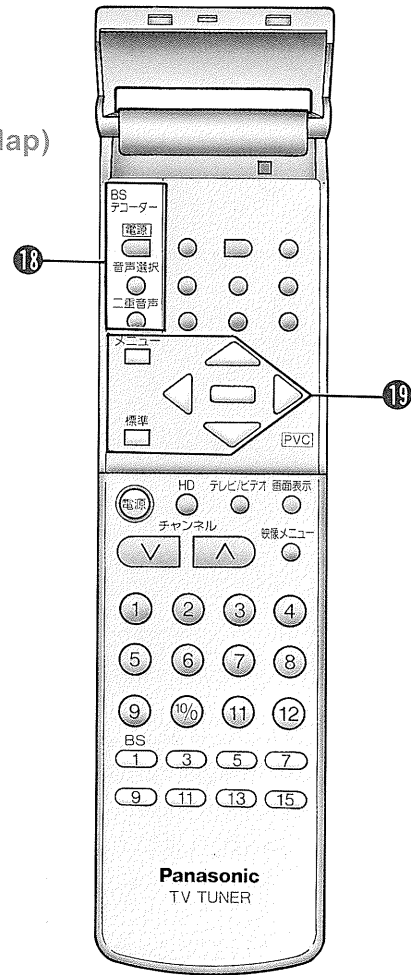


- | | |
|---|--|
| <p>1 Power (電源)</p> <p>2 VP Power indicator (VP電源ランプ)</p> <p>3 Indicator panel (表示部)</p> <p>4 Remote control sensor</p> <p>5 TV & CATV & BS Channel selectors (テレビ・CATV・BSチャンネル)</p> <p>6 Input Signal selector MUSE1 / MUSE2 / MUSE3 / HD VCR (HDビデオ/MUSE)
Every press, you can select MUSE1→MUSE2→MUSE3 →HD VCR in order.</p> <p>7 Input signal selector TV / VCR (テレビ/ビデオ)
Press once to change to VCR, and by pressing again you can toggle between VCR and TV.</p> <p>8 HD sound selector (HD音声)</p> <p>9 M-N Output Mode (M-N出カモード)
You can switch between FULL, WIDE, and ZOOM by Pressing Hi- Vision broadcasting aspect, which outputs the monitor.</p> <p>10 BS Input level on the screen (BS入カレベル表示)</p> <p>11 Tuning button (チャンネル設定)
Tuning ON / OFF.</p> | <p>1 VP Power (VP電源)</p> <p>2 DSP Surround (DSPサラウンド)
Every press, you can select EXPAND→CINEMA→HOLE→STADIUM→PROLOGIC in order.</p> <p>3 Aspect (アスペクト)
Press to change the aspect comparison.
 <ul style="list-style-type: none"> ● Full(16:9) (フル) ● Normal(4:3) (ノーマル) ● Cinema(16:9) (シネマ) ● Zoom(16:9) (ズーム) </p> <p>4 Subtitles (字幕)
You may move the subtitles to a desired location for easier viewing.</p> <p>5 Picture Location Adjustment (画面位置調整) <ul style="list-style-type: none"> ● Horizontal Location Adjustment (水平位置調整)
The aspect can change the horizontal of the picture during HD VCR or MUSE. ● Vertical Location Adjustment (垂直位置調整)
The aspect can change the vertical location of the picture during cinema or zoom. </p> <p>6 Power (電源)</p> |
|---|--|

**Remote Control
(upper side)**



(inside the flap)



7 TV & CATV & BS Channel selectors (テレビ・CATV・BSチャンネル)

8 TV & CATV Channel selectors (テレビ・CATVチャンネル)

9 BS Channel Selectors (BSチャンネル)

10 Audio mode (音声切換)

When the broadcasting is bilingual, the On-screen indication of channel number will appear on red, and you may select and enjoy a desired mode.

Main (主) : Only the dubbed Japanese-language signal is received.

Sub (副) : Only the Original-language signal is received.

Main & Sub (主+副) : The dubbed Japanese-language signal comes from the left speaker and the original-language signal comes from right.

11 Video Noise-Reduction (映像ノイズリダクション)

Push once each to switch between NR Off → NR Auto → NR 1 → NR 2.

12 BS sound selector (BS音声選択)

When BS sound is in the A mode, TV sound independent sound can be selected.

TV sound (テレビ音声) : The sound is the same as the TV broadcast.

Independent sound (独立音声) : The sound is not the same as the TV broadcast.

14 Frame / Line (フレーム/ライン)

Push to switch between FRAME and LINE.

15 Input signal selector MUSE1 / MUSE2 / MUSE3 / HD VCR

15 Input signal selector TV / VCR

16 Display (画面表示)

Press and the channel number being received appears on the screen. Press again to clear.

17 Video tone menu (1 / 2 / 3 / 4) (映像メニュー)

Select a picture tone in harmony with the surroundings where you watch T.V. Each press gives you a tone 1 / 2 / 3 / 4 in order. For entry (to the memory) of TV / BS / VCR.

18 BS descrambler controls (BSデコーダー操作部)

- BS descrambler power (電源)
- BS sound selectors (BS音声選択)
- Audio mode (音声切換)

19 Menu and select buttons (メニュー選択ボタン)

Various adjustments and settings can be done furthermore according to your preference.

■ **Picture controllers** (映像調整)

Each of 1 / 2 / 3 / 4 on the video menu can be controlled and put in memory.

■ **MUSE1 setting** (MUSE 1 設定)

- MUSE1 input (MUSE 1 入力)
- Equalizer (イコライザー)

■ **Various settings** (各種設定)

- Setting of extended BS input (BS拡張入力の設定)

To set for recording "WOWOW" or "St.GIGA" channel.

- BS Input level on the screen (BS入力レベル表示)

- 3-Dimensional YC (3次元YC)

- MUSE AI (人工知能機能)

- Video setting time (出画時間)

■ **Prologic setting** (プロロジック設定)

■ **M-N Output Mode** (M-N出力モード)

■ **Initial setting of connections** (接続初期設定)

- Projector (プロジェクター)
- Amplifier (アンプ)
- Speaker (スピーカー)

便利メモ (おぼえのため、記入されると便利です。)

ご購入年月日	年 月 日	品 番	TU-AHD100
ご購入店名		最寄りの当社ご相談窓口	
電 話 () -		電 話 () -	

※このテレビチューナーを使用できるのは、日本国内のみで、外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。
(This TV Tuner can not be used in foreign country as designed for Japan only.)

松下電器産業株式会社 テレビ事業部

〒567 大阪府茨木市松下町1番1号 ☎(0726)22-8181

S1093 - 0 A